



第 1 部

体験版

CONTENTS

基礎操作編

第 1 章 読む de!!ココのセットアップ

第 2 章 読む de!!ココの特長

第 3 章 読む de!!ココを使ってみよう

実用編

第 4 章 認識率を高めるために

第 5 章 認識処理の自動化

第 6 章 アプリケーションから読む de!!ココを使う

第 7 章 他のアプリケーションとの連携

第 8 章 アンインストール

付 録

索引

サポートサービス総合案内

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わず扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび、技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

© SEIKO EPSON CORPORATION 1994-2007. All rights reserved.

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国、およびその他の国における商標、または登録商標です。

Adobe、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標、または登録商標です。

ABBYY®FineReader®OCR ©1993-2007 by ABBYY Software House. All rights reserved.

ABBYY, FineReader are trademarks of ABBYY Software House.

一太郎は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

ScanSnap、ScanSnap Managerは株式会社PFUの登録商標です。

『読んde!!ココ』はエプソン販売株式会社の商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

当社製品（ソフトウェア、マニュアル、パッケージなどの付属品を含む）を、日本国外へ輸送、譲渡、または輸出する際は、「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づき、安全保障輸出管理手続きが必要となる場合があります。

また、当社製品には米国法に基づく再輸出規制対象品が含まれている場合があります。米国政府の定める輸出規制国に当社製品を持ち出す場合は、米国政府の許可が必要となる場合があります。

はじめに

このたびは『読んde!!ココ Ver.13』をご利用いただき、まことにありがとうございます。

『読んde!!ココ Ver.13』はWindows Vista、WindowsXP、Windows2000（以降、総称してWindowsと表記します）で動作する日本語／英語活字OCRソフトウェアです。

『読んde!!ココ』はイメージスキャナで取り込んだ新聞・雑誌・カタログなどの画像データや、FAXソフトで受信したイメージデータをテキストデータに変換します。

- 各社TWAIN対応スキャナおよび各種画像形式ファイルから認識原稿を取り込むことができます。
- 認識精度を高めるために、傾き補正、ノイズ除去などの画像修正機能を搭載しています。
- 認識結果をRTF（WORD形式）、JTD（一太郎形式）などの形式に変換し、その内容を対応アプリケーションに表示させることができます。
- 画像データの取り込み、画像の修正、領域の抽出、認識、ファイル保存などの一連の操作を自動化できます。
- 認識機能をMicrosoft Office、一太郎、Adobe Acrobatなどに組み込むことができます。（アドイン機能）
- 連携に対応したデータベース（Document Storage、Document Browser）に認識結果を直接登録できます。

本製品は富士フイルム製ソフトウェア「Exif Toolkit For Windows Ver.2.4（Copyright (C)1998-2002 FUJI PHOTO FILM CO.,LTD. All rights reserved）」を使用しています。ExifはJEITA（社団法人 電子情報技術産業協会）が規定するデジタルスチルカメラ用イメージファイルフォーマット標準規格です。

本書は製品版のマニュアルを流用しております。一部体験版には含まれない機能の記載がございます。各ページに注意にしながら参照していただきますようお願いいたします。

『読んde!!ココ』のマニュアルは、第1部 ユーザーズマニュアル（本書）と第2部 応用編マニュアル(PDFファイルのみで提供)とで構成されています。ここでは両方のマニュアルの見出しを記載していますが、第2部 応用編マニュアルの対応する内容はPDFファイルをご覧ください。

『読んde!!ココ』ユーザーズマニュアル目次

はじめに	1
『読んde!!ココ』ユーザーズマニュアル目次	2
操作をはじめるまえに	6
1. 梱包内容	6
2. 動作環境	7
3. マニュアルについて	9
4. Windows Vistaでのご利用上の注意	11
第1章 読んde!!ココのセットアップ	14
1.1 『読んde!!ココ』のインストール	15
1.2 自動アップデートするには	33
第2章 読んde!!ココの特長	38
2.1 機能別の特長	38
スマートナビ	38
読んde!!ココー確認しながら認識	39
OCRファクトリーー大量の文書の一括処理	40
アドインーアプリケーションから直接利用	41
2.2 『読んde!!ココ』の起動と画面構成	42
第3章 読んde!!ココを使ってみよう	47
3.1 操作の流れ	47
3.2 原稿を取り込む	48
スキャナから原稿を取り込む	48
ファイルから読み込む	53
3.3 取り込んだ画像を編集する	56
画像の向きを変更するには	56
画像の傾きを補正するには	58
画像の編集をするには	60
3.4 認識領域を指定する	62
3.5 認識パラメータを設定する	65
3.6 認識処理を実行する	66

3.7 認識結果を編集する	68
3.8 認識結果を保存・転送する	70
3.9 『読んde!!ココ』を終了する	75
第4章 認識率を高めるために	78
4.1 OCRに適さない原稿	79
4.2 原稿に対する注意点	80
取り込み時の注意点	80
FAXデータの注意点	81
解像度を変更するには	81
4.3 取り込み画像を編集する	83
汚れを除去するには(ノイズ除去)	83
手書きの書き込みを除去するには(カラーメモ除去)	86
手作業で画像編集するには	88
4.4 認識領域の設定	94
領域を自動で設定する	94
領域を手動で設定する	96
認識領域(枠情報)を保存する	99
4.5 認識の設定	101
認識パラメータを設定する	101
認識エンジンを設定する	106
4.6 表の認識率を上げる	107
表罫線を自動で設定する	107
手動で表罫線を設定する	108
表のセル単位にパラメータを設定する	112
第5章 認識処理の自動化	117
5.1 OCRファクトリー	117
5.2 自動実行の使い方	129
第6章 アプリケーションから読んde!!ココを使う(アドイン機能)	133
6.1 『読んde!!ココ』をアプリケーションに組み込む	134
6.2 アプリケーションから認識を実行する	138
Excelから認識を実行する	138
Wordから認識を実行する	144
PowerPointから認識を実行する	145
一太郎から認識を実行する	149
Acrobatから認識を実行する	150
6.3 『読んde!!ココ』をアプリケーションから削除する	155

第7章 他のアプリケーションとの連携	158
7.1 Document Browserへの登録	158
7.2 Document Storageへの登録	162
第8章 アンインストール	170

読んde!!ココ 付録

付録A.ヒント集	174
付録B.トラブルシューティング	180
索引	200
サポートサービス総合案内	S1

以下の、第2部 応用編マニュアルの内容は製品添付のPDFファイルでご覧になれます

第2部 応用編マニュアル目次

はじめに	1
『読んde!!ココ』応用編マニュアル目次	2
1. マニュアルについて	4
2. Windows Vistaでのご利用上の注意	5
第1章 原稿の取り込み・補正・保存	7
1.1 原稿の色々な取り込み方	7
フォルダから読み込む	7
デジタルカメラから画像を入力するには	12
クリップボードから読み込むには	15
画面から取り込むには	16
1.2 色々な画像補正の方法	18
デジタルカメラから取り込んだ画像を補正するには	18
見開き画像の傾きを補正するには	20
1.3 取り込んだ画像データを保存するには	23
第2章 辞書・認識文字フィルタの活用	26
2.1 ユーザ辞書を利用する	26
ユーザ辞書を目的に応じて使い分ける	26
ユーザ辞書へ追加・削除するには	32
辞書の作成・切り替え・削除	47
2.2 専門分野別辞書を使う	52
2.3 認識文字を限定する(認識文字フィルタ)	53

第3章 認識結果の修正	55
3.1 認識結果ウィンドウについて	56
3.2 認識結果を編集するには	61
3.3 再認識処理	71
3.4 先回り修正	73
3.5 表の認識結果を変更する	74
第4章 認識結果の保存・利用	77
4.1 レイアウトを指定して保存	77
4.2 中間形式による保存	80
4.3 読み上げ	82
4.4 翻訳	83
4.5 認識結果の転送	85
4.6 メール送信	93
第5章 その他の機能	95
5.1 プッシュ機能の使い方	95
5.2 ScanSnapから読み込む	99
5.3 片面ADFを使った両面原稿スキャン	100
5.4 エプソンスキャナサーバーから取り込む	103
エプソンサーバスキャンから読み込む	104
EpsonNet ScanComposerから読み込む	106
5.5 スキャナde!!コピー	108
5.6 印刷	110
5.7 リモートde!!スキャンの利用方法	111
5.8 クリップOCRの利用方法	120
5.9 ココde!!ガイドについて	124
5.10 操作アシスト機能について	126
第6章 読んde!!ココの設定	128
6.1 環境設定	128
原稿ページ	129
表示ページ	130
認識ページ	132
結果ページ	135
読み上げページ	137
出力ページ	138
その他ページ	140
6.2 ツールバーの設定	143
索引	145

操作をはじめるまえに

1. 梱包内容

お買い上げいただいた『読んde!!ココ』のパッケージには、以下のものが入っております。すべて揃っているかどうかをご確認のうえ、万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、ただちに弊社サポートセンターまでご連絡ください。『読んde!!ココ』ダウンロード版をご利用の場合には、梱包物はありません。

- ご愛用者登録カード(*)
- ソフトウェア使用許諾契約書
- システムディスク(CD-ROM 1枚)

**体験版では不要の記述を
グレー表示しています。**

*オ
で

ード」に



ポイント

オンラインでのユーザー登録ができます。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [読んde!!ココ] - [Webユーザー登録]を選択してください。Windows 2000の場合は、[スタート] - [プログラム] - [読んde!!ココ] - [Webユーザー登録]を選択します。

サポート案内ページが表示されますので、登録用ページまで進み、必要事項を入力し送信してください。オンライン登録された場合は「ご愛用者登録カード」のご返送は必要ありません。

なお、『読んde!!ココ』のインストールの終了時にブラウザが起動し、自動で「Webユーザー登録」ページが表示されます。ここでもオンラインによるユーザー登録が行えます。

2.動作環境

.....

OS環境

以下のいずれかのOSがインストール済みであること

- Windows Vista（日本語版）
- Windows XP Home Edition（日本語版）
- Windows XP Professional（日本語版）
- Windows 2000 Professional（日本語版）

ハードウェア

- コンピュータ本体

上記OSが動作するパーソナルコンピュータ。

- 必要メモリ容量

最低256MB (Windows Vista の場合は、512MB以上)。

- ハードディスク

『読んde!!ココ』をインストールするには、以下の空き容量が必要です。

『読ん de!!ココ』（音声辞書を含む場合） 250MB 以上

- サウンドボード

『読んde!!ココ』での認識結果の読み上げに必要となります。

Sound Blasterまたは互換性を持つサウンドボード。

- TWAIN対応、WIA対応*のスキャナおよび専用ドライバ

スキャナはハードウェアのマニュアルを参照して、コンピュータ本体と正しく接続し、TWAINドライバをインストールしておいてください。

WIA対応のスキャナを接続している場合は、WIAドライバを使って『読んde!!ココ』を利用することができますが、TWAINドライバが提供されている場合はTWAINドライバをご利用ください。

TWAIN対応、WIA対応のスキャナおよび専用ドライバがない場合も、『読んde!!ココ』は画像ファイルを読み込む方法でご利用いただけます。

*動作確認済みスキャナー一覧は、パッケージおよび、弊社サイト「OCR World」をご覧ください。

認識部の仕様

文字種	日本語：漢字(JIS第1水準+第2水準の約240字[初期状態]*)、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号 英語：アルファベット、数字、記号
書体	日本語：明朝体、ゴシック体、丸ゴシック体、教科書体、楷書体 英語：デザイン文字を除く英字フォント
文字サイズ	5～45ポイント(5ポイントは600dpiスキャン時のみ)
文書形式	縦書き・横書き、段組み対応(縦横のスタイルおよび複数段組みも自動判別)
言語辞書	日本語：約184,000語 英語：約62,000語

認識対象文字(記号)

[illegible]

*認識対象文字(JIS第2水準[初期状態])

井佗倣傲冤凜凡凰刹剋丩吼呵咄咄咤咤咤喀喀喘嗅嗟嗟嗒嗒嘲囁址毀墟
 姜媚屏屏崗嶽巫巳廣彗彗彷彿恍怙悞悞悞悞慄慄慄慄慄慄慄慄慄慄慄慄
 拇拉捏捏揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅揅
 毯洩泄洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩洩
 瘍瘡眈眈眞眞睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨睨
 蠓蛛蜚蜚螢螢蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨蠨
 邁鈇鋼鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇鈇
 鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓鰓

3. マニュアルについて

.....

マニュアルの構成

『読んde!!ココ』のマニュアルは第1部(本書)と、PDFファイル形式で提供する第2部に分かれています。

第1部は、「操作をはじめるまえに」に続き、「基礎操作編」、「実用編」および「付録」の構成になっております。

操作をはじめるまえに

基礎操作編

第1章 読んde!!ココのセットアップ

第2章 読んde!!ココの特長

第3章 読んde!!ココを使ってみよう

実用編

第4章 認識率を高めるために

第5章 認識処理の自動化

第6章 アプリケーションから読んde!!ココを使う(アドイン機能)

第7章 他のアプリケーションとの連携

第8章 アンインストール

付 録

ヒント集

トラブルシューティング

- 初めてお使いになる場合は、「操作をはじめるまえに」をご覧ください、その後第1章で『読んde!!ココ』をセットアップしてから、基礎操作編を一通ご覧になり、基本操作を学んでください。
- 『読んde!!ココ』の操作に慣れた場合は、お使いになりたい機能や目的に応じて実用編の該当部分および第2部をご覧ください。
- 本書と同様の内容の電子マニュアルが『読んde!!ココ』のインストールフォルダに保存されます。[スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[ドキュメント]－[ユーザーズマニュアル]を選択してください。
第2部の電子マニュアルは、[スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[ドキュメント]－[応用編マニュアル]を選択してご利用ください。
Windows 2000の場合は、[スタート]－[プログラム]－[読んde!!ココ]－[ドキュメント]－[ユーザーズマニュアル]／[応用編マニュアル]を選択してください。

電子マニュアルは、アドビシステムズ社が開発したPDFファイル形式です。ご覧になるには、Adobe Readerなどのリーダーが必要です。なお、Adobe Readerは、『読んde!!ココ』には収録されていません。アドビシステムズ社のホームページよりダウンロードが可能です。

- 本書と同様の内容のテキストマニュアルがシステムCD-ROM「¥MANUAL」フォルダ内に用意されています。『読んde!!ココ』ダウンロード版をご利用の場合は、ダウンロードファイルの展開先の「¥MANUAL」に収録されています。

マークについて



注意

実行後の取り消しができなくなるような注意点や、制限事項など注意すべき点を記載しています。



ポイント

補足事項や、ポイントとなる情報です。



参照

マニュアル中の参照項目を表します。



MENU

マニュアル中の操作説明に関しては、ツールボタンからの操作をメインに説明しています。ツールボタンと同じ機能をメニューから実行する場合のコマンドを表します。

画面イメージとサンプルデータについて

画面イメージは、基本的にはWindows XPの画面で説明しています。Windows XP以外では、画面デザインが異なる場合があります。

マニュアルで使用しているサンプルデータは、インストールフォルダの「¥Sample」に収録されています。また、「¥Data」に限定文字列ファイルの例として都道府県の一覧のテキストファイルが収録されています。必要に応じてお使いください。

Windows 2000でご利用の場合

マニュアル内に[スタート]メニューから起動するショートカットの説明がありますが、Windows 2000でご利用の場合、[すべてのプログラム]は[プログラム]に読み替えてください。

たとえば、「[スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[読んde!!ココ]」を選択します。」という説明はWindows 2000でご利用の場合、「[スタート]－[プログラム]－[読んde!!ココ]－[読んde!!ココ]」を選択します。」と読み替えてください。

なお、ヘルプに関しても同様にお読み替えください。

4.Windows Vistaでのご利用上の注意

Windows Vista環境では、通常のアプリケーションは、「標準ユーザー」として実行されています。そのため、管理者権限が必要になる処理や機能を実行した場合、OSからの問い合わせ画面が表示される場合があります。

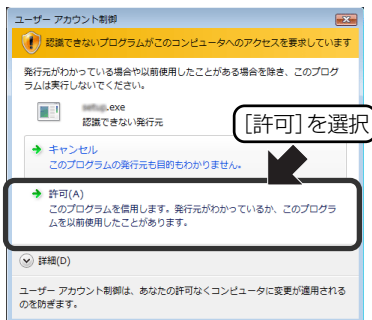
●ユーザーアカウント制御画面

セットアップ、アンインストール、自動アップデートなど管理者権限で行う処理を実行すると、以下のような画面が表示されます。操作を続行するには、[続行]または[許可] ボタンをクリックしてください。なお、実行するプログラムに署名があるかどうかにより表示される画面が異なります。

＜プログラムに署名がある場合＞



＜プログラムに署名がない場合＞



画面1：ユーザーアカウント制御画面

●管理者権限による起動が必要な機能

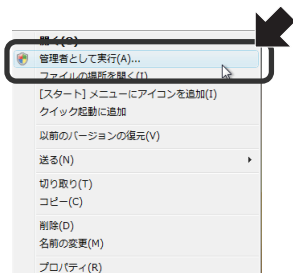
『読んde!!ココ』では、セットアップ、アンインストールのほか、以下の機能をご利用の際「管理者権限」が必要です。

- ・読み上げ機能
- ・Acrobatへのアドインの追加および削除機能

管理者権限が必要な機能を実行するには、アプリケーションを「管理者権限」で起動し直す必要があります。

●管理者権限にてアプリケーションを手動で起動するには

管理者として起動するには、[スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[起動したいアプリケーション名]にマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューから「管理者として実行」を選択します。



画面2:「管理者として実行」を選ぶ

その後、[ユーザアカウント制御]画面が表示されるときは、前述のとおり続行してください。

日本語／英語活字 OCR

読ん de!! ココ

基礎操作編

第 1 章 読ん de!! ココのセットアップ

第 2 章 読ん de!! ココの特長

第 3 章 読ん de!! ココを使ってみよう

読んde!!ココのセットアップ

『読んde!!ココ』のインストーラは、以下のプログラムをインストールすることができます。

- 読ん de!!ココ
- クリップ OCR
- リモート de!!スキャンサーバー

本章では、『読んde!!ココ』のインストールについて説明します。

なお、その他のソフトウェアのインストール方法については、第2部の応用編マニュアルをご覧ください。



ポイント

- 旧バージョンの『読んde!!ココ』がハードディスク内に存在する場合、

**体験版のセットアップは
インストーラの案内にしたがって
インストールしてください。**

旧バー
行いま
愛用者
録カー
番号」

●ユーザごとの環境について

『読んde!!ココ』のユーザ辞書や作業用のファイル・フォルダは、すべてユーザが確実に読み書きできるように、インストールフォルダとは別の場所にユーザごとに作成されます。

ユーザごとに作成されるファイルは以下のとおりです。

- ユーザ辞書 (Usrdic 以下)
- 連続実行設定ファイル・連続実行などの内部処理データ
- 作業用フォルダ (Work) および作業中のファイル
- 転送用フォルダ (マイドキュメント ¥ 読ん de!!ココ ¥ 転送結果
Windows Vista の場合は、ドキュメント ¥ 読ん de!!ココ ¥ 転送結果)

ユーザ辞書の場所はユーザ辞書の設定で変更できます。

作業用フォルダは、[環境設定ーその他] ダイアログで変更できます。

転送用フォルダは、[環境設定ー出力] ダイアログで変更できます。

1.1『読んde!!ココ』のインストール

⚠ 注意

『読んde!!ココ』のインストールは、管理者権限を持っているユーザーにてインストールしてください。

『読んde!!ココ』のインストールは、お持ちの製品によってインストール方法が異なります。『読んde!!ココ』の製品ラインナップは、次のようになっています。

- 読んde!!ココ Ver.13 製品版
- 読んde!!ココ Ver.13 アップグレード版

それぞれの製品は、CD-ROMタイプとダウンロードタイプに分かれています。

●製品版を新規にインストールする場合

→ **製品版** (CD-ROMタイプとダウンロードタイプ) のインストールは、**読んde!!ココ Ver.13 製品版** のインストールガイドに従ってください。

● **アップグレード版** (CD-ROMタイプとダウンロードタイプ) のインストールは、**読んde!!ココ Ver.13 アップグレード版** のインストールガイドに従ってください。

**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

です。アップグレード版のインストールには、所有権の確認が必要です。

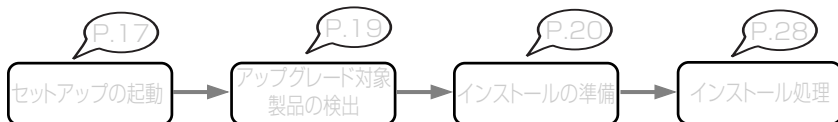
アップグレード版のインストール手順は、『読んde!!ココ Ver.13』をインストールするパソコン環境や製品の購入タイプにより異なります。ご自分がどのパターンになるのかをご確認の上、適切なインストール手順にお進みください。

- 使用するパソコン内に、エプソンバンドル版、あるいは旧バージョンの『読んde!!ココ』が存在する → **パターン1**
- 使用するパソコン内には、『読んde!!ココ』が入っていない
 - エプソンバンドル版あるいは旧バージョンの『読んde!!ココ』のCD-ROMを持っている → **パターン2**
 - 旧バージョンの『読んde!!ココ』のダウンロードファイルがある → **パターン3**

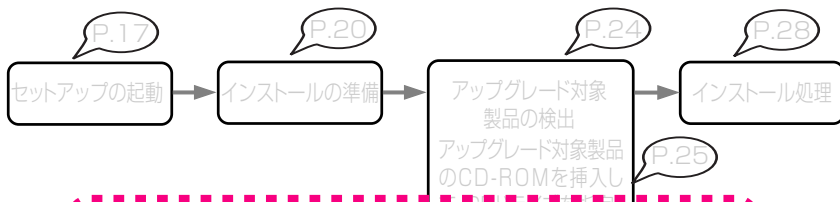
※使用するパソコン内に『読んde!!ココ』が入っていないうえ、エプソンバンドル版あるいは旧バージョンの『読んde!!ココ』のCD-ROMやダウンロードファイルを紛失された方は、P.31「CD-ROMまたはダウンロードファイルを紛失した場合」へ進んでください。

アップグレード版パターン別インストール手順の流れ

パターン1 : 旧バージョンの『読んde!!ココ』がパソコン内に存在する

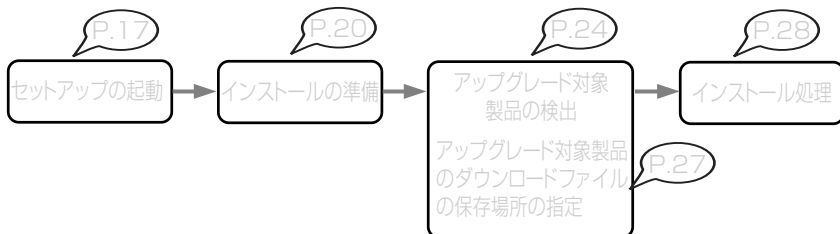


パターン2 : パソコン内に『読んde!!ココ』はない
旧バージョンまたはバンドル版のCD-ROMを持っている



**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

パターン3 : パソコン内に『読んde!!ココ』はない
旧バージョンのダウンロードファイルがある



⚠ 注意

万が一アップグレード対象製品のシステムディスク、もしくはダウンロードファイルを紛失された場合は、「CD-ROMまたはダウンロードファイルを紛失した場合」(P.31)をご覧ください。

セットアップの起動

- 1 システムディスクをCD-ROMドライブにセットします。『読んde!!ココ』ダウンロード版をご利用の場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ポイント

- システムディスクをセットしたとき、オートプレイ機能により自動的にセットアッププログラムが起動します。オートプレイ機能が無効な場合には、「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」でシステムディスクの内容を表示させ、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 『読んde!!ココ』アップグレード版(ダウンロードタイプ)の場合には、アップグレード手順が確認できるダイアログが表示されます。

**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

ユーザー アカウント制御は、あなたの許可なくコンピュータに変更が適用されるのを防ぎます。

画面 1-1 : [ユーザーアカウント制御]画面

Windows Vistaの場合には、セットアップを開始すると[ユーザーアカウント制御]の確認ダイアログが表示されます。＜続行(C)＞ボタンをクリックしてセットアップを行ってください。

[読んde!!ココ セットアップメニュー] ダイアログが表示されます。

2 <読んde!!ココインストール>ボタンをクリックします。



体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。

◆『読ん

P.20操作 **3** へ進んでください。

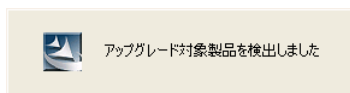
◆『読んde!!ココ』アップグレード版をインストールしている方

パターン1 次ページの「アップグレード対象製品の検出」へ進んでください。

パターン2 } P.20の操作 **3** へ進んでください。
パターン3

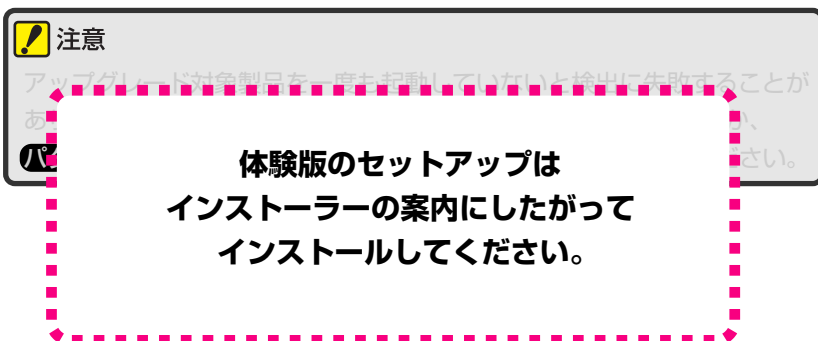
アップグレード対象製品の検出

アップグレード対象製品が、ハードディスク内に存在する場合は、アップグレード対象製品の検出を行います。ハードディスク内にアップグレード対象製品が見つかった場合は、メッセージが表示されます。



画面1-3: アップグレード対象製品検出メッセージ

旧バージョンのインストールフォルダにVer.13を上書きインストールします。
引き続き「読んde!!ココセットアップ」ダイアログが表示されます。





製品版

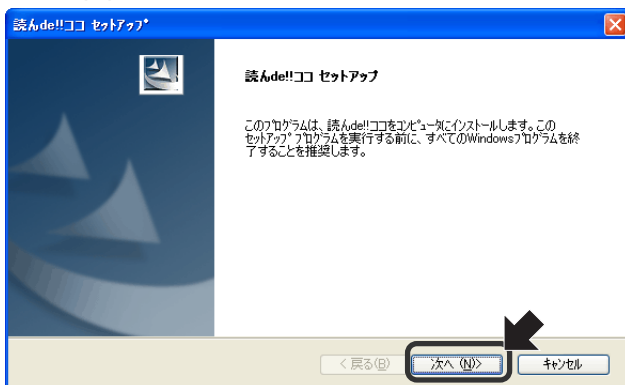
パターン1

パターン2

パターン3

インストールの準備

3 <次へ(N)>ボタンをクリックします。



画面

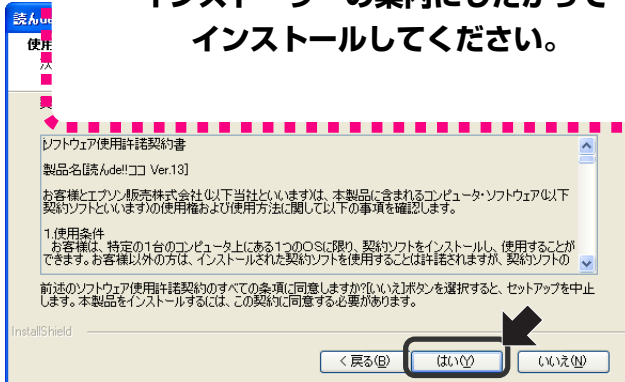
[使

4

使用

**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

です。

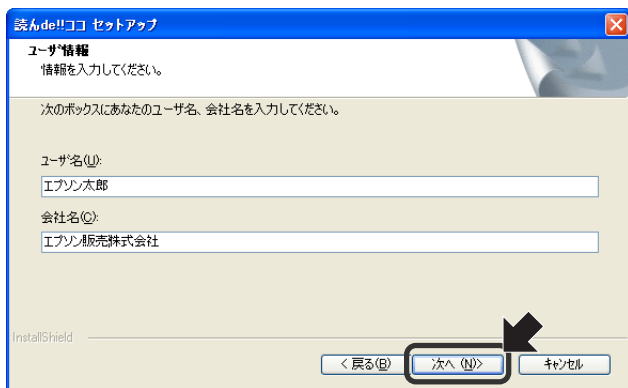


画面 1-5: [使用許諾契約] ダイアログ

[ユーザ情報] ダイアログが表示されます。

**製品版****パターン1****パターン2****パターン3****1**

- 5** [ユーザ名(U)]と[会社名(C)]にユーザ名と会社名を入力し、＜次へ(N)＞ボタンをクリックします。

**6**画面
[コ
イン

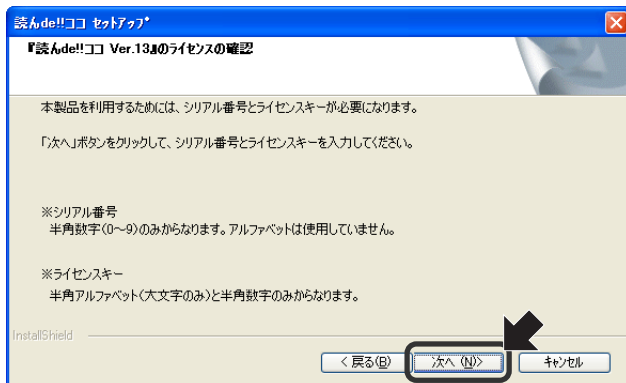
体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。

します。

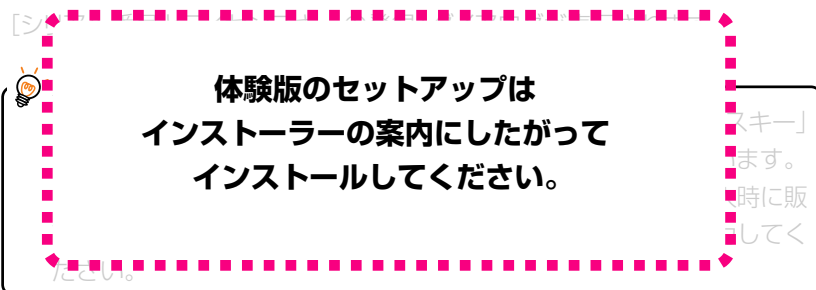
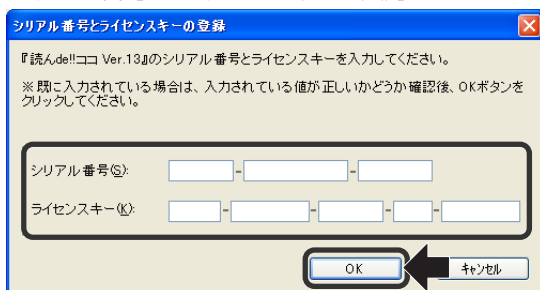


画面 1-7: [ユーザ情報の確認] ダイアログ

[『読んde!!ココ Ver.1.3』のライセンスの確認] ダイアログが表示されます。

7 <次へ(N)>ボタンをクリックします。

画面 1-8: 『読んde!!ココ Ver.13』のライセンスの確認] ダイアログ

**8** シリアル番号とライセンスキーを入力し、<OK>ボタンをクリックします。

画面 1-9: [シリアル番号とライセンスキーの登録] ダイアログ

💡 ポイント

シリアル番号とライセンスキーは半角文字で入力してください。
シリアル番号とライセンスキーの構成は次のようになっています。ご愛
用者登録カードに書かれたシリアル番号とライセンスキーが数字かアル
ファベットか迷う場合に、以下の構成のルールを見て判断してくださ
い。

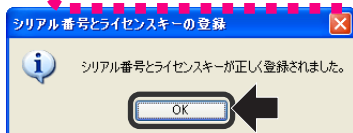
- シリアル番号はすべて数字です。
例：00000-12345678-99999
※アルファベットはありません。
- ライセンスキーは大文字のアルファベットと2～8までの数字の組み
合わせです。
例：ABCD-22AAAA-33BBB-888-ABCDEF

体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。

ライ
ス
ン
ス
キ
ー
の
入
力
に
関
し
て

認
し
な
が
ら

9



画面 1-10: シリアル番号とライセンスキーの登録に成功

◆『読んde!!ココ』製品版をインストールしている方

P.28「インストール処理」へ進んでください。

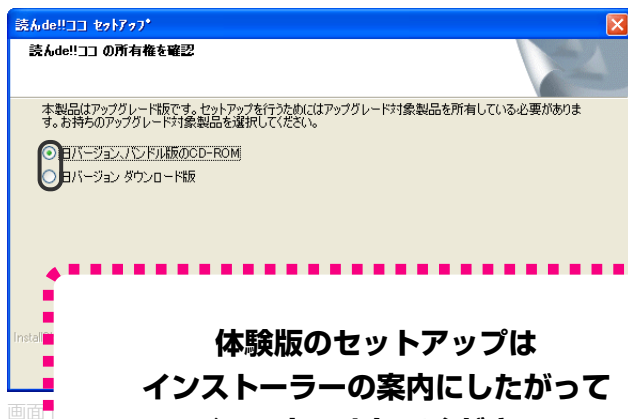
◆『読んde!!ココ』アップグレード版をインストールしている方

- | | | |
|-------|---|-------------------------------|
| パターン1 |] | P.28「インストール処理」へ進んでください。 |
| パターン2 | | P.24「アップグレード対象製品の検出」へ進んでください。 |
| パターン3 | | |

アップグレード対象製品の検出

アップグレード対象製品が検出されなかった場合は、[読んde!!ココの所有権を確認] ダイアログが表示されます。

- 1 所有している対象製品のタイプを選択して、＜次へ(N)>ボタンをクリックします。



**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

パターン2

[旧バージョンのダウンロード版]を選択した場合、P.27「旧バージョンのダウンロード版を選択した場合」へ進んでください。

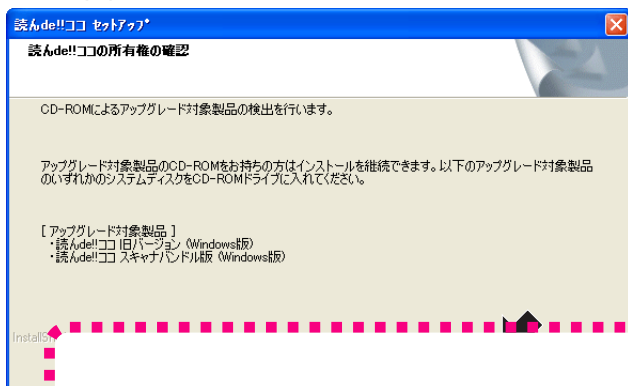
パターン3の場合

[旧バージョンのダウンロード版]を選択し、P.27「旧バージョンのダウンロード版を選択した場合」へ進んでください。

●旧バージョン、バンドル版のCD-ROMを選択した場合

CD-ROMによるアップグレード対象製品の検出を行います。

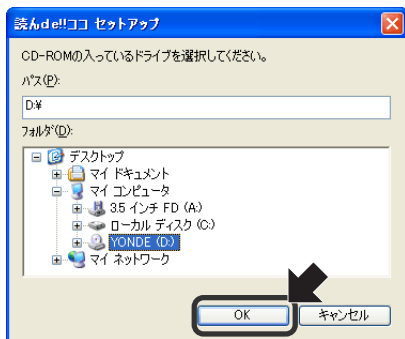
- 2 CDドライブのCDを所有する旧バージョンのCD-ROMに入れ替えて、
<次へ(N)>ボタンをクリックします。



**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

CDドライブ選択のダイアログが表示されます。

- 3 CDドライブを選択し、<OK>ボタンをクリックします。

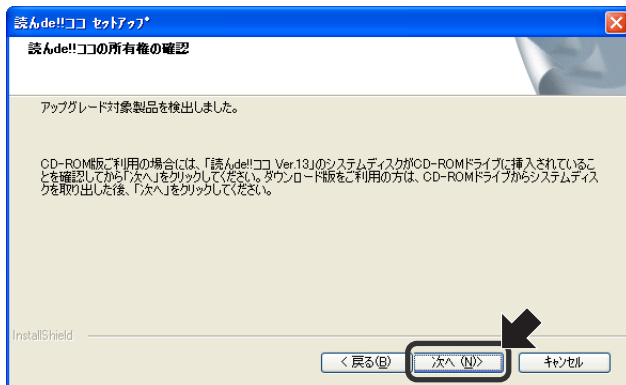


画面 1-13: [CDドライブの選択] ダイアログ

<OK>ボタンをクリックすると、所有権の確認を行います。

確認に成功すると「読んde!!ココの所有権の確認」ダイアログが表示されます。

- 4 画面のメッセージに従って<次へ(N)>ボタンをクリックします。



画面 1-14: [読んde!!ココの所有権の確認] ダイアログ

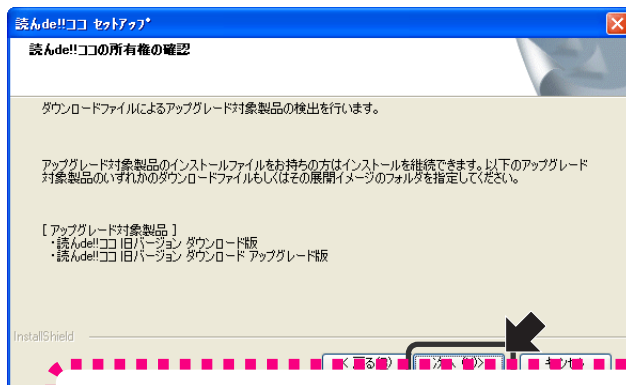
この

**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

●旧バージョンダウンロード版を選択した場合

ダウンロードファイルによるアップグレード対象製品の検出を行います。

2 <次へ(N)>ボタンをクリックします。



画面

フォ

3

アッ
プ
グ
レ
ー
ド
シ
ス
テ
ム

体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。

ルダを選



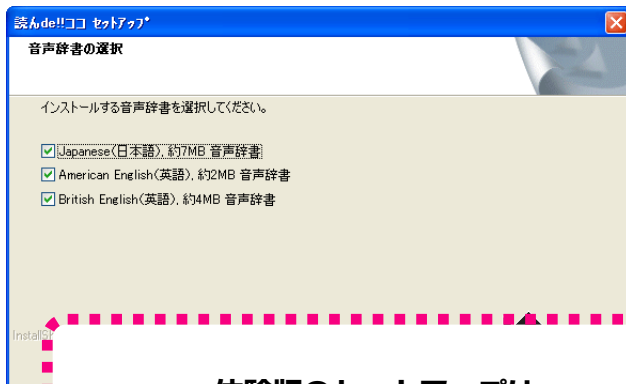
画面 1-16: [フォルダ選択] ダイアログ

<OK>ボタンをクリックすると、所有権の確認を行います。アップグレード対象製品のダウンロードファイルを確認した場合は、「アップグレード対象製品を検出しました。」というメッセージが表示され、続いて[音声辞書の選択]ダイアログが表示されます。P.28「インストール処理」へお進みください。

インストール処理

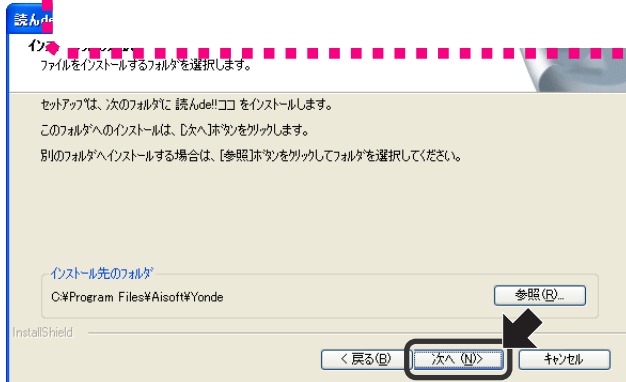
[音声辞書の選択] ダイアログが表示されます。

- 10** インストールする音声辞書を選択して、＜次へ(N)>ボタンをクリックします。



体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。

- 11** インストール先を選択します。



画面 1-18: [インストール先の選択] ダイアログ

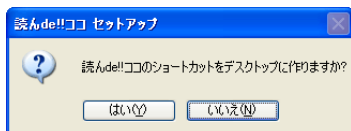
初期設定では、『読んde!!ココ』は [C:¥Program Files¥Aisoft¥Yonde] にインストールされます。

必要に応じて [D:¥Yonde] のようにインストール先フォルダを変更します。

＜次へ(N)＞ボタンをクリックすると、『読ん de !! ココ』のプログラムのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、『読ん de !! ココ』のショートカット作成のメッセージが表示されます。

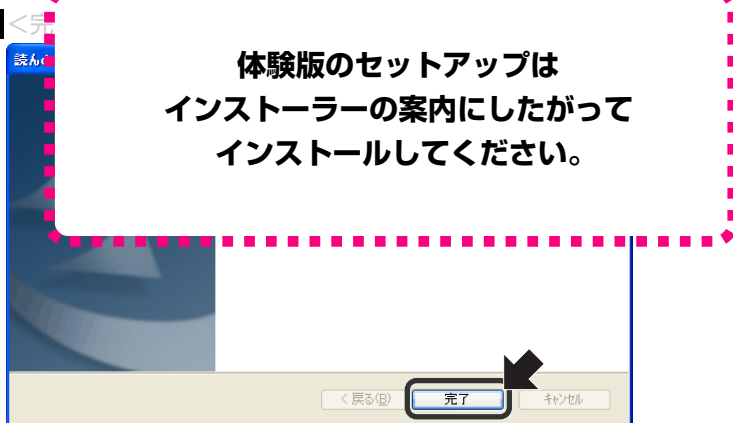
- 12** デスクトップに『読ん de !! ココ』のショートカットを作成する場合は＜はい(Y)＞ボタンを、作成しない場合は ＜いいえ(N)＞ボタンをクリックします。



画面 1-19: [読ん de !! ココのショートカット作成確認] ダイアログ

インストールが正常に終了すると、『読ん de !! ココ セットアップ終了』ダイアログが表示されます。

- 13** <完了>ボタンをクリックしてインストールしてください。



画面 1-20: [読ん de !! ココ セットアップ 終了] ダイアログ

ここで、『お読みください』を参照する場合は、セットアッププログラムを終了してから、Readme.txtを表示します。

この後、お使いのブラウザが自動で起動し、『ユーザー登録の案内』ページが表示されます。ユーザー登録がまだお済みでない場合は、ユーザー登録を行ってください。

ブラウザを終了すると、『読ん de !! ココ セットアッププログラム』ダイアログに戻ります。

- 他のプログラムを続けてインストールする場合は、インストールしたいプログラムボタンをクリックします。「クリップOCR」、「リモートde!!スキャンサーバー」のインストールについては、第2部 応用編マニュアルのP.120「5.8 クリップOCRの利用方法」およびP.111「5.7 リモートde!!スキャンの利用方法」をご覧ください。
- インストーラを終了する場合は、＜閉じる＞ボタンをクリックします。
- ＜お読みください＞ボタンをクリックすると、Readme.txtを表示します。このファイルには、マニュアルには記載できなかった最新情報や、注意事項などが記載されています。『読んde!!ココ』ご使用の前に、一度ご覧ください。


**体験版のセットアップは
インストーラの案内にしたがって
インストールしてください。**

CD-ROMまたはダウンロードファイルを紛失した場合

アップグレード対象製品のシステムディスク、もしくはダウンロードファイルを紛失された場合でも、対象製品のユーザー登録がされていれば、アップグレード用IDとアップグレード用キーを取得することで、アップグレード版のインストールができます。

アップグレード用キーの取得は、巻末「サポートサービス総合案内」S-7記載の「エーアイソフト製品に関するお問い合わせ先」へお問い合わせください。

アップグレード用キーの取得が完了したら、『読んde!!ココ アップグレード版』のインストールを行うことができます。

 **参照** 下記に示すインストール操作手順 **1** ～ **9** までは、アップグレード版のインストール **パターン2** と一緒です。詳細は、P.17「セットアップの起動」からをご覧ください。

- 1** システムディスクをCD-ROMドライブにセットします。『読んde!!ココ』ダウンロードファイルをCD-ROMドライブにセットします。

[読ん

- 2** <読ん

[読ん

- 3** <次

[使

- 4** 使用言語を選択し、**OK** ボタンをクリックします。

[ユーザ情報] ダイアログが表示されます。

- 5** [ユーザ名(U)]と[会社名(C)]にユーザ名と会社名を入力し、<次へ(N)>ボタンをクリックします。

[ユーザ情報の確認] ダイアログが表示されます。

- 6** インストール作業を続行してよければ、<次へ(N)>ボタンをクリックします。

[『読んde!!ココ Ver.13』のライセンスの確認] ダイアログが表示されます。

- 7** <次へ(N)>ボタンをクリックします。

[シリアル番号とライセンスキーの登録] ダイアログが表示されます。

- 8** シリアル番号とライセンスキーを入力し、<OK>ボタンをクリックします。
ライセンスの登録に成功するとメッセージが表示されます。

- 9** <OK>ボタンをクリックします。

[読んde!!ココの所有権を確認] ダイアログが表示されます。

**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

1.1 『読んde!!ココ』のインストール

- 10** [旧バージョン、バンドル版のCD-ROM]を選択し、＜次へ(N)>ボタンをクリックします。

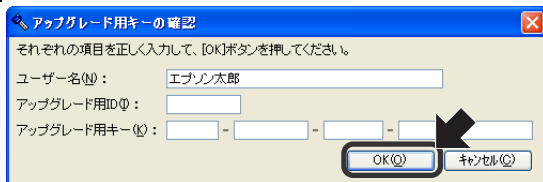
引き続き[読んde!!ココの所有権の確認]ダイアログが表示されます。

- 11** CDドライブのCDはそのまま＜次へ(N)>ボタンをクリックします。
CDドライブの選択のダイアログが表示されます。

- 12** ＜キャンセル>ボタンをクリックします。

[アップグレード用キーの確認]ダイアログが表示されます。

- 13** アップグレード情報を入力し、＜OK(O)>ボタンをクリックします。



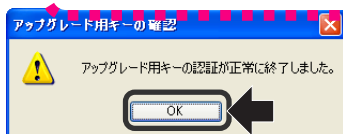
画面 1-21: [アップグレード用キーの確認]ダイアログ

[ア
入
＜C
アッ

**体験版のセットアップは
インストーラーの案内にしたがって
インストールしてください。**

角文字で
います。

- 14** ＜C



画面 1-22: [アップグレード用キーの確認]ダイアログ

[音声辞書の選択]ダイアログが表示されます。

この後の手順は、通常のインストール手順と同じです。P.28「インストール処理」へ戻りインストールを続行してください。

1.2 自動アップデートするには

「自動アップデート」とは、インターネットに接続し、エーアイソフトのサーバーからお使いの製品の差分プログラムをダウンロードして、自動で最新の状態にアップデートするプログラムです。

「自動アップデート」を利用するには、お使いの製品のユーザー登録、およびサービスサイトai2youへの会員登録(無料)が必要です。

自動アップデート操作の流れ

「自動アップデート」の基本的な操作の流れは以下のようになります。

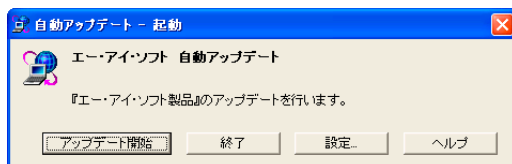
Step1 自動アップデートの起動

注意 ファイアウォールソフトをご利用の方へ

体験版では、自動アップデート機能はご利用できません。

「自動アップデート」を選択します。

[自動アップデートー起動] ダイアログが表示されます。



※画面の製品名は『読ん
de!!ココ』と入れ替えて
お読みください。

画面1-23:[自動アップデートー
起動]ダイアログ

ポイント

- インターネットへの接続は、通常のインターネットオプションを利用して行われます。インターネットの接続方法、およびプロキシサーバーの設定は、＜設定＞ボタンをクリックして行います。詳しくは、ヘルプを参照してください。
- Windows Vistaの場合には、自動アップデートを開始すると[ユーザーアカウント制御]の確認ダイアログが表示されます。＜続行(C)>ボタンをクリックしてください。

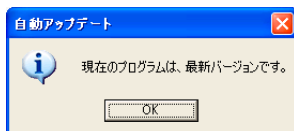
Step2 自動アップデート情報取得

インターネットに接続し、エーアイソフトの自動アップデートサーバーに情報の有無を問い合わせます。進行状態を表すダイアログが表示されます。確認が終わるまでしばらくお待ちください。

この後は、サーバーに差分プログラムが登録されているかどうかにより操作が異なります。

●差分が登録されていない場合

以下のメッセージが表示されます。アップデートの必要はありません。



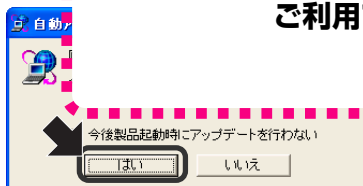
画面1-24:メッセージダイアログ

●差分が登録されている場合

[自動

①アッ

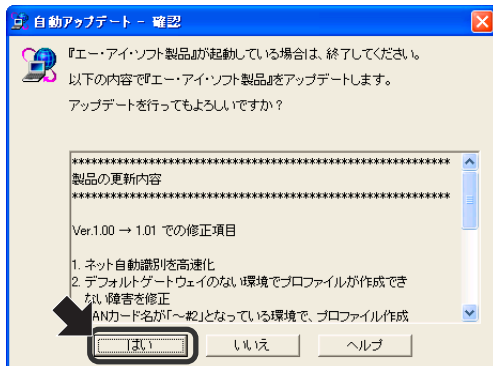
**体験版では、自動アップデート機能は
ご利用できません。**



画面1-25:[自動アップデート-更新通知]ダイアログ

[自動アップデート-確認]ダイアログが表示されます。

②アップデートを行う場合は、<はい>ボタンをクリックします。



※画面メッセージは製品により異なります。

画面1-26:[自動アップデート-確認]ダイアログ

<はい>ボタンをクリックした場合は、自動アップデートを行います。

Step3 ダウンロード／アップデート

ai2youの認証が必要ない場合は、[自動アップデーターダウンロード&アップデート]ダイアログが表示されます。

ai2youの認証が必要な場合は、[ai2you認証]ダイアログが表示されます。

ai2you会員IDとパスワードを入力し、＜OK＞ボタンをクリックします。

**体験版では、自動アップデート機能は
ご利用できません。**

Step

アップデート作業が正常に終了すると、[自動アップデーター終了]ダイアログが表示され、＜終了＞ボタンをクリックすると「自動アップデーター」が終了します。

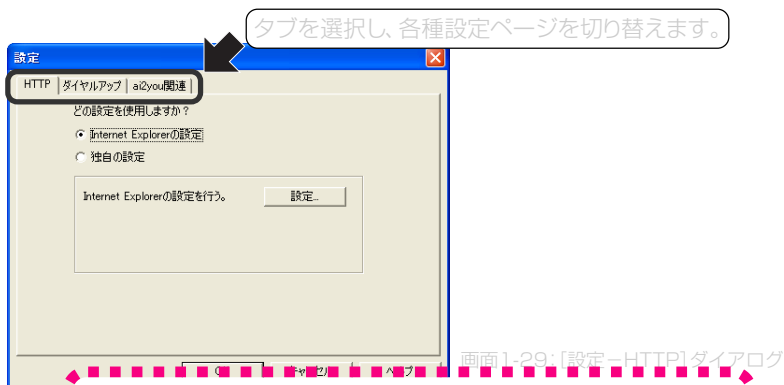
※画面メッセージは製品により
異なります。

画面 1-28: [自動アップデーター終了]ダイアログ

[お客様のマイページはこちらをご覧ください。]をクリックすると、ai2youのマイページが表示されます。

自動アップデートの設定

[自動アップデーター起動] ダイアログで、[設定] ボタンをクリックすると、[設定] ダイアログが表示され、各種設定を行うことができます。



各ベ
ヘル

**体験版では、自動アップデート機能は
ご利用できません。**

される

自動アップデートのトラブルシューティング

「自動アップデート」や「ai2youの認証」に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。以下に、エラーメッセージの種類とチェックポイントを示します。

「インターネットに接続できません。
インターネットの接続が正常に機能していることを確認してください。」

- ケーブルが抜けていませんか？
- モデムやルーターの電源は、入っていますか？
- ダイアルアップ接続の場合、正しくダイアルアップ接続されていますか？

「自動アップデートに失敗しました。
エー・アイ・ソフトのサーバーに接続できません。・・・」

表示メッセージの他、以下の点も確認してください。

- Internet Explorerが正常に使用できていますか？

• フ

• プ

**体験版では、自動アップデート機能は
ご利用できません。**

せんか？

「自動ア

<詳

- インターネット接続を確認してください。

「ai2you会員ID『i2u*****』に製品ユーザー登録されていません。」

- 自動アップデートを行うには、製品ユーザー登録が必要です。お使いの製品について、まだ登録されていない場合は、表示されているリンクから製品ユーザー登録を行ってください。

「ai2you会員ID『i2u*****』は間違っていますか？
パスワードを正しく入力してください。」

- ai2you会員ID、またはパスワードを忘れてしまった場合、表示されているリンクから、お問い合わせください。

ダウンロードに失敗する
インターネットセキュリティ関連のメッセージが表示される

ファイアウォールソフトウェアを利用している場合、自動アップデート実行時のみ一時停止するか、あるいは「自動アップデート」の実行ファイル「Update.exe」、「iu2.exe」にインターネットへのアクセス許可を設定してください。

2

読んde!!ココの特長

2.1 機能別の特長

『読んde!!ココ』のパッケージには読んde!!ココをはじめとするいくつかのツールがあります。それぞれのツールについての簡単な紹介をします。なお、詳しい内容についてはマニュアル内の該当箇所をご覧ください。

スマートナビ

『スマートナビ』は『読んde!!ココ』のナビゲーション画面です。初期画面で『読んde!!ココ』のできる様々な処理の中から、目的にあったものを簡単に選ぶことができます。例えば、画面左上の[ワンタッチ認識] ボタンをクリックすると、表示されるワンタッチ認識ツールのメニューボタンから、原稿のスキャン～原稿の認識～目的のアプリケーションへの出力までを自動実行できます。

『スマートナビ』を起動するには、[スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[アプリケーション]－[スマートナビ]を選択します。



画面2-1:スマートナビ

読んde!!ココー確認しながら認識

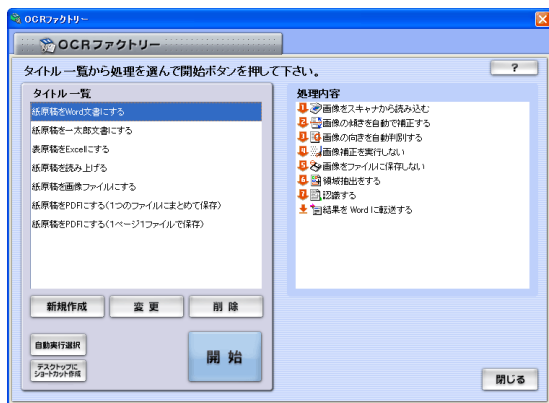
原稿を認識に適した状態に修復する「画像編集」機能、複雑なレイアウトの原稿の認識領域を指定する、「手動レイアウト」機能など『読んde!!ココ』のすべての機能をご利用になれます。



画面2-2: 読んde!!ココ

OCRファクトリー—大量の文書の一括処理

複数の画像データの連続取り込み・認識の処理手順などを設定し、自動で処理させることができます。細かい設定に基づいた自動処理ができるので、大量文書の一括認識処理が可能です。設定した処理手順は保存しておくことができます。



画面2-3: OCRファクトリー

アドイン-アプリケーションから直接利用

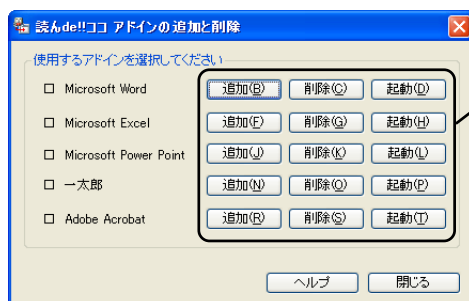
『読んde!!ココ』のOCR機能をアプリケーションに組み込むことにより、アプリケーションに追加されたメニューコマンドから『読んde!!ココ』を使うことができます。『読んde!!ココ』は、次のアプリケーションにOCR機能を組み込むことができます。

- Microsoft Excel 2007/ 2003 / 2002 / 2000
- Microsoft Word 2007/ 2003 / 2002 / 2000
- Microsoft PowerPoint 2007/ 2003 / 2002 / 2000
- 一太郎 2007/ 2006 / 2005 / 2004 / 13 / 12
- Adobe Acrobat* 8.0 / 7.0 / 6.0



注意

Adobe Reader にはアドインできません。



アドインに追加したり、アドインを削除します。
アドインしたアプリケーションを起動します

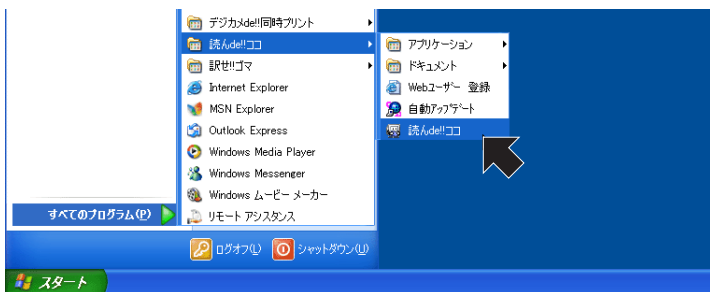
画面2-4:読んde!!ココアドインの追加と削除

2.2 『読んde!!ココ』の起動と画面構成

『読んde!!ココ』の起動、および画面構成を説明します。

『読んde!!ココ』を起動する

- 1 Windowsを起動します。
- 2 [スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[読んde!!ココ]を選択します。

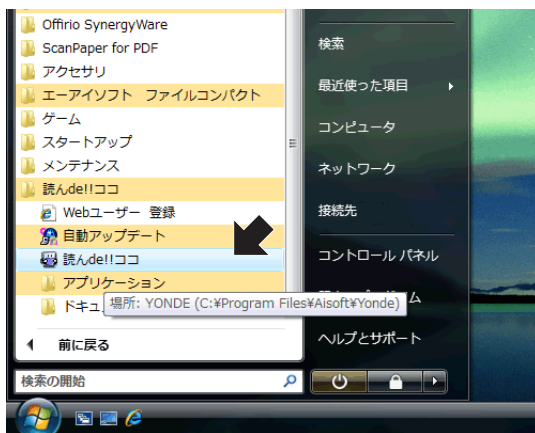


画面2-5: [スタート]メニューから『読んde!!ココ』を起動



ポイント

Windows Vistaでは、[スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[読んde!!ココ]を順次クリックします。



画面2-6: Windows Vista [スタート]メニューから『読んde!!ココ』を起動

オープニング画面に続いて『読んde!!ココ』が起動します。

- ・初期設定では、前面に『スマートナビ』が表示されます。

『読んde!!ココ』の画面構成

●メインウィンドウ



画面2-7:『読んde!!ココ』のメインウィンドウ

基本操作ツールバー

- 操作の順に沿って作業を進めると操作が完了します。
- ボタン右側に表示されている▼をクリックすると、そのメニューに割り当てられているボタンの機能を選択／切り替えることができます。
- ツールボタンにマウスポインタを合わせると、ボタンの機能を表す名前が表示されます。ツールボタンと機能の説明は、ヘルプをご覧ください。

アプリケーションバー

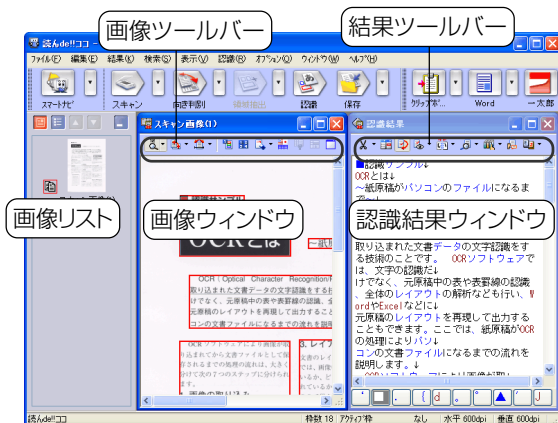
- アプリケーションのボタンをクリックするだけで、自動的に認識処理を行い、結果を転送します。(参照 P.70「3.8 認識結果を保存・転送する」)。
- アプリケーションバーの表示のオン・オフは、[表示(V)]－[ツールバー(T)]コマンドで切り替えられます。

作業領域

- 画像データの取り込みや認識処理、認識後の編集などを行う領域です。行う作業に応じて、適切なサブウィンドウが表示されます。
- 表示されるサブウィンドウには、画像データを表示する「画像ウィンドウ」と、認識処理後のテキストデータを表示する「認識結果ウィンドウ」があります。

ステータスバー

- そのときの状態を示す情報が表示されます。
- ステータスバーの表示のオン・オフは、[表示(V)]－[ステータスバー(S)]コマンドで切り替えられます。



画面2-8:作業領域に表示されるサブウィンドウ

画像リスト

- 『読んde!!ココ』に読み込んでいる画像が一覧表示されます。
- 画像リストの表示のオン・オフは、[表示(V)]－[ツールバー(T)]コマンドで切り替えられます。
- サムネイル画像やファイル名の部分をダブルクリックすると、その画像が作業領域に表示されます。
- ファイル名の左側には、どの段階まで作業が進んでいるかを示す次の3種類のアイコンが表示されます。

📄: 枠未設定

📄: 枠設定済み

📄: 認識済み

画像ツールバー

- 画像ウィンドウで頻繁に使用するメニューコマンドがツールボタンに割り当てられています。
- 画像ツールバーの表示位置とオンオフは[表示(V)]－[ツールバー(T)]－[画像]メニューのコマンドで、メインウィンドウ／画像ウィンドウ／表示しないを切り替えられます。

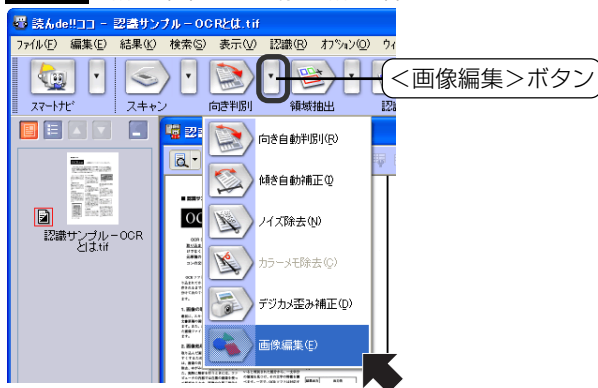
結果ツールバー

- 結果ウィンドウで頻繁に使用するメニューコマンドがツールボタンに割り当てられています。
- 結果ツールバーの表示位置とオンオフは[表示(V)]－[ツールバー(T)]－[結果]メニューのコマンドで、メインウィンドウ／結果ウィンドウ／表示しないを切り替えられます。

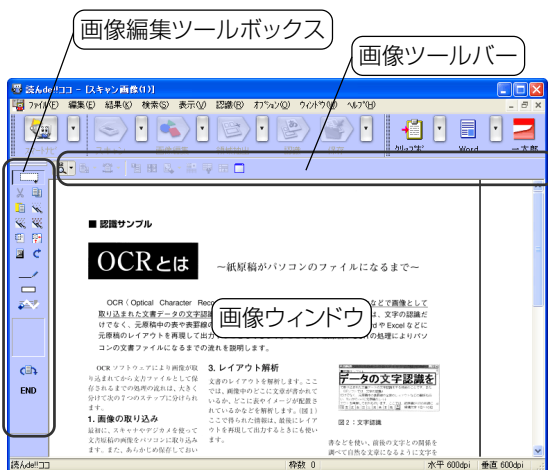
●画像編集時(画像編集モード)

画像データを取り込み、基本操作ツールバーの<画像編集>ボタンをクリックして、表示されるメニューより「画像編集(E)」を選択すると、「画像編集モード」になります。

MENU: [編集(E)] - [画像の編集(I)]



画面2-9: 「画像編集(E)」を選択



画面2-10: 画像編集モード

画像編集ツールボックス

- 画像データの編集に使用する機能をツールボタンに割り付けたものです。
〔参照 P.56「3.3 取り込んだ画像を編集する」〕
- ツールボタンにマウスポインタを合わせると、ボタンの機能を表す名前が表示されます。ツールボタンと機能の説明は、ヘルプをご覧ください。

●メニューについて

メニューバー

『読んde!!ココ』のすべての機能は、メニューバーの各メニューに登録されています。

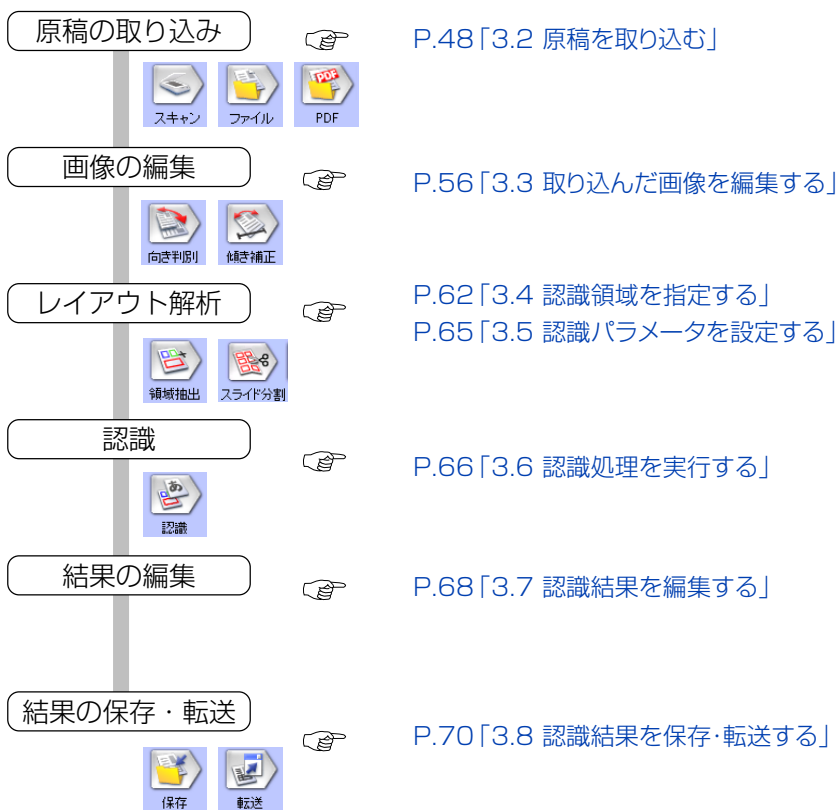
右クリックメニュー

作業中にマウスの右ボタンをクリックすると基本的なメニューコマンドがポップアップメニューとして表示されます。表示されるコマンドは、どのウィンドウ(画像ウィンドウ、画像編集ウィンドウ、認識結果ウィンドウ)で作業しているかによって異なります。それぞれのコマンドは、メニューバーに登録されているコマンドと同じ機能です。

『読んde!!ココ』の基本的な一連の操作を説明します。以下に示す操作の流れに沿って作業していくことで、原稿の認識や認識結果の出力ができます。

3.1 操作の流れ

『読んde!!ココ』の基本的な一連の操作の流れは、次のようになります。



3.2 原稿を取り込む

『読んde!!ココ』には、画像データの取り込み・読み込み方法として、次の8種類が用意されています。

- スキャン（スキャナから取り込む）
- 両面スキャン（スキャナから取り込む）
- ファイル
- フォルダ
- PDF ファイル
- デジカメ（デジタルカメラから取り込む）
- クリップボード
- 画面取り込み

ここでは、スキャナからの原稿取り込みとファイルから読み込む方法について説明します。その他の方法については、第2部 応用編マニュアルのP.7「1.1 原稿の色々な取り込み方」をご覧ください。

スキャナから原稿を取り込む

スキャナから原稿を取り込むには、まずスキャナを選択しておいてから取り込み操作を行います。

●スキャナを選択する

『読んde!!ココ』で利用するスキャナを選択します。

スキャナの選択は『読んde!!ココ』ご使用にあたり、最初に一度だけ行います。次回以降、スキャナから原稿を取り込む場合はこの操作は必要ありません。ただし、新しくドライバをインストールした場合や、スキャナを変更した場合は、再度行ってください。

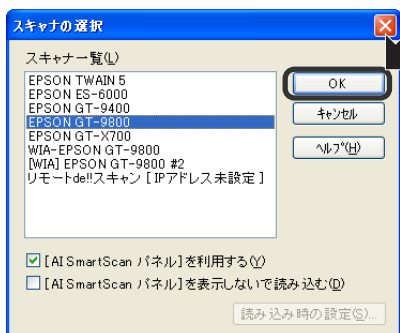


ポイント

あらかじめスキャナを利用可能な状態にしておいてください。スキャナの操作方法や、パソコンへの接続方法については、ご使用のスキャナに付属している取扱説明書をご覧ください。

- 1** スキャナに電源が入っていることを確認し、原稿をスキャナにセットします。
ここでは、『読んde!!ココ』のパッケージ内に入っているサンプル原稿を使って取り込みを行います。サンプル原稿をスキャナにセットします。
ダウンロード版など付属のサンプル原稿がない場合には、お手元の適当なA4原稿でお試しく下さい。

- 2 [ファイル(F)]－[スキャナの選択(S)...]コマンドを選択します。
[スキャナの選択]ダイアログが表示されます。
- 3 で使用のスキャナを選択して<OK>ボタンをクリックします。



画面3-1: [スキャナの選択] ダイアログ

- [スキャナの選択] ダイアログが表示され、現在インストールされているスキャナのドライバの一覧が表示されます。
通常、『読ん de !! ココ』からスキャナの取り込み設定が可能なTWAINドライバを選択します。
- WIA対応のスキャナを接続しているときは、スキャナー一覧にTWAINドライバのほかにWIAを用いた接続が可能になるWIAドライバ「WIA-(スキャナ名)」および「[WIA] (スキャナ名)」が表示されます。WIAを用いてスキャナを利用する場合は、「[WIA] (スキャナ名)」のドライバを選択します。
- 「リモートde!!スキャン [IPアドレス]」は、リモートde!!スキャンサーバーを使用する場合に選択します。詳しくは、第2部 応用編マニュアルのP.111「5.7 リモートde!!スキャンの利用方法」をご覧ください。



ポイント

株式会社PFUのScanSnapをご利用の場合は、『読ん de !! ココ』側から操作して原稿を取り込むことはできません。ただし、ScanSnap連携側の設定画面で[選択アプリケーション]に『読ん de !! ココ』を指定しておくと、ScanSnapの<SCAN>ボタンを押すだけで『読ん de !! ココ』に原稿を取り込むことができます。詳しくは第2部 応用編マニュアルのP.99「5.2 ScanSnapから読み込む」をご覧ください。

●スキャナから原稿を取り込むには

- 1 基本操作ツールバーの<画像入力選択>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[スキャン(S)]または[両面スキャン(R)]を選択します。

MENU : [ファイル(F)]ー[スキャナから読み込む(R)...]/[スキャナから両面読み込む(H)...]



画面3-2: <スキャン>ボタンを選ぶ

[AI SmartScanパネル] ダイアログが表示されます。



ポイント

[スキャナの選択] ダイアログで「[AI SmartScanパネル]」を利用する(Y)」を選択していない場合や、ご使用のスキャナによっては、スキャナ固有の設定ダイアログなどが表示されることがあります。その場合は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 2 <プレビュー(P)>ボタンをクリックし、取り込みに関する設定を行います。
[AI SmartScanパネル] ダイアログで、画像を取り込む際のモード、解像度、原稿種別、取り込み濃度、原稿サイズ、取り込み方法を設定します。
詳細はヘルプをご覧ください。



画面3-3: [AI SmartScan パネル] ダイアログ

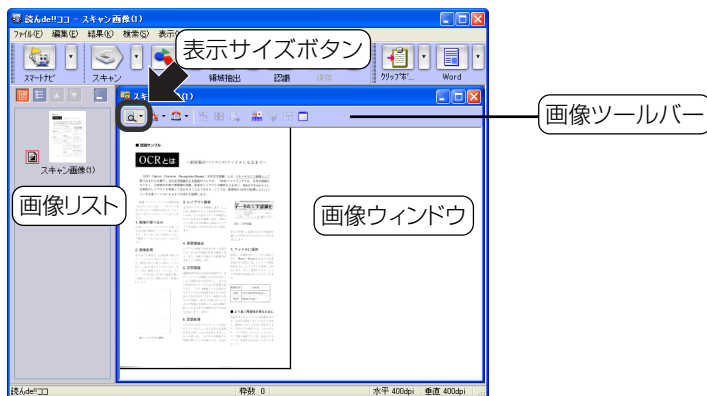
ポイント

エプソン製のネットワークスキャナをご利用の場合、[環境設定-原稿]ダイアログでネットワークスキャナのスタートボタンを検知する設定にしているとき、この状態でスキャナ側のスタートボタン(スキャナビボタン)をクリックすることでスキャンを開始できます。

3 <取り込み(S)>ボタンをクリックします。

画像の取り込みが始まります。

取り込みが終了すると、『読んde!!ココ』の画像ウィンドウに画像の全体が表示され、画像リストに縮小画像(サムネイル画像)が表示されます。



画面3-4: スキャン後の『読んde!!ココ』画面

画像ウィンドウ内の画像データの表示サイズは、[100%]/[50%]/[25%]/[12%]/[全体]/[幅に合わせる]/[高さに合わせる]のお好きなサイズに変更できます。変更するには、画像ツールバーの表示サイズボタンの右側の▼をクリックし、表示されるメニューより表示サイズを選択します。



ポイント

- キヤノン社製フラットベッドスキャナをお使いの場合には、[取り込み濃度]の指定を変更しても、取り込まれる画像データの濃淡が変わらない場合があります。その場合には、TWAINドライバ固有のダイアログか、Windowsの[コントロールパネル]－[プリンタとその他のハードウェア]－[スキャナとカメラ] (Windows 2000の場合は、[コントロールパネル]－[スキャナとカメラ])でスキャナのプロパティを表示させて、取り込み時の設定として「テキストモード」ではなく「白黒2値モード」を使用するように指定してください。
- [AI SmartScanパネル]を表示しないで取り込む指定にしている場合には、TWAINドライバ固有のダイアログ／WIAドライバダイアログで、以下のような設定になるように指定してください。

モード：白黒(2値)
解像度：400dpi
- WIAドライバによっては、[AI SmartScanパネル]の各種設定を変更しても、設定どおりの画像がスキャンされない場合があります。その場合は、そのスキャナの最新のWIAドライバを入手するか、TWAINドライバをご利用ください。

ファイルから読み込む

『読んde!!ココ』に画像ファイルを読み込み、画像データを認識させます。

●読み込める画像ファイルの形式

『読んde!!ココ』では、次の形式の画像ファイルを読み込むことができます。TIFFファイルとEasyFaxファイル、およびPDFファイルでは複数のページを読み込むことができます。

- BMPファイル(*.bmp) : Windowsのビットマップファイル
- TIFFファイル(*.tif) : タグ付きファイル
- PCXファイル(*.pcx) : ペイントブラシファイル
- JPEGファイル(*.jpg) : JPEG圧縮されたファイル
- PNGファイル(*.png) : PNG形式のファイル
- EasyFaxファイル(*.ltx) : EasyFaxのイメージファイル(受信ファイル)
- PDFファイル(*.pdf) : PDF形式のファイル

『読んde!!ココ』で読み込めるカラー画像のファイル形式は、24ビットフルカラー、256色、16色、モノクロのいずれかに限られます。カラー画像を読み込む際には、多くのメモリや作業用フォルダの空き領域が必要になります。たとえば、A4サイズでフルカラー、400dpi画像の場合、約45MBになります。

「TIFFファイル(*.tif)」を選んだ場合は、対象となるTIFFファイルが非圧縮・MH圧縮・PackBits圧縮・G4圧縮・JPEG圧縮の5種類の形式のいずれであるかが自動的に判別されて読み込まれます。なお、これ以外の圧縮形式については読み込めません。

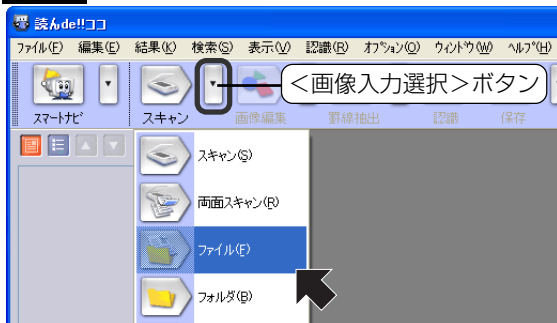
PDFファイルは画像イメージとして『読んde!!ココ』に読み込み、認識します。PDFファイルには、画像のみと文字付き画像がありますが、『読んde!!ココ』で認識する場合、どちらのPDFファイルでもいったん出カイメージ(画像のみ)にしてから読み込み、認識を行います。

なお、PDF 1.6以降の規格で暗号化されたPDFは読み込むことができません。

●画像ファイルを読み込むには

- 1 基本操作ツールバーの<画像入力選択>ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ファイル(F)]を選択します。

MENU : [ファイル(F)]－[画像ファイルを開く(O)...]



画面3-5: <ファイル>ボタンを選ぶ



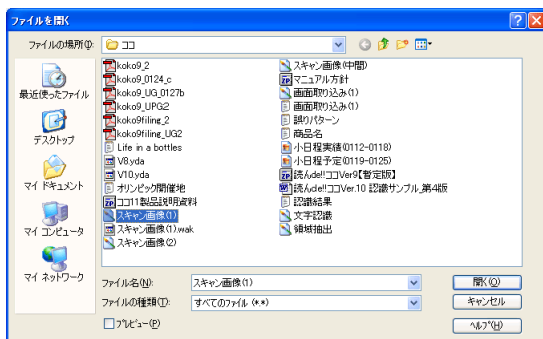
ポイント

PDFファイルを読み込むときは、表示されるメニューから[PDFファイル(G)]を選択することでも読み込めます。

MENU : [ファイル(F)]－[PDFファイルから取り込む(J)...]

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

- 2 読み込みたい画像ファイルを選択します。



画面3-6: [ファイルを開く] ダイアログ

- 複数のファイルを選択するには、マウスで範囲を指定するか、ファイル一覧より読み込みたい最初のファイルをクリックし、最後のファイルを押しながらクリックします。
- ランダムに複数ファイルを選択するには、[Ctrl] キーを押しながら順次クリックします。

3 <開く(O)>ボタンをクリックします。

画像ファイルが『読んde!!ココ』に読み込まれます。



ポイント

サンプル認識原稿が『読んde!!ココ』のインストール先のSampleフォルダに保存されています。必要に応じてご利用ください。

3.3 取り込んだ画像を編集する

取り込んだ画像によっては、自動処理で画像の向きの判断や傾きの補正が正しく行えない場合があります。そのような画像に対しては画像データの編集を行います。



ポイント

画像読み込み後、自動的に向きの判断と傾きの補正を行う設定は、[操作アシストの設定] ダイアログの[原稿の向きを補正する(D)]と[原稿の傾きを補正する(S)]で行います。詳しくは、第2部 応用編マニュアルのP.126「5.10 操作アシスト機能について」をご覧ください。

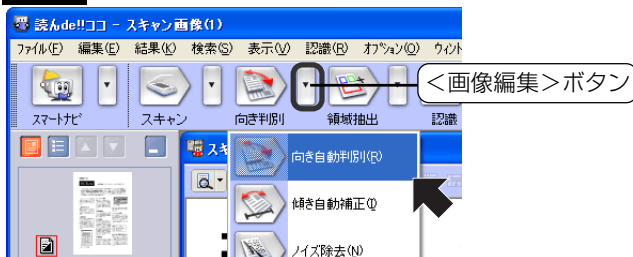
画像の向きを変更するには

画像の向き変更には「向き自動判別」と手動で90°単位で指定して変更する方法とがあります。

●画像の自動向き補正

- 1 基本操作ツールバーの<画像編集>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[向き自動判別(R)]を選択します。

MENU : [表示(V)] - [回転] - [自動判別]



画面3-7: [向き自動判別(R)]を選ぶ

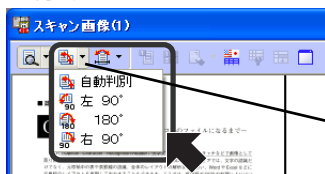
『読むde!!ココ』が自動で画像データの向きを判断して正しい向きになるように回転させます。

●画像の手動向き補正

- 1 画像の向きにより、画像ツールバーから[自動判別]／[左90°]／[180°]／[右90°]を選択します。

MENU : [表示(V)]－[回転(R)]－[左90°]／[180°]／[右90°]／[自動判別]

なお「自動判別」を実行した場合は、『読んde!!ココ』が自動で画像データの向きを判断して正しい向きになるように回転させます。



画面3-8: 回転ボタン

向き関連のボタンの横にある▼をクリックすると、メニューが開きます。

画像が正しい向きに回転されます。

画像の傾きを補正するには

傾きの補正には、「自動傾き補正」と「手動傾き補正」があります。また、これらのコマンドは1枚あるいは見開きの画像に対してそれぞれ用意されています。傾いた画像に対して、0.1°単位で-45°～+45°の範囲で補正します。

「自動傾き補正」を実行した場合は、『読んde!!ココ』が自動で傾きを判断して、傾きを補正します。

「自動傾き補正」によって傾きが正しく補正されない場合には、「手動傾き補正」を行います。

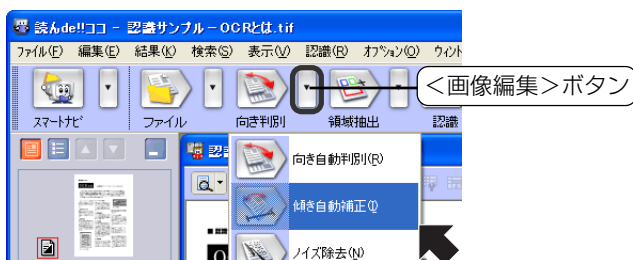
ここでは、見開きのない画像の傾き補正方法について説明します。

見開き画像の傾き補正の方法については、第2部 応用編マニュアルのP.20「1.2 色々な画像補正の方法－見開き画像の傾きを補正するには」をご覧ください。

●画像の自動傾き補正

- 1 基本操作ツールバーの<画像編集>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[傾き自動補正(I)]を選択します。

MENU : [表示(V)] – [傾き補正(K)] – [自動補正]



画面3-9: [傾き自動補正(I)]を選ぶ

『読んde!!ココ』が自動で画像データの傾きを判断して正しい傾きになるように補正します。

●画像の手動傾き補正

- 1 画像ツールバーの<傾き角度指定...>ボタンをクリックします。

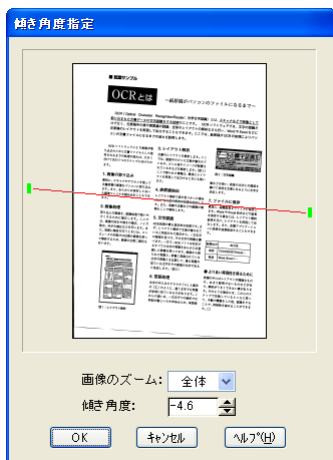
MENU : [表示(V)] – [傾き補正(K)] – [傾き角度指定...]



画面3-10: <傾き角度指定>ボタンを選ぶ

[傾き角度指定] ダイアログが表示されます。

- 2** 傾き角度の上下ボタンで、画像本来の水平線と、赤い水平線が平行になるように調整します。



画面3-11: [傾き角度指定] ダイアログ



ポイント

- [傾き角度] は、赤い水平線を右上がりに傾ける場合はプラス(+)の値に、右下がりに傾ける場合はマイナス(-)の値に設定します。
- 赤い水平線の両端(緑の部分)をドラッグしても傾き角度の指定ができます。
- [画像のズーム] で表示サイズの変更ができます。

- 3** <OK> ボタンをクリックします。



ポイント

傾き補正を行った場合に、1回のみ傾き補正を前の状態に戻すことができます([MENU]: [編集(E)] - [傾き補正を元に戻す(U)])。ただし、傾き補正後に画像データの編集、回転、再度の傾き補正など別の操作を行ってしまうと、補正の取り消しはできなくなります。

画像の編集をするには

取り込んだ画面に汚れ・網掛けがある場合は除去したり、白抜き文字を反転させたり、直線や四角形を描画するなど「画像の編集」を行います。

「画像の編集」は、「画像編集モード」で行います。画像編集モードでは、画像編集に関連した操作以外はできません。他の操作をしたい場合は、「画像編集モード」を終了させます。

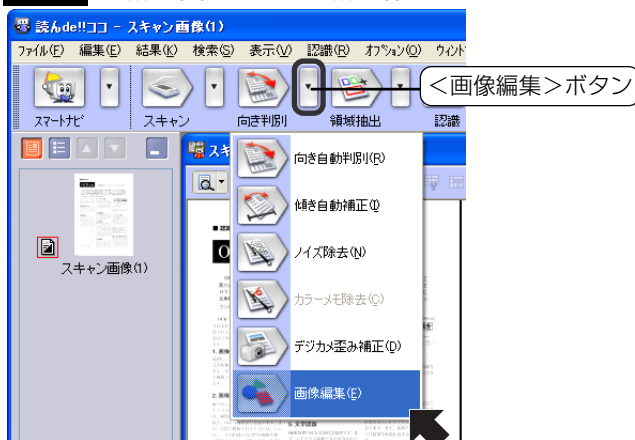
⚠ 注意

カラーで取り込んだ原稿は、画像編集モードにすると白黒に変換されます。

●画像編集モードの起動

- 1 基本操作ツールバーの＜画像編集＞ボタンをクリックし、表示されるメニューより[画像編集(E)]を選択します。

MENU : [編集(E)] – [画像の編集(I)]

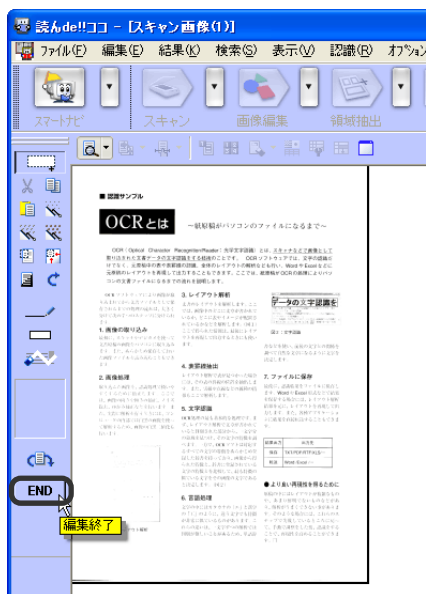


画面3-12: <画像編集>ボタンを選ぶ


画像編集モードになります。画面の左側には画像編集ツールボックスが表示されます。

●画像編集モードの終了

1 <END>ボタンをクリックします。



画面3-13:画像編集ツールボックス


 **参照** 画像ファイルの編集の詳細については、P.83「4.3 取り込み画像を編集する」をご覧ください。

3

読ん de !! ココを使ってみよう

3.4 認識領域を指定する

画像データの認識させたい領域(認識領域)を指定します。認識領域の指定は、自動で指定する方法と、手作業で1つずつ指定する方法があります。プレゼンの配布資料をPowerPointに転送する場合、レイアウトを指定するスライド分割指定ができます。

 **参照** 画像読み込み後、自動的に認識領域を抽出するための設定については、第2部 応用編マニュアルのP.126「5.10 操作アシスト機能について」をご覧ください。

自動で認識枠を指定するには(自動領域抽出機能)

- 1 基本操作ツールバーの<領域抽出>ボタンをクリックします。

MENU : [認識(R)] - [自動領域抽出(A)]



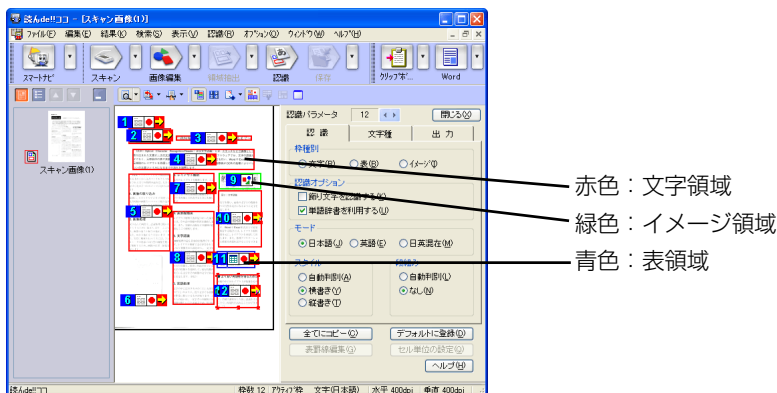
画面3-14: <領域抽出>ボタンを選ぶ

注意

認識枠がすでに設定されている場合、<領域抽出>ボタンをクリックすることはできません。このようなときは認識枠をすべて消去してください。

 **参照** P.96「4.4 認識領域の設定-領域を手動で設定する」

認識領域が自動で抽出され、領域の種別に応じて赤色／青色／緑色の枠で囲まれます。

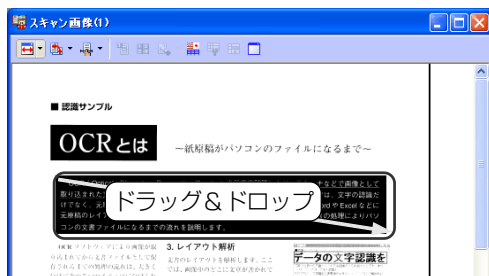


画面3-15: 認識領域抽出後

手動で認識枠を指定するには

自動で設定された枠が正しくない場合には、正しくない枠を消去して、手動で枠を指定します。

- 1 画像ウィンドウ上で認識させたい領域の左上の角にマウスポインタを置き、マウスの左ボタンを押しながら右下方向へ向かってドラッグします。



画面3-16: 手動で認識枠を設定する

画像ウィンドウに認識枠を表す四角が表示されます。

注意

認識枠は最大99個まで設定できます。

ポイント

- 一度設定した枠は、サイズ変更や、削除ができます。
- 認識枠として設定されていない部分は認識されません。
- 指定した認識領域を枠情報として保存しておき、同じレイアウトの原稿を認識する際に再び読み込んで利用することができます。
- 認識領域の枠には、認識処理を行う順番が設定されています。画像データ上でマウスの右ボタンをしばらく押し続けると、枠の順番が表示されます。認識枠の認識順を変更することもできます。

参照

P.94「4.4 認識領域の設定」

スライド枠を指定するには (PowerPointのみ)

プレゼンの配布資料などを認識する場合、PowerPointのスライドのレイアウトを指定します。

注意

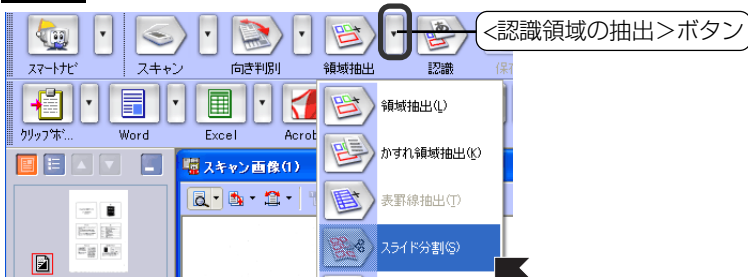
すでに認識領域やスライド枠が設定されている場合は、スライド分割ができません。設定されている認識枠、およびスライド枠を消去してから実行してください。



参照 P.96「4.4 認識領域の設定－領域を手動で設定する」

- 基本操作ツールバーの＜認識領域の抽出＞ボタンをクリックし、表示されるメニューから[スライド分割(S)]を選択します。

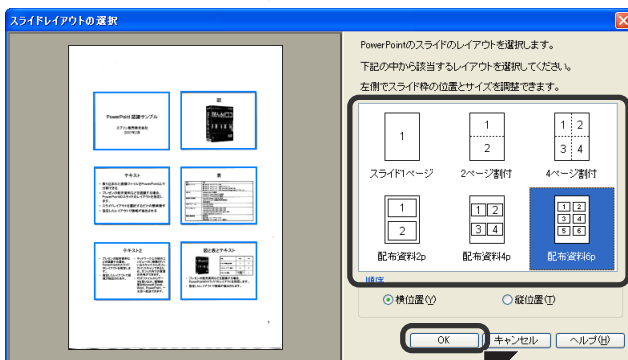
MENU: [認識(R)]－[スライド分割(S)...]



画面3-17: ＜スライド分割＞ボタンを選ぶ

[スライドレイアウトの選択] ダイアログが表示されます。

- スライドレイアウトを選択して、＜OK＞ボタンをクリックします。



画面3-18: [スライドレイアウトの選択] ダイアログ

取り込まれた画像ファイルをPowerPoint上でどのように分割するか、そのレイアウトを選択します。

＜OK＞ボタンをクリックすると、指定したレイアウトで領域が抽出されます。

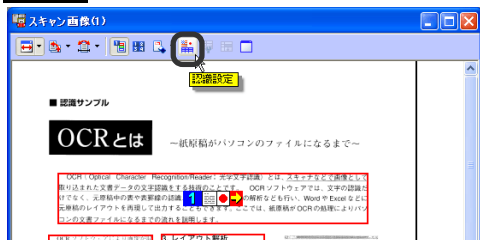
3.5 認識パラメータを設定する

認識領域に対して枠の種類や文書のスタイルなどの認識パラメータを設定します。自動領域抽出機能を使って認識領域を指定した場合には、通常、認識枠ごとに最適な認識パラメータが設定され、画像ウィンドウの横に表示されます。

- 1 設定を変更したい認識枠をアクティブ(枠内でクリック)にし、＜認識設定＞ボタンをクリックします。

または、認識枠内でマウスをダブルクリックします。

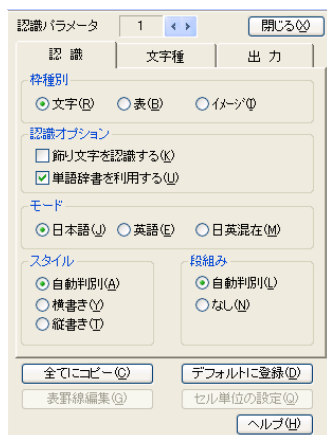
MENU : [認識(R)] - [パラメータの設定(P)...]




画面3-19:＜認識設定＞ボタンを選ぶ

画像ウィンドウの右側に[認識パラメータ]が表示されます。

- 2 必要に応じて認識パラメータを設定します。



画面3-20: [認識パラメータ]

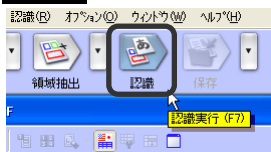
 **参照** 認識パラメータの設定の詳細については、P.101「4.5 認識の設定－認識パラメータを設定する」をご覧ください。

3.6 認識処理を実行する

認識パラメータの設定が終了したら、認識処理を実行します。複数の認識枠を指定している場合には、認識枠の順番に従って認識処理が行われます。

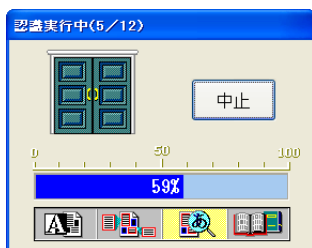
1 基本操作ツールバーの<認識>ボタンをクリックします。

MENU : [認識(R)] - [認識実行(R)]



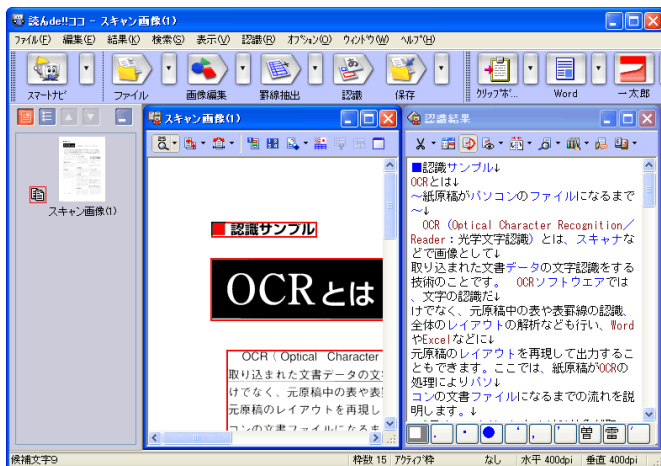
画面3-21: <認識実行>ボタンを選ぶ

認識処理の進行状況を示す、[認識実行中] ダイアログが表示されます。



画面3-22: 認識実行中の進捗状況を示すウィンドウ

認識処理が終了すると、認識結果が画像データとともに表示されます。




画面3-23: 認識処理終了後のウィンドウ

認識結果ウィンドウでは、改行、タブは、次の記号で表示されています。

改行位置	↓
タブ位置	→

認識結果ウィンドウ内の文字は、文字種によって色分けされて表示されます。

- ・ アルファベット : 茶色
- ・ 数字 : 緑色
- ・ 記号 : 青色
- ・ カタカナ : 青色
- ・ その他 : 黒色
- ・ 改行マーク : 黒色

 **参照** 第2部 応用編マニュアルのP.60「3.1 認識結果ウィンドウについて－文字の表示色を変更するには」



ポイント

原稿に付されている下線が悪影響を及ぼしている場合に下線の影響を除去することができます。詳細については第2部 応用編マニュアルのP.132「6.1 環境設定－認識ページ」をご覧ください。

3.7 認識結果を編集する

認識結果ウィンドウに表示されたテキストデータは編集できます。『読んde!! ココ』には様々な編集機能がありますが、ここでは、誤って認識された可能性のある文字を検出し、正しい文字に修正する方法を紹介します。

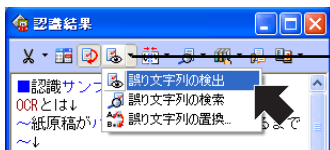


ポイント

誤り文字列の検出を自動処理にできます。詳しくは、第2部 応用マニュアルのP.126「5.10 操作アシスト機能について」をご覧ください。

- 1 認識結果ウィンドウをアクティブ(枠内でクリック)にし、結果ツールバーの<誤り文字列の検出>ボタンをクリックします。

MENU : [検索(S)] – [誤り文字列の検出(D)]



誤り文字列関連のボタンの横にある▼をクリックすると、メニューが開きます。

画面3-24: <誤り文字列の検出>ボタンを選ぶ

誤りの可能性のある文字が検出され、文字の背景色が変わります。

- 2 <誤り文字列の検索>ボタンをクリックします。

MENU : [検索(S)] – [誤り文字列の検索(F)]



画面3-25: <誤り文字列の検索>ボタンを選ぶ

誤り文字にカーソルが移動し、認識結果ウィンドウの下方に候補文字が表示されます。

結果ウィンドウ内の文字をクリックすると、カーソル位置の文字に対応する画像データの該当部分が連動して表示されます。

3.8 認識結果を保存・転送する

認識結果の出力には、ファイルに保存する方法と、他のアプリケーションへ転送する方法の2種類があります。

認識結果を保存するには

認識結果をファイル形式を指定して保存します。また、既存のファイルに認識結果を追加して保存することもできます。

●保存できるファイルの形式

保存できるファイルの形式は次のとおりです。

- テキストファイル (*.txt) : テキストファイル
- ライトファイル (*.wri) : Windowsのライトファイル
- Microsoft Word形式ファイル (*.rtf) : [レイアウト] 優先のrtfファイル
: [段組み] 優先のrtfファイル
: [ユーザ指定] 優先のrtfファイル
- 一太郎形式ファイル (*.jtd) : [レイアウト] 優先の一太郎ファイル
: [段組み] 優先の一太郎ファイル
: [ユーザ指定] 優先の一太郎ファイル
- HTMLファイル (*.htm) : HTML形式ファイル
: HTMLのスタイルシート出力形式ファイル
- PDFファイル (*.pdf) : 標準PDF形式ファイル
: 画像+透明テキストPDF形式ファイル
- CSVファイル (*.csv) : カンマ区切り形式ファイル
- SYLKファイル (*.slk) : SYLK形式ファイル
- Microsoft Excel形式ファイル (*.xls) : Microsoft Excelファイル
- Microsoft PowerPoint形式ファイル (*.ppt) : 認識結果のpptファイル
: 画像のpptファイル



ポイント

- CSV(表領域)形式は、認識パラメータで表を指定して認識させたときのみ指定でき、認識結果中の表部分のみ保存されます。ただし、罫線情報は保存されません。
- CSV(指定領域)形式は、認識枠ごとにカンマで区切り、1原稿分のデータを1行にして出力します。表部分については、表のセル単位にカンマ区切りで出力します。

- 1** 基本操作ツールバーの<保存／転送／画像保存>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[認識結果の保存(S)]を選択します。

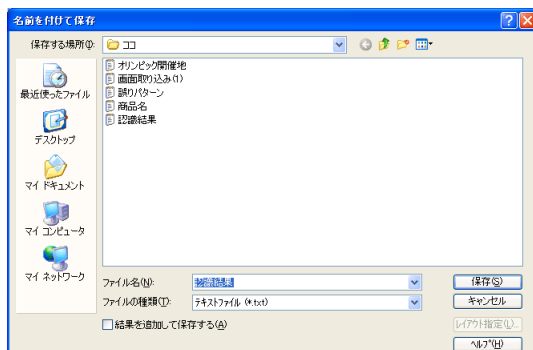
MENU : [ファイル(F)]－[認識結果を保存(A)...]



画面3-27: <認識結果の保存>ボタンを選ぶ

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

- 2** [ファイルの種類(T)]で保存ファイル形式を選択し、[ファイル名(N)]に保存ファイル名を入力します。



画面3-28: [名前を付けて保存] ダイアログ


!! 注意

- ・ 一太郎形式ファイル／HTMLのスタイルシート出力形式(CSS)ファイル／PDFファイル／Microsoft Excel形式ファイルのいずれかを指定している場合には、既存のファイルに結果を追加して保存することはできません。
- ・ ppt形式のファイルに保存するためには、PowerPointがインストールされている必要があります。

- ・ 必要に応じて、[保存する場所(I)]で結果ファイルを保存するフォルダを指定します。
- ・ 既存のファイルに認識結果を追加して保存する場合は、[結果を追加して保存する(A)]をチェックして、既存のファイルを選びます。

3 <保存(S)>ボタンをクリックします。

画像ウィンドウでイメージ枠が設定されている場合には、Microsoft Word形式／一太郎形式／HTML形式／PDF形式ではイメージ枠内の画像データも合わせて保存されます。保存時に選択するファイル形式によって、保存されるデータの内容が異なります。

 **参照** 結果保存時に、画像データの解像度を変換することができます。詳細については、第2部 応用編マニュアルのP.138「6.1 環境設定－出力ページ」をご覧ください。

認識結果の保存には、レイアウトを指定して保存したり中間形式という画像と認識結果を対にして保存する方法もあります。詳細については、第2部 応用編マニュアルのP.77「4.1 レイアウトを指定して保存」、P.80「4.2 中間形式による保存」をご覧ください。

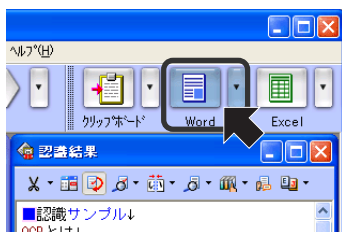
認識結果を転送するには

転送するには4つの方法があります。

- ①基本操作ツールバーを使って認識結果を転送する
- ②アプリケーションバーを使って認識結果を転送する
- ③メニューコマンドで認識結果を転送する
- ④ドラッグ & ドロップによって認識結果を部分的に転送する

ここではアプリケーションバーを使ってWordへ転送する方法について説明します。その他の方法については、第2部 応用編マニュアルのP.85「4.5 認識結果の転送」をご覧ください。

1 アプリケーションバーの<Word>ボタンをクリックします。

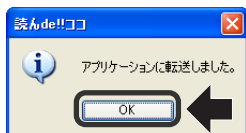


画面3-29: <Word>ボタンを選ぶ

Microsoft Wordが自動的に起動して認識結果が転送されます。

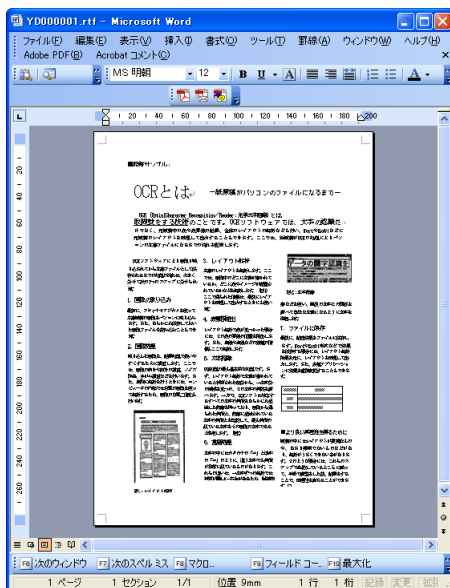
転送が終了すると、メッセージが表示されます。

2 <OK>ボタンをクリックします。




画面3-30: 転送終了メッセージ

『読ん de !! ココ』の認識結果ウィンドウでは、結果はテキスト形式で表示されますが、アプリケーションへ転送する際の形式によってはレイアウトが画像データと同じように再現されます。



画面3-31: Microsoft Wordへ転送(レイアウト形式)

 **参照** アプリケーションへ転送する際のファイル形式の設定については、第2部 応用編マニュアルのP.90「4.5 認識結果の転送—転送先の設定を変更するには」をご覧ください。

3.9 『読ん de !! ココ』を終了する

『読ん de !! ココ』を終了します。

- 1 『読ん de !! ココ』ウィンドウの右上にある<閉じる>ボタンをクリックします。

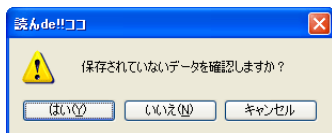
MENU : [ファイル(F)] – [読ん de !! ココの終了(X)]



画面3-32: <閉じる>ボタンを選ぶ

認識処理の結果作成されたデータを保存しないで終了しようとする、確認のためのメッセージが表示されます。

- 2 保存されていないデータを確認する場合には<はい>を、確認も保存もしない場合には<いいえ>をクリックします。



画面3-33: 保存されていないデータの確認メッセージ

<はい>を選択すると、画像ファイル、認識結果ファイルそれぞれに保存の確認メッセージが表示され、保存できます。保存後、『読ん de !! ココ』が終了します。
<いいえ>を選択すると、保存されていないデータはすべて削除され、『読ん de !! ココ』が終了します。



ポイント

認識枠の設定中や認識結果の編集集中など、作業の途中で『読ん de !! ココ』を終了し、次回の起動時に作業中だった状態を復元させることもできます。



参照

第2部 応用編マニュアル P.140「6.1 環境設定—その他ページ」



日本語／英語活字 OCR

読ん de!! ココ

実用編

第4章 認識率を高めるために

第5章 認識処理の自動化

第6章 アプリケーションから

読ん de!! ココを使う（アドイン機能）

第7章 他のアプリケーションとの連携

第8章 アンインストール

4

認識率を高めるために

『読んde!!ココ』の認識率を高めるための方法を説明します。認識した結果があまりよくない場合、認識結果のどんなところが間違ってしまうのかを確認し、その症状に合わせて対処することにより認識率が改善されます。
認識率を改善させるポイントは、以下のようになります。

(1) OCRに適した画像で取り込み認識率を上げる



全体的に認識結果が悪く、それぞれの文字が認識できていない場合

(2) 画像を編集して認識率を上げる



画像の向き、傾きが違う
網掛けや下線、白抜きなどの文字装飾が多い場合

(3) 認識の設定をして認識率を上げる



レイアウトが崩れる、認識される順番が違う場合

(4) 表罫線やセル内の設定を補正して認識率を上げる



表原稿の認識がうまくいかない場合

(5) 辞書を使って認識率を上げる



特定の文字の認識に誤りがある、単語にならないなど

4.1 OCRに適さない原稿

OCRソフトウェアでは、取り込む原稿によって認識率が異なります。基本的には、印字品質の高い原稿を高い解像度で取り込めば、認識率も高くなります。しかし、いくら美しい原稿でもフォントの種類やサイズによっては認識に適さないことがあります。

以下にあげる原稿の条件では、認識率が下がる可能性があります。

- 印字品質に問題がある

文字が極端にかすれていたり、つぶれている原稿や、2次コピー以降の原稿、またFAXで受信した原稿などは、認識率が下がります。

- 1文字ずつが判別しにくい

文字間や行間がつまりすぎている、文字に罫線や下線がかかっているなどの場合は、1文字ずつが判別しにくいので、認識率が下がります。

- 倍角文字が使われている

2倍角／4倍角文字が使われている場合は、認識率が下がります。

- 認識に適さないフォントが使われている

認識可能な書体でも斜体がかかっている場合には、認識率が下がります。また草書体、行書体、毛筆体などは認識に適していません。

- 認識が困難な原稿である

罫線で囲まれた表の中にさらに表枠が含まれている原稿や、罫線がきわめて複雑に入り組んだ表などは、認識率が下がります。

罫線あるいは図のみで文字がほとんどない原稿で、罫線のみを取り込むという使用方法には適していません。

- 解像度が低い原稿

200dpi以下の画像は認識率が低くなります。

- 手書き文字

活字（ワープロなどで印刷した原稿）のみ認識可能です。

- 数式など

以下のような数式は認識できません。

$$\sqrt{\frac{x^2 + y^2}{z^2}}$$

- 網かけ・カラーの背景があるもの

正常に文字が切り出せなくなります。

4.2 原稿に対する注意点

原稿を取り込むときに注意を払う必要のある事柄について説明します。

取り込み時の注意点

文字の認識率はスキャナから取り込んだ画像によっても異なります。以下の4つの点に気をつけることで、認識率を高くすることができます。

- 原稿の傾きを少なくする

スキャン画像の文字に傾きがあると、文字の認識率は低下します。フラットベッドスキャナの原稿台の四隅や上下左右の隅を利用して、原稿の傾きができるだけ少なくなるようにして、画像を取り込んでください。

- 解像度は400dpi推奨

基本的には、水平・垂直ともに400dpiという高い解像度の画像ファイルを読み込めば認識率が高くなります。

- 文字の「つぶれ」・「かすれ」を少なくする

スキャン画像の文字が、元原稿の文字に比べて、つぶれていたり、かすれているものは、取り込み時の濃度が適正でない可能性があります。

濃度を調整しながら、何度かスキャンし、「つぶれ」や「かすれ」ができるだけ少ない画像を認識するようにしてください。



注意

元原稿の文字に「つぶれ」がある場合には、濃度を調整しても認識率の改善は期待できません。



ポイント

元原稿の文字が「かすれている」場合には、濃度を高めに設定して取り込むことで、認識率が改善される場合があります。

- 文字が8ポイント未満のときは少し解像度を上げて取り込む

元原稿の文字が小さい場合は解像度を600dpi等、解像度を上げてスキャンすることで、認識率が改善される場合があります。

FAXデータの注意点

FAXソフトウェアで受信した次のようなデータを『読んde!!ココ』で読み込んで利用すると、認識率が低下します。あらかじめご了承ください。

• ノーマルモードで送信されたデータ

ノーマルモード(100×200dpi)で送信されたデータは解像度が低いので、『読んde!!ココ』で処理を行っても、認識率が低くなります。

• 8ポイント未満のデータ

ファインモードであっても、文字の大きさが8ポイント未満の場合、『読んde!!ココ』での認識率が低くなります。



ポイント

FAXデータの認識で、認識率を向上させるポイントは以下のとおりです。

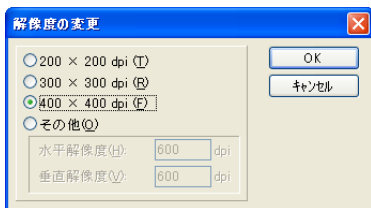
- ファインモード(200×200dpi)以上の解像度でデータを送ってもらう
- 10ポイント以上のデータを送ってもらう

EasyFaxファイルの読み込みについて、EasyFaxの受信ファイルは、送信者側の設定によって水平・垂直の解像度が異なることがあります。『読んde!!ココ』では認識率を向上させるため、このように水平・垂直の解像度が異なる受信ファイルについては、画像ウィンドウに読み込む際に縦横の解像度を同一にしています。

解像度を変更するには

『読んde!!ココ』が解像度として指定できるのは50～2400dpiの範囲の値です。ステータスバーに表示される解像度の値や、画像ウィンドウの画像データの表示のされ方から解像度の値が不適当と思われる場合は、解像度を正しい値に変更します。

- 1** [認識(R)]－[解像度の変更(C)...]を選択します。
[解像度の変更] ダイアログが表示されます。
- 2** 解像度を指定し、<OK>ボタンをクリックします。



画面4-1: [解像度の変更] ダイアログ

[水平解像度 (H):]、[垂直解像度 (V):]には、現在の解像度の値が表示されています。

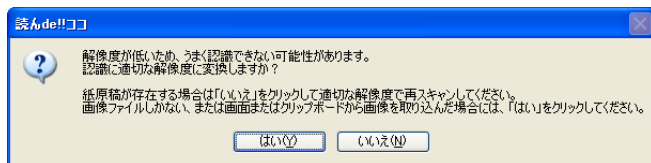
[200×200dpi (T)]、[300×300dpi (R)]、[400×400dpi (F)]から、変更する解像度を選択します。それ以外の値を指定するには、[その他 (O)]を選択し、[水平解像度 (H):] および [垂直解像度 (V):] に50～2400dpiの範囲で任意の値を入力します。



ポイント

画像データを読み込んだ場合やクリップボードからの取り込み時、画面取り込み時に、画像データの解像度が50～2400dpiの範囲外の場合、上記の[解像度の変更]ダイアログが自動で表示されます。適当な解像度を指定します。

また、読んde!! ココが認識可能な範囲内の解像度であっても200dpi以下の画像データを読み込むと、次のメッセージが表示されます。



画面4-2: 解像度変更のメッセージ

[はい]を選択すると、400dpi相当の解像度に変換されます。

これらの機能は、[環境設定－表示] ページであらかじめ動作を決めておくことができます。詳細は、第2部 応用編マニュアルのP.130「6.1 環境設定－表示ページ」をご覧ください。



注意

解像度の変更によって必ずしも認識率が向上するわけではありません。逆に認識率が低下する可能性もあります。解像度変更後の認識率が悪い場合は、解像度を変更する前の画像ファイルを読み直し、解像度を変更せずに認識してみてください。

4.3 取り込み画像を編集する

『読んde!!ココ』に取り込まれた画像によっては、そのまま認識できないものもあります。次のような条件の場合には、画像編集が必要になります。

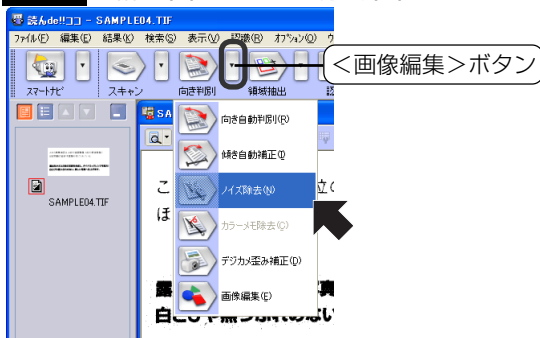
- 画像データに汚れがある
- 赤ペンなどで書き込みがある
- デジタルカメラから取り込んだ画像が歪んでいる
- 画像データが傾いている
- 画像データの向きが正しくない
- 網掛け・白抜き文字が使われている
- 枠囲みなどの装飾がされている
- 認識させたい情報以外のデータが含まれる

汚れを除去するには（ノイズ除去）

文字を残して画像の小さな汚れだけを除去するにはノイズ除去機能を使います。

- 1 基本操作ツールバーの＜画像編集＞ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ノイズ除去(N)]を選択します。

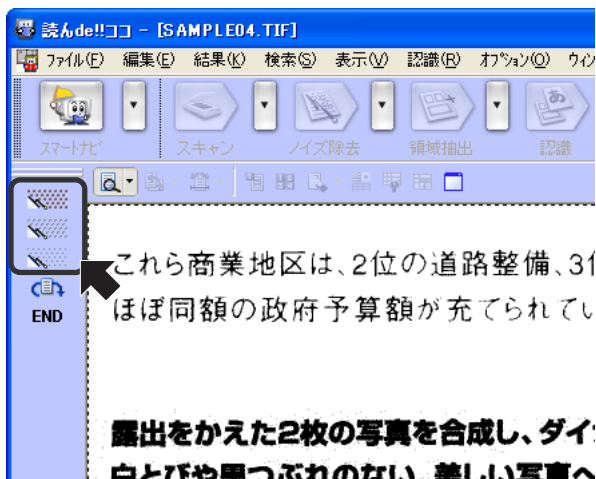
MENU : [編集(E)]－[ノイズ除去(N)]



画面4-3: ＜ノイズ除去＞ボタンを選ぶ

ノイズ除去モードになります。

- 2 汚れの程度に合わせて<ノイズ除去(強)>/<ノイズ除去(中)>/<ノイズ除去(弱)>ボタンをクリックします。



画面4-4: ノイズ除去モード

文字を除去することなく小さな汚れだけを除去することができます。



<ノイズ除去(強)> 比較的大きい汚れまで除去します。



<ノイズ除去(中)> 中くらいの汚れも除去します。



<ノイズ除去(弱)> 比較的小さい汚れだけを除去します。

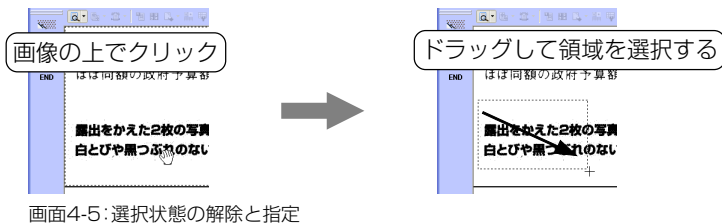
注意

ノイズ除去作業を繰り返し行くと、文字がかすれたり、一部欠落したりすることがあります。



ポイント

ノイズ除去モード表示時の初期状態では、画像全体が選択されています。除去領域を部分的に選択したいときは、下図のように画像上にマウスポインタを置くと、手のマークになります。この状態でクリックすると画像全体の選択状態が解除されます。その後、選択したい領域をマウスでドラッグして指定してください。



画面4-5: 選択状態の解除と指定

＜全アンドゥ＞ボタンをクリックすると、実施したノイズ除去操作を元に戻します。

- E** ＜END＞ボタンをクリックします。
ノイズ除去操作が確定されます。

手書きの書き込みを除去するには(カラーメモ除去)

カラーメモ除去機能を使うと、赤ペンで修正指示をしてある原稿などのように、黒または灰色以外の色で書き込みがある原稿から、色付きのメモ書きを取り除くことにより、領域抽出精度を高めることができます。取り込み後の操作から説明します。

注意

カラーメモ除去機能は、カラー画像が対象となります。カラーの画像ファイルを読み込むか、原稿をスキャンするときに「カラー」を指定して取り込んでおいてください。

- 1 基本操作ツールバーの<画像編集>ボタンをクリックし、表示されるメニューから[カラーメモ除去(C)]を選択します。

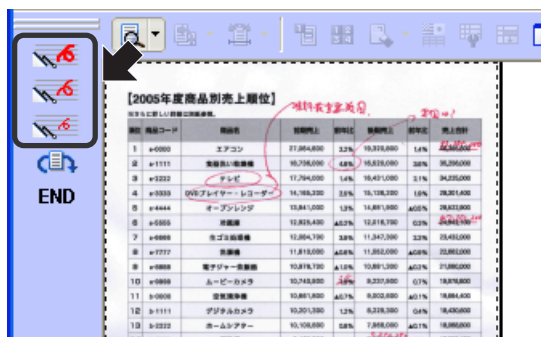
MENU : [編集(E)] - [カラーメモ除去(M)]



画面4-6: <カラーメモ除去>ボタンを選ぶ

カラーメモ除去モードに切り替わります。

- 2 カラーメモの種類に応じ、<カラーメモ除去(強)>/<カラーメモ除去(中)>/<カラーメモ除去(弱)>ボタンをクリックして修復作業を行います。



画面4-7: カラーメモ除去モード



<カラーメモ除去(強)>

黒に近い色(青など)が含まれる、あまり鮮やかでない色の書き込みまで除去します。



<カラーメモ除去(中)>

中くらいの鮮やかさの書き込みも除去します。



<カラーメモ除去(弱)>

鮮やかな色(赤など)の書き込みだけを除去します。

クリックしたボタンのレベルに応じて、カラーの書き込みが除去されます。

ポイント

カラーメモ除去モード表示時の初期状態では、画像全体が選択されています。除去領域を部分的に選択したいときは、下図のように画像上にマウスポインタを置くと、手のマークになります。この状態でクリックすると画像全体の選択状態が解除されます。その後、選択したい領域をマウスでドラッグして指定してください。

画像の上でクリック



ドラッグして領域を選択する

上順位]

品名	前期売上	前年比
エアコン	27,064,800	2.2%
乾燥機	18,736,000	4.8%

画面4-8: 選択状態の解除と指定

[2005年度商品別売上順位]

順位	商品コード	商品名	前期売上	前年比	後期売上	前年比	売上合計
1	e-0000	エアコン	27,064,800	2.2%	19,320,800	1.4%	46,385,600
2	e-1111	食器洗い乾燥機	18,736,000	4.8%	16,620,000	3.6%	35,356,000
3	e-2222	テレビ	17,794,000	1.4%	16,431,000	2.1%	34,225,000
4	e-3333	DVDプレイヤー・レコーダー	14,166,200	2.6%	15,136,200	1.9%	29,302,400
5	e-4444	オーブンレンジ	13,841,000	1.3%	14,681,800	Δ0.5%	28,522,800
6	e-5555	冷蔵庫	12,026,400	Δ0.2%	12,018,700	0.3%	24,045,100
7	e-6666	生ゴミ処理機	12,084,700	3.9%	11,347,300	2.3%	23,432,000
8	e-7777	洗濯機	11,610,000	Δ0.6%	11,062,000	Δ0.9%	22,672,000

<全アンドゥ>ボタンをクリックすると、実施したカラーメモ除去操作を元に戻します。

3 <END>ボタンをクリックします。

カラーの書き込み除去操作が確定されます。



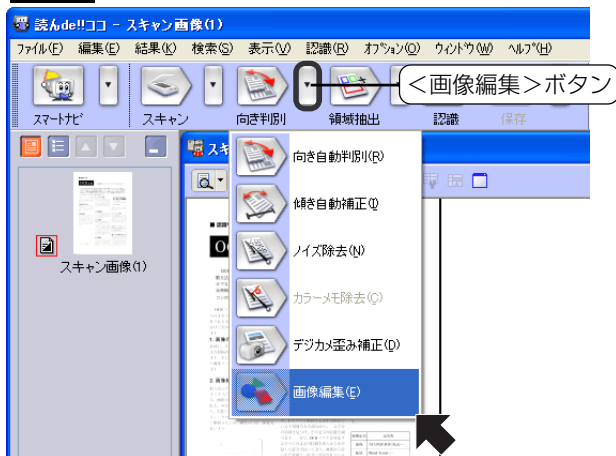
画面4-9: カラーの書き込み除去操作が確定

その後は、領域抽出や認識などの処理に進んでください。

手作業で画像編集するには

取り込んだ画像データを編集します。画像編集は、「画像編集モード」で行います。「画像編集モード」にするには、基本操作ツールバーの＜画像編集＞ボタンをクリックし、表示されるメニューから「画像編集(E)」を選択します。

MENU : [編集(E)] – [画像の編集(I)]



画面4-10:画像編集を選択する

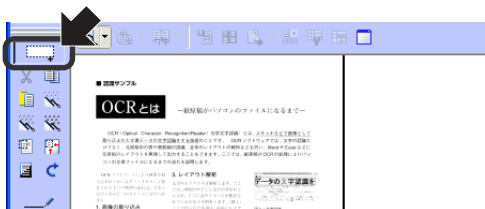
注意

グレースケール、カラーで取り込まれた画像を編集すると、それらの情報は破棄され白黒に変換されます。

●編集する範囲を指定するには

画像データのカットやコピーなどの編集操作は、画像データの一部を範囲指定してから行います。

1 <範囲指定>ボタンをクリックします。



画面4-11:画像編集 <範囲指定>ボタンを選ぶ

- 2 指定したい範囲の左上隅でマウスの左ボタンを押し、そのまま右下方向にマウスをドラッグし、範囲の右下隅にあたる箇所までマウスのボタンを離します。



画面4-12:画像編集 範囲指定

点線で囲まれた部分が範囲指定されています。範囲指定した状態で、カットやコピーまたは反転などの操作をしてください。

●画像データを移動するには

- 1 移動したい範囲を指定します。

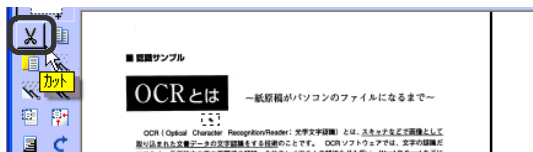


範囲指定した点線内にマウスカーソルを移動すると、マウスカーソルは左のように手の形状に変わります。

- 2 マウスをドラッグすることにより、範囲指定した部分の画像データを移動することができます。

●汚れを除去するには

- 1 汚れの部分を範囲選択します。
- 2 <カット>ボタンをクリックします。

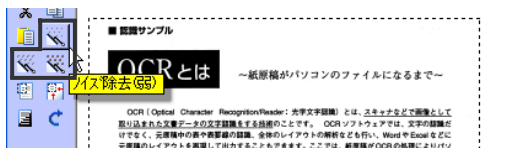


画面4-13:画像編集 <カット>ボタンを選ぶ

範囲指定された部分の画像データが除去され、クリップボードにコピーされます。<カット>ボタンの代わりに[Del]キーを押しても同様に除去されます。




◆文字を残して小さな汚れだけを除去するには

- 1 除去したい部分を範囲指定します。
- 2 汚れの程度に合わせたノイズ除去(<ノイズ除去(弱)>/<ノイズ除去(中)>/<ノイズ除去(強)>)ボタンをクリックします。



画面4-14:画像編集 <ノイズ除去>ボタンを選ぶ

範囲指定した部分の文字を除去することなく小さな汚れだけを除去することができます。

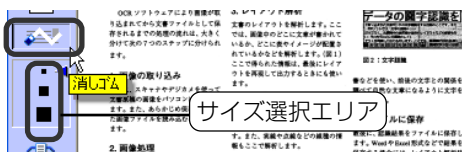
-  <ノイズ除去(弱)> 比較的小さい汚れだけを除去します。
-  <ノイズ除去(中)> 中くらいの汚れも除去します。
-  <ノイズ除去(強)> 比較的大きい汚れまで除去します。

! 注意

ノイズ除去作業を繰り返し行くと、文字がかすれたり、一部欠落したりすることがあります。

◆マウスポインタを消しゴム代わりにして汚れを除去するには

- 1 <消しゴム>ボタンをクリックします。



画面4-15:画像編集 <消しゴム>ボタンを選ぶ

マウスカーソルは四角い形状に変わります。

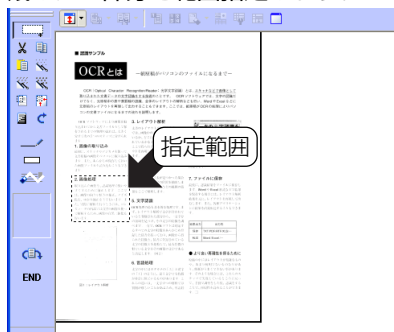
汚れの大きさに合わせてマウスポインタの大きさを変更できます。変更する場合は、<サイズ選択エリア>にある3種類のサイズから選択します。

- 2 汚れを消しゴムで消すように、マウスをドラッグします。
マウスポインタが通った部分の画像データを除去できます。

●範囲指定外のデータを除去するには(トリミング)

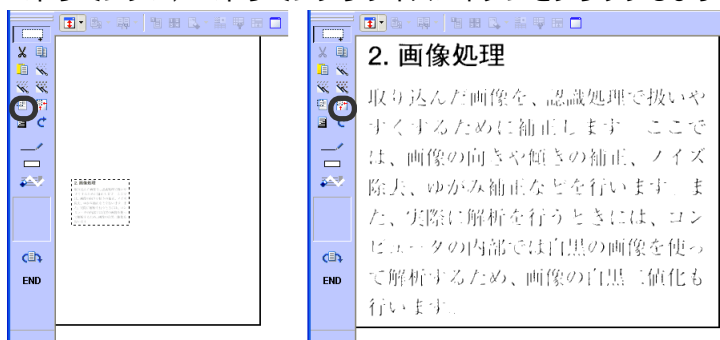
『読んde!!ココ』のトリミング機能には、「トリミング」と「トリミングリサイズ」の2種類があります。「トリミング」は画像データの指定された範囲以外を除去します。「トリミングリサイズ」は画像データの指定された範囲以外を除去し、画像データのサイズを残した範囲のみのサイズに変更します。

1 残したい部分を範囲指定します。



画面4-16:「トリミング」/「トリミングリサイズ」実行前

2 <トリミング>/<トリミングリサイズ>ボタンをクリックします。



画面4-17:「トリミング」実行後

「トリミングリサイズ」実行後

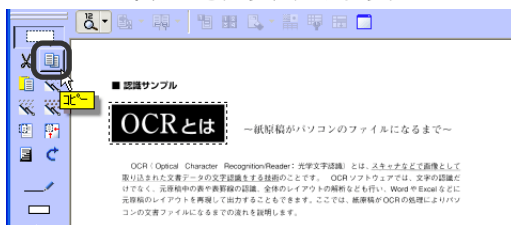
指定した範囲以外の画像データが除去されます。

！ 注意

「トリミングリサイズ」は、元の画像データを変更するため、[元に戻す]コマンドで編集前のサイズに戻すことはできません。

●画像データをコピーするには

- 1 コピーしたい範囲を指定します。
- 2 <コピー>ボタンをクリックします。

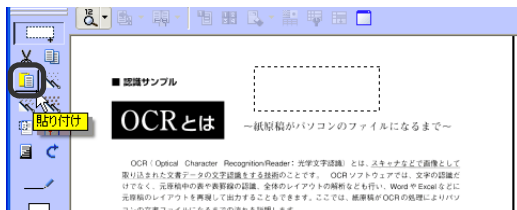


画面4-18:画像編集 <コピー>ボタンを選ぶ

画面の表示は変わりませんが、指定した範囲がクリップボードにコピーされます。

●コピーした画像データを貼り付けるには

- 1 画像データを貼り付ける範囲を指定します。
- 2 <貼り付け>ボタンをクリックします。

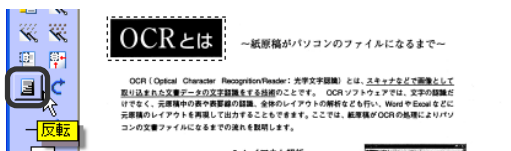


画面4-19:画像編集 <貼り付け>ボタンを選ぶ

クリップボードに入っている画像データが指定位置に貼り付けられます。

●白抜き文字を反転させるには

- 1 画像データを範囲指定します。
- 2 <反転>ボタンをクリックします。



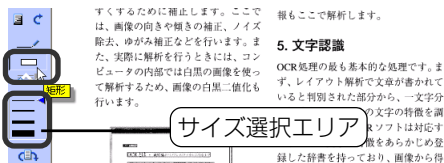
画面4-20:画像編集 <反転>ボタンを選ぶ

指定した範囲が白黒反転します。その後、必要に応じて周囲に残った汚れを除去してください。

●画像データ上の表罫線を修正するには

＜直線＞または＜矩形＞ボタンを使うと、直線や矩形を描画できます。この機能を用いて画像データ上に表罫線を描画することができます。

1 ＜直線＞または＜矩形＞ボタンをクリックします。



画面4-21:画像編集＜直線＞または＜矩形＞ボタンを選ぶ

＜サイズ選択エリア＞には線の太さが4種類表示されているので、必要に応じて太さを変えてください。

2 描画したい位置でマウスをドラッグして直線や矩形を描画します。

●編集した画像を元に戻すには

編集操作を元に戻します。

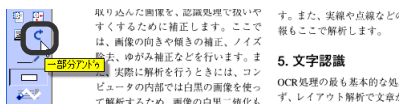


注意

「トリミングリサイズ」の操作は、取り消すことができません。

◆指定した範囲だけを元に戻すには

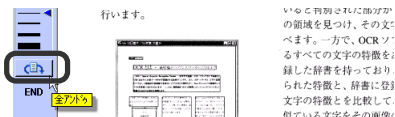
＜一部分アンドゥ＞ボタンをクリックします。



画面4-22:画像編集＜一部分アンドゥ＞ボタンを選ぶ

◆画像編集のすべての操作を取り消すには

＜全アンドゥ＞ボタンをクリックします。



画面4-23:画像編集＜全アンドゥ＞ボタンを選ぶ

4.4 認識領域の設定

『読んde!!ココ』で認識する場合、『読んde!!ココ』は、設定された認識枠の設定に従って、その順番どおりに認識を行います。したがって、認識枠の設定が誤っていたり、認識順序が違っているときは、思うような認識結果が得られません。認識枠は、画像取り込み後「認識領域抽出」すると設定されます。それぞれ「文字枠」「イメージ枠」「表枠」に区別されます。認識枠は設定してからも移動・サイズ変更・消去などが行えます。また、枠情報として保存したり、保存していた枠情報を読み込んで利用することができます。

領域を自動で設定する

読み込んだ画像の認識領域は、自動抽出させたり、手動で設定したりできます。

〔参照〕 「3.4 認識領域を指定する」(P.62)

ここでは低品質な原稿に対して領域抽出する際に、かすれを考慮しながら領域抽出を行うかすれ領域抽出機能について説明します。

- 1 基本操作ツールバーの＜認識領域の抽出＞ボタンをクリックし、表示されるメニューから[かすれ領域抽出(K)]を選択します。

MENU : [認識(R)] - [かすれ領域抽出(K)]

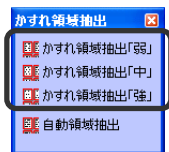


画面4-24: [かすれ領域抽出を選ぶ]

手順**1**は繰り返すごとに、[かすれ領域抽出]ツールボックスの表示／非表示が切り替わります。

[かすれ領域抽出]ツールボックスが表示されます。

- 2 原稿のかすれ具合に応じ、ツールボックスから<かすれ領域抽出「弱」>/<かすれ領域抽出「中」>/<かすれ領域抽出「強」>ボタンを選んでクリックします。

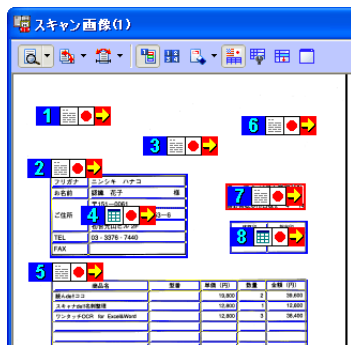


画面4-25: [かすれ領域抽出] ツールボックス

ポイント

- 読み込んだ画像のかすれ具合と、かすれ領域抽出のレベルにより、抽出される認識領域が変化します。一般的にレベルを強くする程より多くの領域が抽出されますが、結果は原稿の状態に左右されます。抽出された認識領域が期待通りでない場合には、他のレベルで抽出させたり、手動で認識領域を設定してみてください。なお、レベルを強くするほど領域の抽出に時間がかかります。
- このパネルから[自動領域抽出]を行うこともできます。これは、認識領域が設定されていない状態で基本操作ツールバーの<認識領域の抽出>ボタンをクリックし、表示されるメニューから[領域抽出(L)]を選択するのと同等の操作です。

認識領域が抽出されます。



画面4-26: かすれ領域抽出実行後

領域抽出後は、認識パラメータの設定や認識等通常の操作に進んでください。

[かすれ領域抽出] ツールボックスを閉じるには、パネル右上の<閉じる>ボタンをクリックするか、もう一度基本操作ツールバーの<認識領域の抽出>ボタンをクリックし、表示されるメニューから[かすれ領域抽出(K)]を選択します。

領域を手動で設定する

認識枠に関連する操作を説明します。

●認識枠をアクティブにするには

認識枠の編集は、編集対象の認識枠をアクティブの状態にしてから実行します。認識枠をアクティブにするには、枠内にマウスカーソルを移動してマウスの左ボタンをクリックします。アクティブ状態になった枠の周りには、■マーク（ハンドル）が表示されます。また、アクティブになった枠の種別はステータスバーに表示されます。



画面4-27: 認識枠の状態



ポイント

複数の認識枠をアクティブにするには、**[Ctrl]**キーを押しながらクリックしていきます。また、**[Ctrl]**キーを押しながら、画像範囲をドラッグすると、指定範囲内に入った認識枠がアクティブになります。

●枠を移動するには

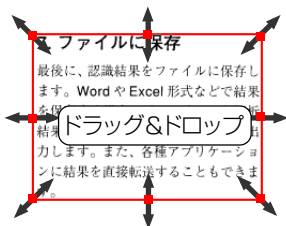
マウスカursorをアクティブな枠の内部に置いてドラッグ&ドロップすると、枠が移動します。



画面4-28:認識枠の状態

●認識枠のサイズを変更するには

枠内のハンドルにマウスカursorをあわせてドラッグすることによって、枠の高さ、幅、全体の大きさを変更することができます。



画面4-29:認識枠のサイズ変更

●認識枠の消去

認識枠を消去します。複数の枠を選択して削除したり、すべての認識枠を一括で削除できます。

1 消去したい枠をアクティブにします。

複数の認識枠を選択するには、**[Ctrl]**キーを押しながら認識枠をクリックします。

2 画像ツールバーの枠の消去関連ボタン右側の▼ボタンをクリックし、表示されるメニューから[枠の消去]／[全ての枠の消去]を選択します。

MENU : [編集(E)] - [枠の消去(D)] / [全ての枠の消去(E)]



画面4-30: <枠の消去> / <全ての枠の消去> ボタンを選ぶ
認識枠が消去されます。

● 枠の認識順序を変更するには

認識枠には、認識処理時の処理順を示す番号が割り当てられています。

認識枠の順番どおりに認識が実行されるので、表示された番号と認識させたい順番が異なる場合は、認識順序を変更します。

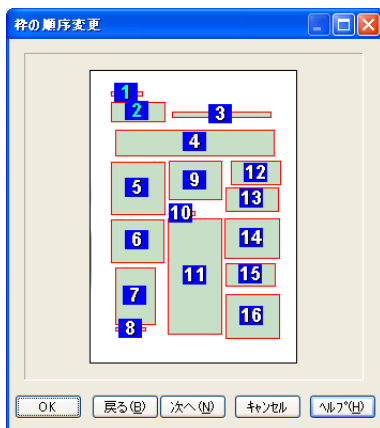
- 1 画像ツールバーの<枠の順序変更>ボタンをクリックします。

MENU : [編集(E)] – [枠の順序変更(O)...]を選択します。



画面4-31 : <枠の順序変更>ボタンを選ぶ

- 2 最初に処理したい枠の内側にマウスカーソルを合わせてクリックします。



画面4-32 : [枠の順序変更] ダイアログ

指示した枠の番号は水色に変わります。水色の番号はマウスの左ボタンのクリック操作によって番号が確定した枠であることを示しています。

- 3 2番目、3番目…と、処理したい順番に枠をクリックします。

- まだ確定されていない番号が白色で表示されている枠は、<次へ(N)>ボタンを選ぶと番号順に確定されていきます。
- 枠の内側にマウスカーソルを移動して、**[Ctrl]** キーを押しながらクリックすると、その枠の番号までが確定されます。
- 操作をやり直すときは<戻る(B)>ボタンをクリックします。
- 途中で変更する必要がなくなったときは、その時点で<OK>ボタンをクリックすると残りの枠すべての番号が確定します。

●スライド枠の消去

スライド枠を消去します。

- 1 画像ウィンドウ上で右クリックし、表示されるメニューから[スライド枠の消去]を選択します。

MENU : [編集(E)] – [スライド枠の消去]



画面4-33:スライド枠の状態

スライド枠のみ消去されます。認識枠も消去する場合は、合わせて[全ての枠の消去]を実行してください。

認識領域(枠情報)を保存する

設定した認識領域(枠情報)の保存と読み込み方法について説明します。

●枠情報を保存するには

現在設定中のすべての認識枠と、枠に設定した認識パラメータの情報を保存することができます。同じレイアウトの画像データを複数処理する場合は、枠情報を保存しておくことで作業を効率的に行えます。

- 1 認識枠、認識パラメータを設定します。
- 2 基本操作ツールバーの<保存／転送／画像保存>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[枠情報の保存(W)]を選択します。

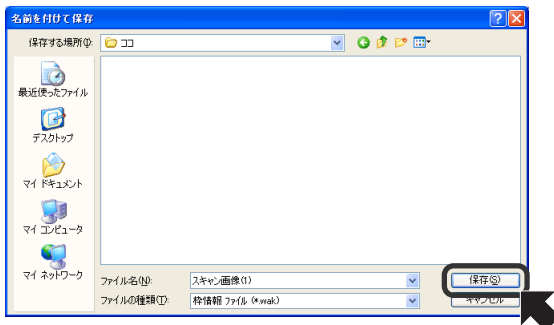
MENU : [ファイル(F)] – [枠情報を保存 (W)...]



画面4-34: <枠情報の保存>ボタンを選ぶ

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

- 3 枠情報ファイルの格納先、保存ファイル名を指定し、＜保存(S)＞ボタンをクリックします。



画面4-35: [名前を付けて保存] ダイアログ

枠情報ファイルが保存されます。以後、枠情報を読み込んで使用できます。



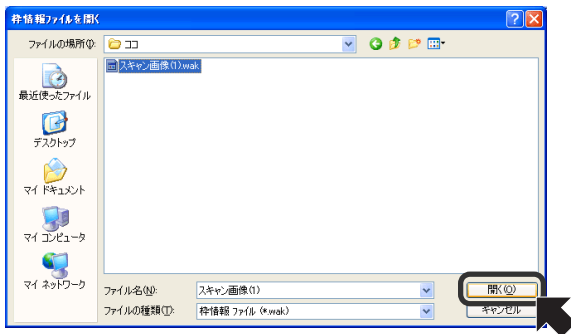
注意

一度保存した枠情報は編集することができません。

●枠情報を読み込むには

保存しておいた枠情報を読み込んで認識領域を設定することができます。枠情報には、それぞれの枠に設定した認識パラメータの情報も保存されています。

- 1 画像ウィンドウをアクティブにし、[ファイル(F)]－[枠情報を読み込む(F)...]を選択します。
[枠情報ファイルを開く] ダイアログが表示されます。
- 2 読み込みたい枠情報ファイルを選択し、＜開く(O)＞ボタンをクリックします。




画面4-36: [枠情報ファイルを開く] ダイアログ

画像ウィンドウに認識パラメータの情報を持った枠が表示されます。このとき、すでに設定されていた枠はすべて消去されます。

4.5 認識の設定

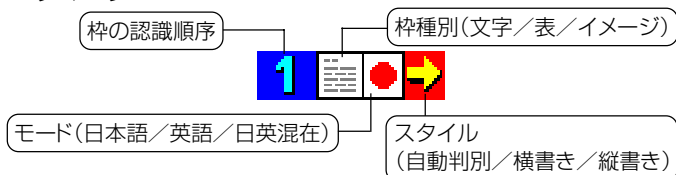
『読んde!!ココ』は、画像データに対して認識領域となる枠を指定し、その認識枠の設定に従って認識処理を行います。認識枠に最適なパラメータを設定することによって、認識率を向上させることができます。また、認識エンジンの設定により、認識率を向上させることができます。

 **参照** 認識枠を設定する方法は、P.62「3.4 認識領域を指定する」をご覧ください。

認識パラメータを設定する

認識枠上に表示されるマークで、認識パラメータの設定を確認することができます。認識パラメータマークは、＜枠番号を表示＞ボタンで表示のオンオフを切り替えられます。

パラメータマーク



また、領域抽出後の画面イメージの横には、[認識パラメータ]の設定が表示され、設定の詳細を確認できます。



画面4-37: [認識パラメータ]の設定

全てにコピー(C)

現在の[認識パラメータ]の設定をすべての認識枠に適用します。ただし、あとから追加した認識枠は初期設定値が設定されます。

デフォルトに登録(D)

現在設定している[認識パラメータ]の値を認識パラメータの初期設定値とします。改めて変更するまでその設定が有効となります。

表罫線編集(G)

表タイプの認識枠を選択している時に有効になります。表罫線を編集します。表罫線編集ウィンドウが表示されます。詳しくは、[P.108「4.6 表の認識率を上げるー手動で表罫線を設定する」](#)をご覧ください。

セル単位の設定(Q)

表タイプの認識枠を選択している時に有効になります。セルごとにパラメータを設定します。[表領域のセル単位の設定]ダイアログが表示されます。詳しくは、[P.112「4.6 表の認識率を上げるー表のセル単位にパラメータを設定する」](#)をご覧ください。

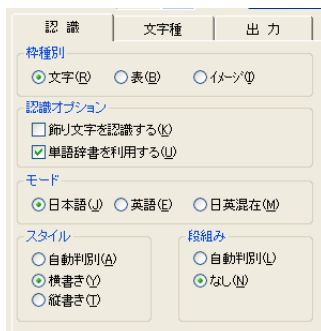


ポイント

認識枠上でマウスの右ボタンをクリックして、表示されるメニューからもパラメータを設定できます。

●認識処理に関するパラメータを設定するには

認識処理に関するパラメータは、認識枠内の原稿に合わせて設定すると認識率を向上させることができます。



画面4-38: [認識パラメータの設定] ツールバー [認識] ページ

枠種別

認識枠の種別を指定します。[イメージ(I)]を選択すると、認識処理はされません。

認識オプション

認識時の処理動作を指定します。[飾り文字を認識する(K)]にチェックをすると、網掛けや白抜き文字などの飾り文字を考慮して認識します。

[単語辞書を利用する(U)]にチェックをすると、文字認識後に単語辞書を使って単語処理を行います。

モード

認識枠内の文字の種類を設定します。

スタイル

[モード]を[日本語(J)]または[日英混在(M)]に指定した場合、文書のスタイルを指定できます。[自動判別(A)]は、横書きか縦書きかを自動で判別します。モードを[英語(E)]に設定した場合は、[横書き(Y)]と判断されます。

段組み

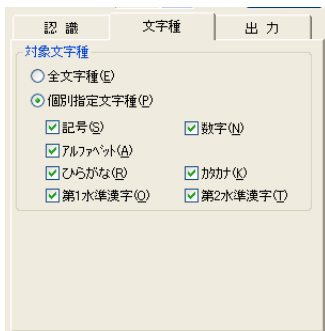
認識枠内に段組みがあるかどうかを指定します。[自動判別(L)]では、システムが自動的に段組みの有無を判別します。段組みにしたいときは、[なし(N)]にします。枠種別を[表(B)]に設定した場合は選択することはできません。

注意

- 飾り文字が使われていない文字枠に対して[飾り文字を認識する(K)]のチェックを付けると認識にかかる時間が長くなったり、正しく認識されないことがあります。
- 英語モードの場合は「自動判別」にて判別されるため、段組みを指定しても有効になりません。
- 文字領域の中にイメージ領域を設定した場合、イメージ領域内の文字は認識されません。

●認識の対象文字種を指定するには

文字の種類に関連するパラメータを設定します。認識する文字列を限定することで、認識率を高めます。



画面4-39: [認識パラメータの設定] ツールバー [文字種] ページ

対象文字種

認識時に使用する文字種を設定します。

[全文字種 (E)] を選択すると、すべての文字を認識対象とします。

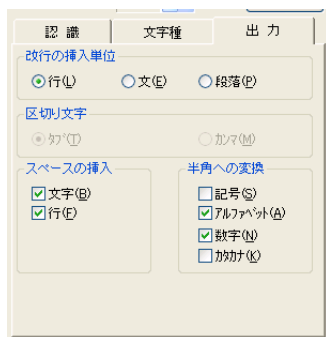
[個別指定文字種 (P)] を選択し、使用する文字種を指定すると、選択された文字種を認識対象とします。

なお、[数字 (N)] にはマイナス (-)、プラス (+)、カンマ (,)、ピリオド (.) が、[カタカナ (K)] には長音 (ー) がそれぞれ含まれます。

モードを [英語 (E)] に設定した場合は、個別指定できるのは [記号 (S)] [数字 (N)] [アルファベット (A)] のみです。

●認識結果の出力形式を指定するには

[認識パラメータの設定] ツールバーの [出力] タブで、認識結果の出力形式に関連するパラメータを設定します。



画面4-40: [認識パラメータの設定] ツールバー [出力] ページ

改行の挿入単位

改行を挿入する位置を指定します。[段落(P)]を指定した場合、文字列の塊をシステム内部で段落として処理しているため、実際の段落とは多少ずれが生じることがあります。

なお、枠種別を[表(B)]に設定した場合は指定することはできません。

区切り文字

枠種別が[表(B)]の場合に、領域内の各データ間の区切り文字を指定します。

スペースの挿入

文字間や行間にスペースを挿入するかどうかを指定します。チェックしない場合は、スペースは挿入されません。

半角への変換

認識結果の文字を半角文字に変換するかどうかを指定します。

半角に変換可能な文字は[記号(S)][アルファベット(A)][数字(N)][カタカナ(K)]の4種類です。モードを[英語(E)]に設定した場合はすべて半角、[日英混在(M)]に設定した場合には、[記号(S)][アルファベット(A)][数字(N)]が半角になります。



ポイント

記号を半角へ変換する場合、個別に指定した記号だけを半角に変換することもできます。



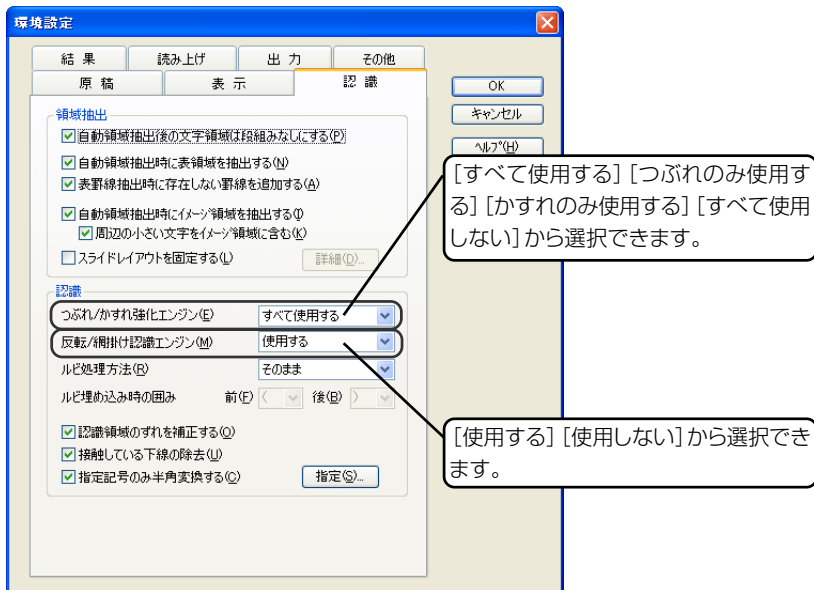
参考

第2部 応用編マニュアル P.132「6.1 環境設定－認識ページ」

認識エンジンを設定する

文字がつぶれていたり、かすれている原稿の認識率を向上させるために、「つぶれ／かすれ強化エンジン」を利用したり、白抜きや網掛けなどの文字装飾がある原稿の認識率を向上させる「反転／網掛け認識エンジン」が使用できます。

- 1 [オプション(O)]－[環境設定(E)...]コマンドを選択します。
- 2 [認識]タブをクリックします。
- 3 [つぶれ／かすれ強化エンジン(E)]を[すべて使用する]に指定する、または[反転／網掛け認識エンジン(M)]を[使用する]に指定します。



画面4-41: [環境設定－認識]タブ

- 4 <OK>ボタンをクリックします。



ポイント

認識エンジンは、認識する原稿の状態によって使用する／しないを切り替えられますが、通常の前稿に対しても「使用する」設定にしてもかまいません。

4.6 表の認識率を上げる

表を認識させる場合は、行や項目の区切りにしたい位置に表罫線の設定を行います。表罫線を設定することにより個々の項目が正しく認識され、項目間に罫線や[認識パラメータの設定-出力ページ]ダイアログで指定した区切り文字が挿入されます。

表罫線の設定には、表罫線抽出機能を使って一度に複数の表罫線を設定する方法と、手作業で罫線を個別に設定する方法があります。

表罫線抽出機能を使った後に、その後必要に応じて手で編集すると効率よく表罫線を設定できます。

表罫線を自動で設定する

表原稿の認識領域を抽出後、表罫線抽出機能を使って自動で表罫線を設定します。

注意

設定できる罫線は、水平・垂直方向それぞれ99までです。

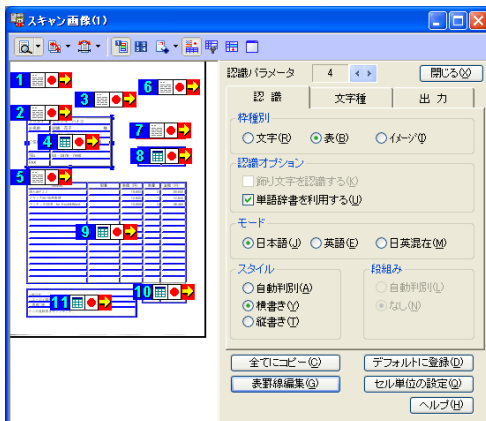
- 1 画像内に表認識枠として設定されている枠があることを確認します。
- 2 基本操作ツールバーの<認識領域の抽出>ボタンをクリックし、表示されるメニューから、[表罫線抽出(T)]を選択します。

MENU : [認識(R)] - [表罫線抽出(T)]



画面4-42: [表罫線抽出] を選ぶ

自動的に表罫線が抽出されます。



画面4-43: 表罫線自動抽出後

手動で表罫線を設定する

表罫線抽出機能でうまく罫線を抽出できなかった場合や、表にはない罫線を指定したいときは、手動で一本ずつ表罫線を設定します。手動で表罫線を設定するには、「表罫線編集ツールボックス」を使用します。

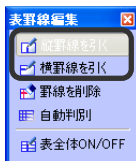
- 1 設定したい表認識枠の中をクリックします。
表の認識枠がアクティブになります。
 - 2 画像ツールバーの<表罫線編集>ボタン、または認識パラメータの<表罫線編集(G)>ボタンをクリックします。
- MENU** : [編集(E)] – [表罫線の編集(X)]



画面4-44: <表罫線編集>ボタンをクリック

[表罫線編集] ツールボックスが表示されます。

- 3** 表罫線編集ツールボックスの<縦罫線を引く>／<横罫線を引く>ボタンをクリックします。



画面4-45: [表罫線編集] ツールボックス

表罫線編集で行える操作を切り替えます。

- 4** カーソルを表に移動します。
カーソル形状が + (縦罫線) + (横罫線) に変わり、表罫線が青線で表示されます。
- 5** 設定したい位置でクリックします。

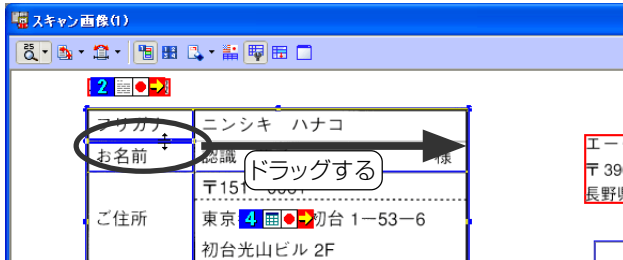


画面4-46: 縦罫線を引く

表罫線が設定されセルが分割されます。

●複数のセルをまたぐ罫線を引くには

すでに引かれている罫線と交わる罫線を引く場合には、交点までしか罫線が表示されません。交点を越えて罫線を引くには、罫線を開始したいセルでマウスの左ボタンをクリックしたまま、罫線の終端となるセルまでドラッグします。



画面4-47: マウスをドラッグして複数のセルに罫線を引く

左ボタンを離すと、複数のセルに表罫線が設定されます。

●表領域全体にかかる罫線を引くには

「表全体ON/OFF」機能を使うと、表領域全体にかかる罫線を引くことができます。[縦罫線を引く]あるいは[横罫線を引く]ボタンが選択された状態で[表全体ON/OFF]を選択すると、表領域全体にかかる表罫線が青色で表示されます。




画面4-48: [表罫線編集－表全体ON/OFF]

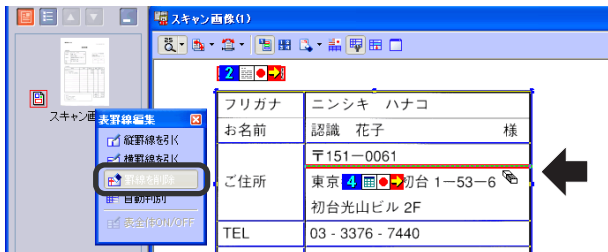
表全体罫線を解除するには、もう一度[表全体ON/OFF]ボタンをクリックします。表全体罫線がOFFになると、すでに引かれた罫線の交点までの罫線が引かれます。

●罫線を削除するには

設定された表罫線を削除したり、表全体の罫線を一度に削除します。

◆設定された表罫線を削除する

- 1 表罫線編集ツールボックスの＜罫線を削除＞ボタンをクリックします。
- 2 カーソルを表に移動します。
カーソル形状が  に変わります。
- 3 削除したい罫線上にマウスカーソルを近付けます。
削除対象となる罫線が赤色で表示されます。
- 4 確認してマウスの左ボタンをクリックします。
罫線が削除されます。



画面4-49: [表罫線編集－罫線を削除する]

！ 注意

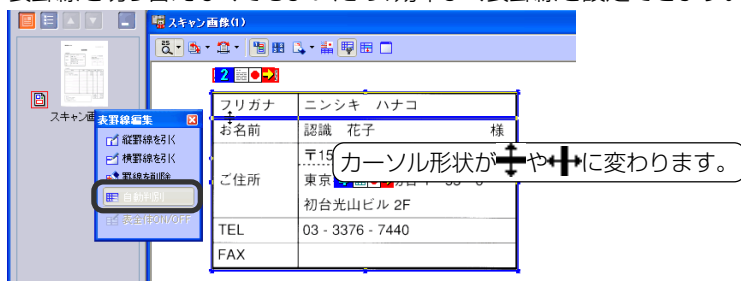
どれかの罫線にマウスカーソルを近付けると、同時に削除対象として赤色で表示される罫線もあります。赤色で表示されたものが削除されます。T字形状の罫線がある場合、上部の横罫線を削除すると下部の縦罫線も同時削除できますが、下部の縦罫線を削除しても上部の横罫線は削除されません。

◆表全体の罫線を一度に削除する

- 1 削除したい表認識枠の中をクリックし、表認識枠をアクティブにします。
- 2 [編集(E)]－[表罫線の消去(L)]を選択します。
表認識枠からすべての罫線が消去されます。

●罫線を自動判別するには

縦、横の罫線を自動判別し、縦罫線または横罫線モードへ切り替えます。手動で表罫線を切り替えなくてもよい場合、効率よく表罫線を設定できます。



画面4-50: [表罫線編集－自動判別]

縦罫線、横罫線がうまく切り替わらないときは、表罫線の外枠にカーソルを近付けると縦と横が切り替わります。

💡 ポイント

自動判別モードでも[Shift]キーと併用すると罫線を消去できます。また、[Ctrl]キーと併用すると表領域全体にかかる罫線を引くことができます。詳しくはヘルプをご覧ください。

表のセル単位にパラメータを設定する

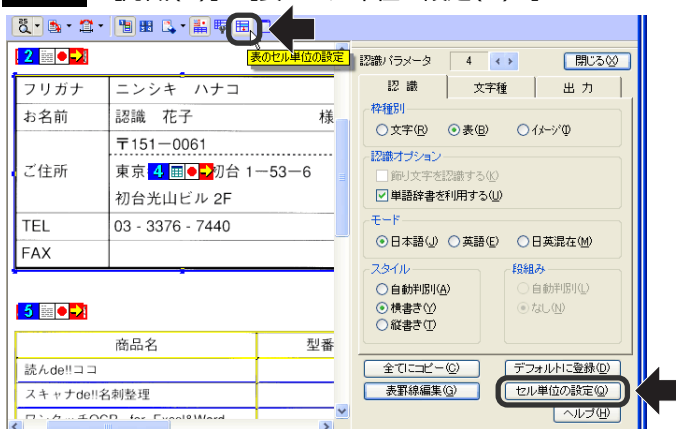
表のセル単位に認識パラメータ（モード、スタイル、対象文字種）を設定できます。特定のセルに入る文字種が限定されている場合、あらかじめ対象文字種を設定しておくことで認識率を高めることができます。

セル単位でパラメータを設定するには、あらかじめ表罫線を設定しておく必要があります。

☞ 参照 P.107「表罫線を自動で設定する」～

- 1 表の認識パラメータを設定したい表認識枠をクリックします。
- 2 画像ツールバーの＜表のセル単位の設定＞ボタンまたは、認識パラメータの＜セル単位の設定 (Q)＞ボタンをクリックします。

MENU : [認識 (R)] – [表のセル単位の設定 (H)]...



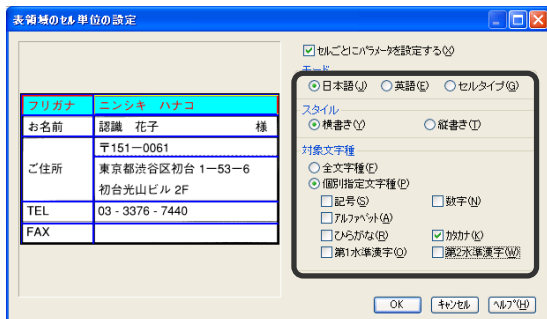
画面4-51: ＜表のセル単位の設定＞ボタンをクリック

[表領域のセル単位の設定] ダイアログが最大表示されます。

- 3 [セルごとにパラメータを設定する (X)] をチェックします。
- 4 左側の表のイメージから、設定を行うセルをクリックします。
 - 複数のセルを選択する場合は、マウスでドラッグするか、最初のセルをクリックし、最後のセルを **[Shift]** キーを押しながらクリックします。
 - ランダムにセルを選択する場合は、**[Ctrl]** キーを押しながら順次クリックします。

選択されたセルは反転表示されます。ここで選択を解除したい場合は再度セルをクリックしてください。

5 選択しているセルに対する認識パラメータを設定します。



画面4-52: [表領域のセル単位の設定] ダイアログ

6 手順4～5を繰り返してセル単位で認識パラメータを設定し<OK>ボタンをクリックします。

●表のセルタイプを指定する

表のセル内に入っているデータが、住所、TEL/FAX、数値、金額、または限定できる文字列の場合、セルタイプを指定することにより認識率が向上します。



ポイント

セルタイプに限定文字列を指定する場合、「限定文字列ファイル」をあらかじめ用意する必要があります。用意するファイルは、1行に1つの文字列が羅列されたテキスト形式のファイルです。以下のフォーマットを参考にして限定文字列ファイルを作成してください。

例. エーアイソフトブランドの商品名の限定文字列ファイル

```

読んde!!ココ [Enter]
スキャナde!!名刺整理 [Enter]
デジカメde!!同時プリント [Enter]
デジカメde!!フォト工房 [Enter]

```

:

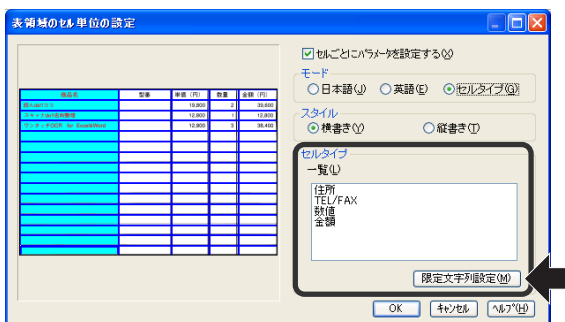
なお、『読んde!!ココ』には限定文字列ファイルとして、都道府県名のデータファイルがインストールフォルダ内の「Data」フォルダに用意されています。

注意

セルタイプを指定する場合、1つのセル内には住所、TEL/FAX、数値、金額いずれかのデータを1種類にする必要があります。1つのセル内に住所と電話番号が混在する場合、あらかじめ、1セルに1種類のデータとなるようにセルを分割してください。

セルタイプ、あるいは用意した限定文字列をセルに設定します。

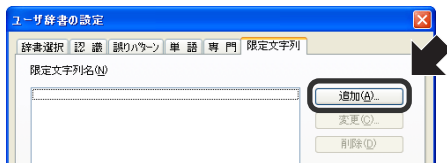
- 1** セルタイプを指定したい表枠を選択し、＜セル単位の設定 (Q)＞ボタンをクリックします。
[表領域のセル単位の設定] ダイアログが表示されます。
- 2** [セルごとにパラメータを設定する(X)]をチェックし、[モード]から[セルタイプ(G)]を選択します。
ダイアログ内の項目が[セルタイプ]の一覧に変わります。
- 3** 左側の表のイメージから、設定を行うセルをクリックします。
 - 複数のセルを選択する場合は、マウスでドラッグするか、最初のセルをクリックし、最後のセルを[Shift]キーを押しながらクリックします。
 - ランダムにセルを選択する場合は、[Ctrl]キーを押しながら順次クリックします。
 選択されたセルは反転表示されます。ここで選択を解除したい場合は再度セルをクリックしてください。
- 4** 選択しているセルに対するセルタイプを指定します。
限定文字列を指定する場合は、＜限定文字列設定(M)＞ボタンをクリックします。



画面4-53: [表領域のセル単位の設定] ダイアログ

＜限定文字列設定 (M)＞ボタンをクリックすると、[ユーザ辞書の設定—限定文字列] ダイアログが表示されます。

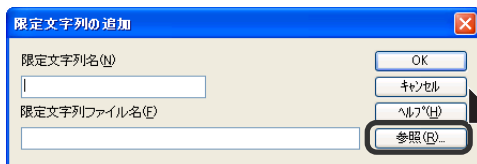
5 <追加(A)...>ボタンをクリックします。



画面4-54: [ユーザ辞書の設定－限定文字列] ダイアログ

[限定文字列の追加] ダイアログが表示されます。

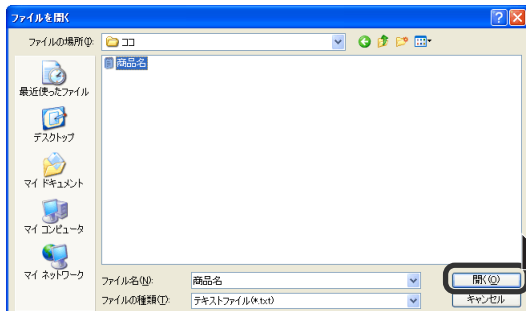
6 <参照(R)...>ボタンをクリックします。



画面4-55: [限定文字列の追加] ダイアログ

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

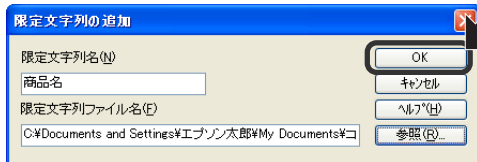
7 指定したい限定文字列ファイルを指定し、<開く(O)>ボタンをクリックします。



画面4-56: [ファイルを開く] ダイアログ

[限定文字列の追加] ダイアログに戻り、[限定文字列名(N)]、[限定文字列ファイル名(F)]に指定された限定文字列ファイルがセットされます。

8 <OK>ボタンをクリックします。

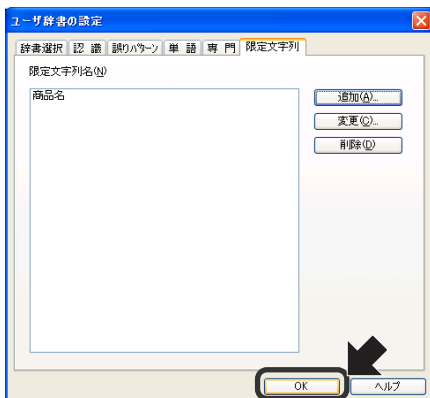


画面4-57: [限定文字列の追加] ダイアログ

4.6 表の認識率を上げる

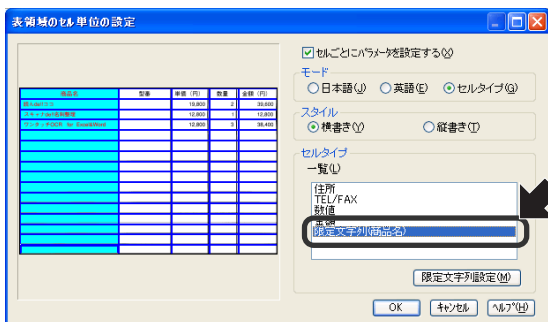
<OK>ボタンをクリックすると、[ユーザ辞書の設定－限定文字列] ダイアログに戻り、「限定文字列名 (N)」に限定文字列の名前が追加されます。

9 <OK>ボタンをクリックします。



画面4-58: [ユーザ辞書の設定－限定文字列] ダイアログ

[表領域のセル単位の設定] ダイアログに戻ります。[セルタイプ一覧 (L)] には、指定した限定文字列名が表示されるようになります。



画面4-59: [表領域のセル単位の設定] ダイアログ

10 <OK>ボタンをクリックします。

『読んde!!ココ』には、知っていると便利な機能が豊富に搭載されています。ここでは、その使い方について紹介します。

5.1 OCRファクトリー

『OCRファクトリー』では、画像を認識するために行う処理を複数の画像データに対して自動的に連続して実行する連続処理を行います。連続処理を行う前に、連続処理の動作をあらかじめ設定しておきます。連続処理実行後に画像ファイル／中間ファイル／認識結果ファイルが作成されます。



注意

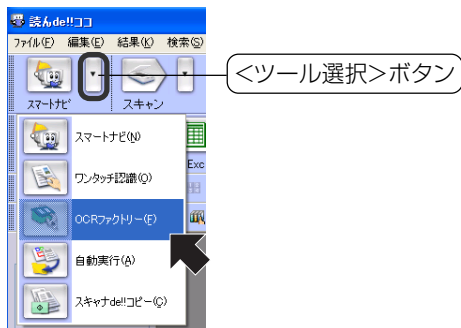
OCRファクトリーで大量の文書を連続して処理するとアプリケーションやOSが不安定になることがあります。500枚以上の文書を処理する場合には複数回に分けてください。

OCRファクトリーの起動と終了

●『読んde!!ココ』からの起動

- 1 基本操作ツールバーの<ツール選択>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[OCRファクトリー(F)]を選択します。

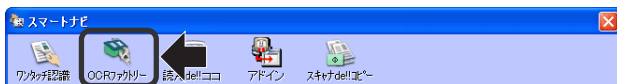
MENU : [認識(R)] - [OCRファクトリー(G)...]



画面5-1 : <OCRファクトリー>ボタンを選択

●『スマートナビ』からの起動

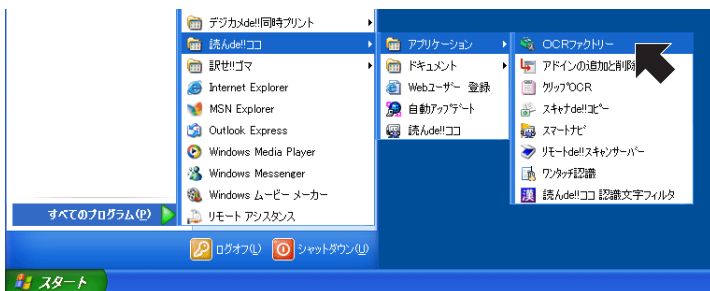
- 1 ツールバーの<OCRファクトリー>ボタンをクリックします。



画面5-2: <OCRファクトリー>ボタンをクリック

●スタートメニューからの起動

- 1 [スタート] – [すべてのプログラム] – [読んde!!ココ] – [アプリケーション] – [OCRファクトリー]を選択します。

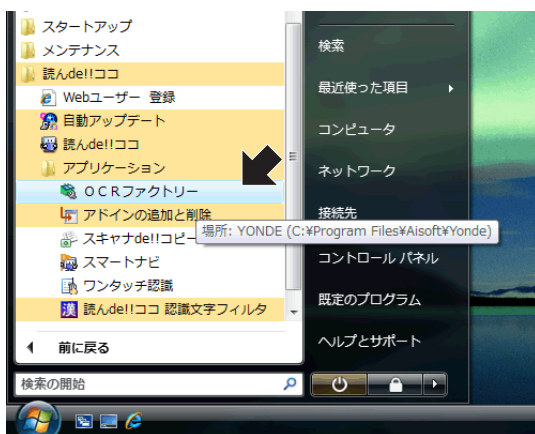


画面5-3: スタートメニューからの起動



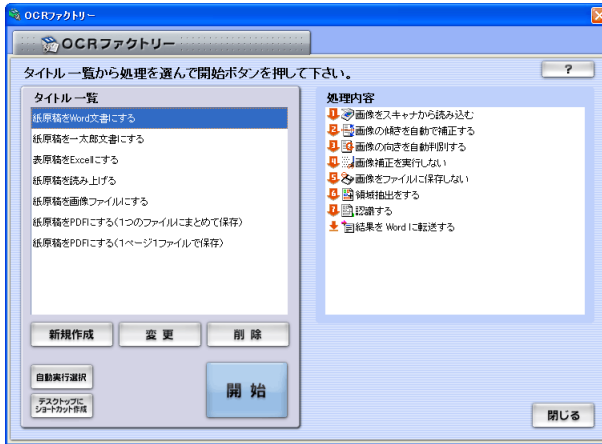
ポイント

Windows Vistaでは、[スタート] – [すべてのプログラム] – [読んde!!ココ] – [アプリケーション] – [OCRファクトリー]を順次クリックします。



画面5-4: Windows Vistaでのスタートメニューからの起動

[OCRファクトリー] ダイアログが起動します。



画面5-5: [OCRファクトリー] ダイアログ

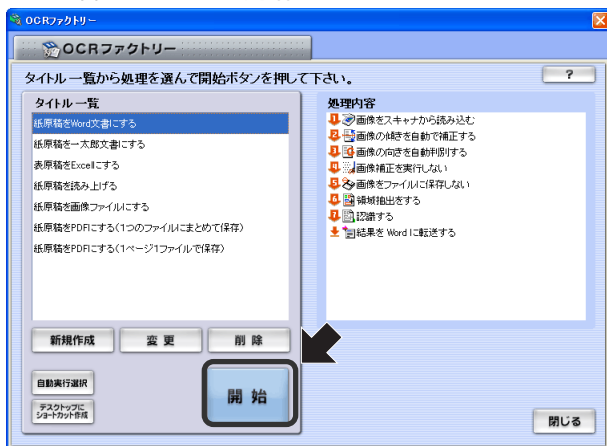
●OCRファクトリーを終了するには

『OCRファクトリー』を終了するには、[OCRファクトリー] ダイアログの<閉じる>ボタンをクリックします。

OCRファクトリーの基本的な操作の流れ

[OCRファクトリー] ダイアログにはあらかじめサンプルとなる処理が登録されています。タイトルから行いたい作業を選択して実行したり、登録されている処理内容を一部変更したり、新規に処理を登録できます。

- 1** [タイトル一覧]から実行したい処理を選択します。
選択した処理に設定されている動作がダイアログ右側に表示されます。
- 2** この内容でよければ<開始>ボタンをクリックします。



画面5-6: [OCRファクトリー]ダイアログで<開始>ボタンをクリック

- <新規作成>ボタンで、新規に処理内容を設定できます。
- <変更>ボタンで、選択されている処理内容を任意に変更できます。
- <削除>ボタンで、選択されている処理内容を削除します。
- <自動実行選択>ボタンをクリックすると<自動実行>ボタンをクリックしたときの処理として選択されます。

☞ 参照 P.129「5.2 自動実行の使い方」

- <デスクトップにショートカット作成>ボタンで、よく使用する処理のショートカットをデスクトップに作成できます。
- <閉じる>ボタンで、『OCRファクトリー』が終了します。

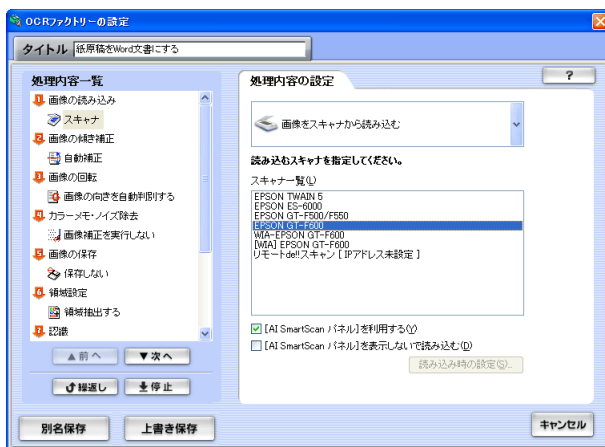


ポイント

ダイアログ中の項目やボタンについては、<?>ボタンをクリックして表示されるヘルプをご覧ください。

OCRファクトリーの設定

[OCRファクトリー] ダイアログで<変更>ボタンをクリックすると[OCRファクトリーの設定] ダイアログが表示され、処理内容を細かく設定できます。



画面5-7: [OCRファクトリーの設定] ダイアログ

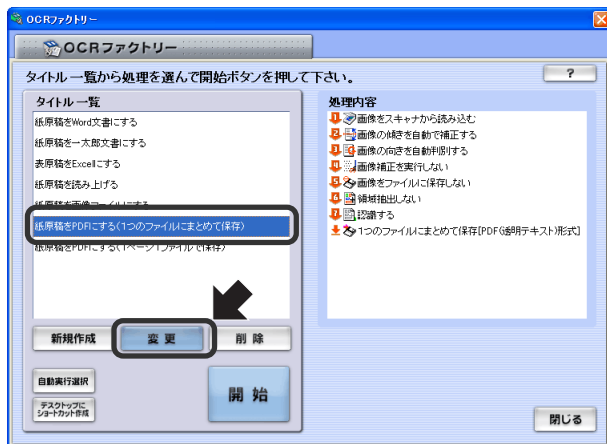
設定方法の詳細については、<?>ボタンをクリックして表示されるヘルプをご覧ください。

OCRファクトリーの使用例

●ADF でスキャンした原稿をPDF保存する

一例として、ADFを使って原稿を認識し、透明テキスト付PDFファイルに変換する方法について説明します。ここでは、登録されている処理内容を一部変更する方法で行います。

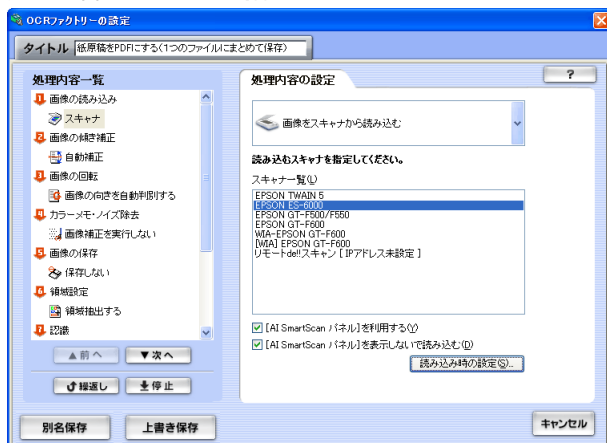
- 1 [タイトル一覧]から[紙原稿をPDFにする(1つのファイルにまとめて保存)]を選択し、＜変更＞ボタンをクリックします。



画面5-8: ＜変更＞ボタンをクリック

[OCRファクトリーの設定] ダイアログが表示されます。

- 2 処理内容を次のように指定します。



画面5-9: 処理内容を指定

1 [画像の読み込み] : [画像をスキャナから読み込む]

ADF装置が装着されているスキャナを選択し、[[AI SmartScanパネル]を表示しないで読み込む(D)]にチェックして、＜読み込み時の設定(S)＞ボタンをクリックします。

[AI SmartScanパネル]が表示されるので、[取り込み方法]欄で[ADFから取り込む(D)]を選択し、＜閉じる(X)＞ボタンをクリックします。



画面5-10: [AI SmartScanパネル]

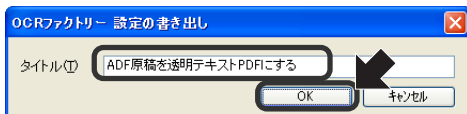
- 2 [画像の傾き補正] : [画像の傾きを自動で補正する]
- 3 [画像の回転] : [画像の向きを自動判別する]
- 4 [カラーメモ・ノイズ除去] : [カラーメモを除去しない] [ノイズ除去をしない]
- 5 [画像の保存] : [画像をファイルに保存しない]
- 6 [領域設定] : [領域抽出をする]
- 7 [認識] : [認識する]
- 8 [結果] : [結果をファイルに保存する]、ステップ8を選択した状態で＜停止＞ボタンをクリック



ポイント

- 最後のステップで<停止>に設定すると、一回で処理が終了します。<繰返し>に設定すると、同じ処理を繰返し実行します。ただし、ご使用のスキナにADF装置が装着されている場合には、<停止>に設定した場合でも、原稿が終了するまで取り込みと保存を繰返します。
- 8[結果]ステップで[結果をアプリケーションに転送する]を選択すると、このステップで<停止>または<繰返し>のどちらに設定しても、すべての処理が終了してから1回だけ行われます。例えば、3ページ分の原稿をADF装置付スキナで2回処理を繰返してAcrobatに転送する場合、6ページ分の認識結果が1つのPDFファイルで転送されます。

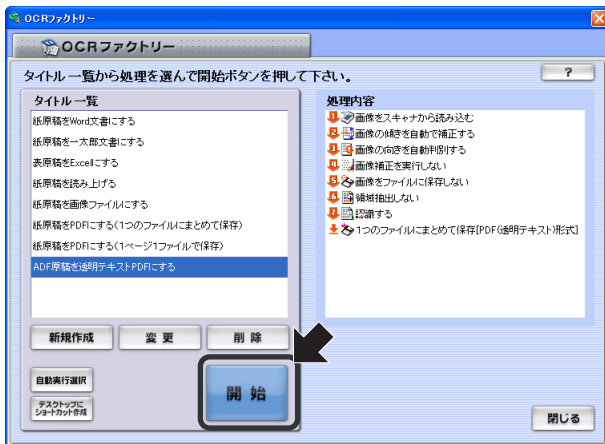
- 3** <別名保存>ボタンをクリックし、[OCRファクトリー設定の書き出し]ダイアログに任意の名前を入力し、<OK>ボタンをクリックします。



画面5-11：[OCRファクトリー設定の書き出し]ダイアログ

メイン画面が表示されます。

- 4** <開始>ボタンをクリックします。



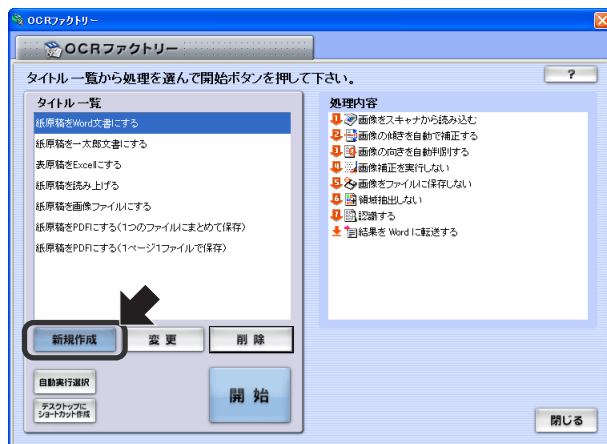
画面5-12：<開始>ボタンをクリック

設定した処理が実行されます。

●ADF でスキャンした原稿の指定領域のみCSVファイルに保存

ADFを使って原稿を認識し、枠情報ファイルで指定した領域のみCSVファイルに保存します。ここでは、処理を新規作成する方法で行います。事前に保存する領域を指定した枠情報ファイルを作成しておきます。枠情報の保存については「4.4 認識領域の設定－認識領域（枠情報）を保存する」（P.99）をご覧ください。

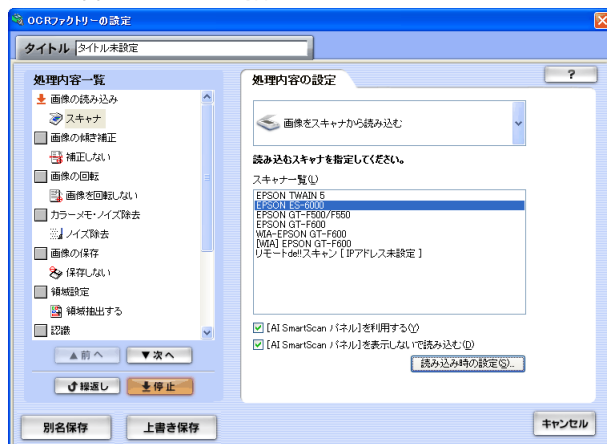
1 [OCRファクトリー]ダイアログで<新規作成>ボタンをクリックします。



画面5-13: <新規作成>ボタンをクリック

[OCRファクトリーの設定] ダイアログが表示されます。

2 処理内容を次のように指定します。



画面5-14: 処理内容を指定

1 [画像の読み込み] : [画像をスキャナから読み込む]

ADF装置が装着されているスキャナを選択し、[[AI SmartScanパネル]を表示しないで読み込む(D)]にチェックして、<読み込み時の設定(S)...>ボタンをクリックします。[AI SmartScanパネル]が表示されるので、[取り込み方法]欄で[ADFから取り込む(D)]を選択し、<閉じる(X)>ボタンをクリックします。



画面5-15: [AI SmartScanパネル]

2 [画像の傾き補正] : [画像の傾きを自動補正する]

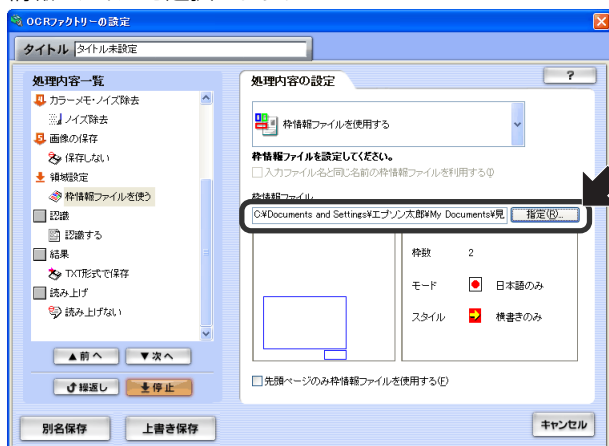
3 [画像の回転] : [画像の向きを自動判別する]

4 [カラーメモ・ノイズ除去]: [画像全体のノイズを除去する]

5 [画像の保存] : [画像をファイルに保存しない]

6 [領域設定] : [枠情報ファイルを使用する]

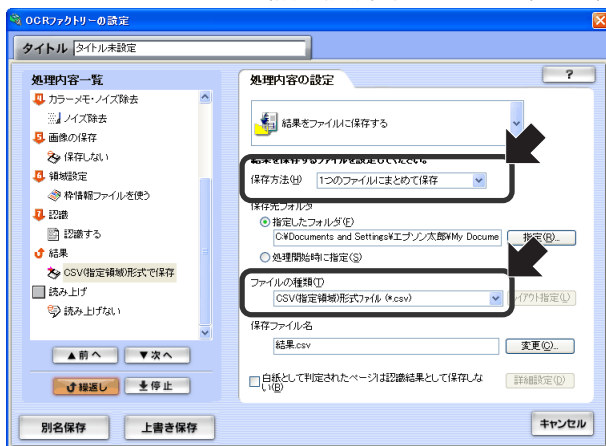
[枠情報ファイル]欄の<指定(R)...>ボタンをクリックし、事前に保存した枠情報ファイルを選択します。



画面5-16: 枠情報ファイルを選択

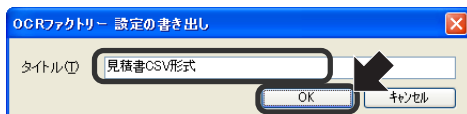
7 [認識] : [認識する]

- 8 [結果] : [結果をファイルに保存する]、ステップ8を選択した状態で<繰返し>ボタンをクリック、保存方法にて、[1つのファイルにまとめて保存]を選択
ファイルの種類で[CSV (指定領域) 形式ファイル (*.csv)]を選択します。



画面5-17: [CSV (指定領域) 形式ファイル (*.csv)]を選択

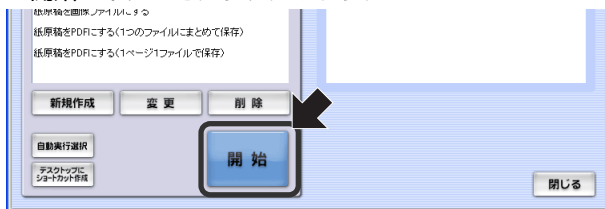
- 3 <別名保存>ボタンをクリックし、[OCRファクトリー設定の書き出し]ダイアログに任意の名前を入力し、<OK>ボタンをクリックします。



画面5-18: [OCRファクトリー 設定の書き出し] ダイアログ

[OCRファクトリー] ダイアログが表示されます。

- 4 <開始>ボタンをクリックします。



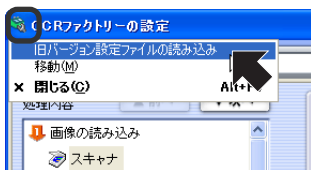
画面5-19: <開始>ボタンをクリック

設定した処理が実行されます。

旧バージョンの設定ファイルを使うには

旧バージョンの『OCRファクトリー』で保存した設定ファイルを読み込んで使用できます。旧バージョンの設定ファイルの読み込みは、[OCRファクトリーの設定] ダイアログで行います。

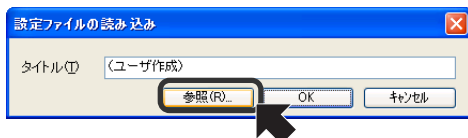
- 1 [OCRファクトリーの設定] ダイアログのタイトルバーにあるアイコンをクリックします。
システムメニューが表示されます。
- 2 [旧バージョン設定ファイルの読み込み] を選択します。



画面5-20: [旧バージョン設定ファイルの読み込み] コマンドを選択

[設定ファイルの読み込み] ダイアログが表示されます。

- 3 <参照(R)...> ボタンをクリックします。



画面5-21: [設定ファイルの読み込み] ダイアログ

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

- 4 旧バージョンで作成した設定ファイルを選択し、<開く(O)> ボタンをクリックします。
[設定ファイルの読み込み] ダイアログに戻ります。
- 5 [タイトル(T)] にタイトル一覧に表示するタイトルを入力し、<OK> ボタンをクリックします。
選択した旧バージョンの設定が [OCRファクトリーの設定] ダイアログに読み込まれます。



ポイント

読み込んだ旧バージョンの設定は[OCRファクトリーの設定] ダイアログで<別名保存>か<上書き保存>を実行してください。次回からは[OCRファクトリー] ダイアログの[タイトル一覧]から選択して実行できます。

5.2 自動実行の使い方

『読んde!!ココ』は、画像データの取り込み、画像データの保存、認識枠の設定、認識処理の実行などの処理を自動実行できます。

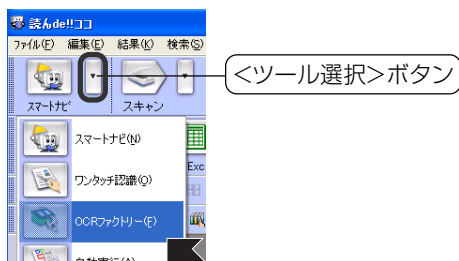
自動実行では、前もって指定した内容に従って処理が実行されます。ある特定の処理を繰り返したり、作業工程の途中で終了させたりできます。

自動実行の動作設定

自動実行とは、画像を認識するために通常行う、画像データの取り込み～認識結果の出力までの複数の処理をコマンド1つで実行できるようにした機能です。自動実行で行う処理内容は前もって「OCRファクトリー」から設定します。

- 1 基本操作ツールバーの<ツール選択>ボタンをクリックして表示されるメニューから[OCRファクトリー(F)]を選択します。

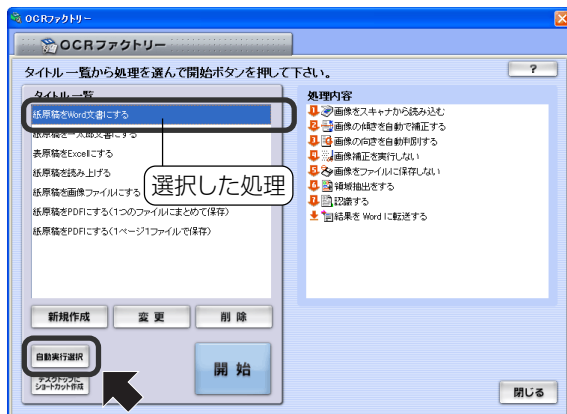
MENU : [認識(R)] – [OCRファクトリー(G)...]



画面5-22: <OCRファクトリー>ボタンを選ぶ

『OCRファクトリー』が起動します。

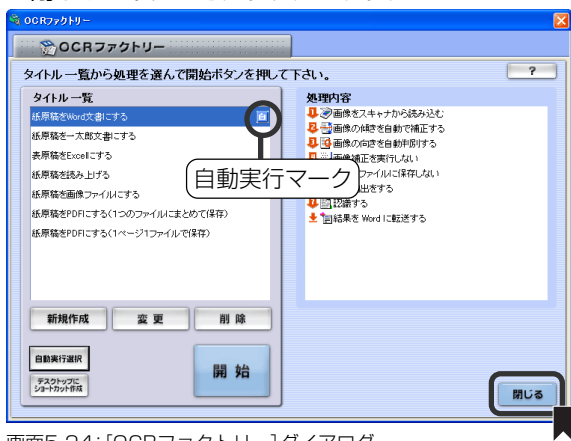
- 2 タイトル一覧から処理を選んで<自動実行選択>ボタンをクリックします。



画面5-23: [OCRファクトリー] ダイアログ

選択したメニュー領域の右に自動実行で選択した処理であることを示す「自」マークがつけます。

3 <閉じる>ボタンをクリックします。



画面5-24: [OCRファクトリー]ダイアログ

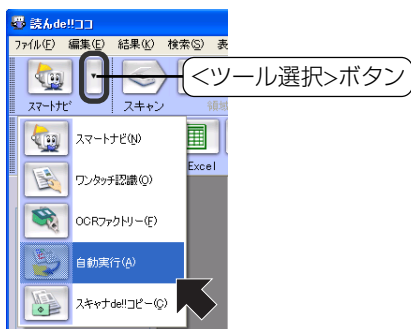
『OCRファクトリー』が終了します。

参照 『OCRファクトリー』の処理設定の説明は、[P.121「5.1 OCRファクトリー-OCRファクトリーの設定」](#)およびヘルプを参照してください。

自動実行を行うには

1 基本操作ツールバーの<ツール選択>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[自動実行(A)]を選択します。

MENU: [ファイル(F)] - [自動実行(E)...]



画面5-25: <自動実行>ボタンを選ぶ

動作設定で指定した内容に従って処理が実行されます。

繰り返し処理を指定した場合は、一連の処理が終了したところで読み込みの動作待ちになります。

自動実行を途中で止めたい場合は、＜キャンセル＞ボタンをクリックします。

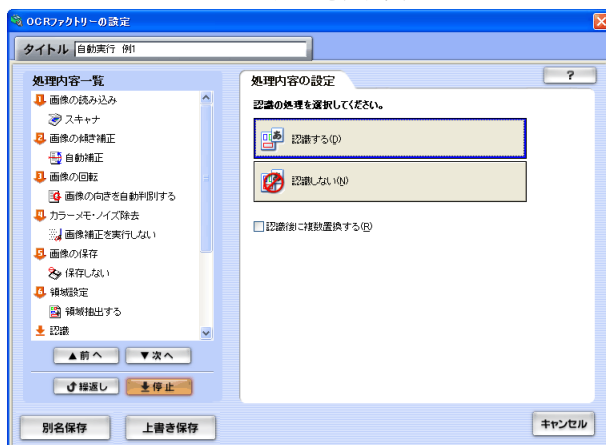
自動実行の使用例

自動実行は、レイアウトが単純な場合など細かいパラメータ設定が必要ないときに利用すると便利です。

●一連の動作を1回実行して終了する

画像をスキャナから取り込んで、回転、傾き補正、認識実行までの処理を自動実行させる場合は、自動実行の動作設定を次のように指定します。

- 1 [画像の読み込み] : [画像をスキャナから読み込む]
- 2 [画像の傾き補正] : [画像の傾きを自動で補正する]
- 3 [画像の回転] : [画像の向きを自動判別する]
- 4 [カラーメモ・ノイズ除去] : [カラーメモを除去しない]、[ノイズ除去をしない]
- 5 [画像の保存] : [画像をファイルに保存しない]
- 6 [領域設定] : [領域抽出をする]
- 7 [認識] : [認識する]、ステップ7を選択した状態で＜停止＞ボタンをクリック



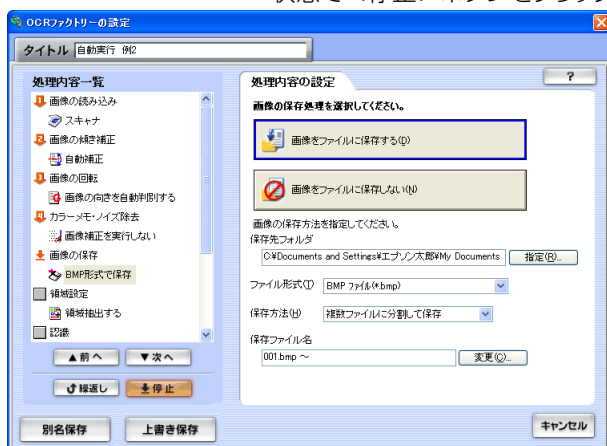
画面5-26: [動作設定－自動実行] 設定例 1

●画像を一括で保存する

ご使用のスキャナにADF装置が装着されている場合には、原稿をまとめてセットしておけば、原稿が終了するまで取り込みと保存を繰り返します。原稿を先に取り込み保存したい場合に便利です。

次のように設定します。

- 1 [画像の読み込み] : [画像をスキャナから読み込む]
- 2 [画像の傾き補正] : [画像の傾きを自動で補正する]
- 3 [画像の回転] : [画像の向きを自動判別する]
- 4 [カラーメモ・ノイズ除去] : [カラーメモを除去しない]、[ノイズ除去をしない]
- 5 [画像の保存] : [画像をファイルに保存する]、ステップ5を選択した状態で<停止>ボタンをクリック



画面5-27: [動作設定－自動実行] 設定例2

画像の保存は、自動的に行うことができます。

アプリケーションから 読んde!!ココを使う(アドイン機能)

『読んde!!ココ』のOCR機能をアプリケーションに組み込むことにより、アプリケーションに追加されたメニューコマンドから『読んde!!ココ』を使うことができます。『読んde!!ココ』は、次のアプリケーションにOCR機能を組み込むことができます。

- Microsoft Excel 2007 / 2003 / 2002 / 2000
- Microsoft Word 2007 / 2003 / 2002 / 2000
- Microsoft PowerPoint 2007 / 2003 / 2002 / 2000
- 一太郎 2007 / 2006 / 2005 / 2004 / 13 / 12
- Adobe Acrobat 8.0 / 7.0 / 6.0



注意

Adobe Reader にはアドインできません。

ここでは、組み込み作業と各アプリケーションから『読んde!!ココ』を使用する方法について説明します。



ポイント 旧バージョンのアドインの更新

旧バージョンがインストールされている環境に『読んde!!ココ』を上書きインストールしてもすでに各アプリケーションに組み込まれているアドイン機能は更新されません。

アドイン機能を更新するためには、アドインの再組み込みを行ってください。

なお、組み込みを行う際、アドイン対象アプリケーションによっては、すでに組み込み済みと表示される場合があります。この場合でも、＜追加＞ボタンをクリックすると更新処理が行われます。

6.1 『読んde!!ココ』をアプリケーションに組み込む

注意

WORD、EXCEL、PowerPoint、一太郎

アドインを利用するユーザーごとに「アドインの追加と削除」を実行してください。

Excel、WordにOCR機能を組み込む場合、組み込まれるアプリケーション側のセキュリティレベルが「中」または「低」に設定されている必要があります。このような設定になっていない場合は、正常にOCR機能を組み込むことができないため、各アプリケーション側でセキュリティレベルを設定してください。なお、Office 2003/XP/ Office 2000のExcel、Wordでは、セキュリティレベルは、[ツール]メニュー→[マクロ]→[セキュリティ]で設定できます。詳しい方法は、各アプリケーションのマニュアル等を参照してください。

Acrobat

設定を行うと、全ユーザーが共通でアドインを利用できます。

Windows2000/XPの場合には、管理者権限があるユーザーにて実行してください。

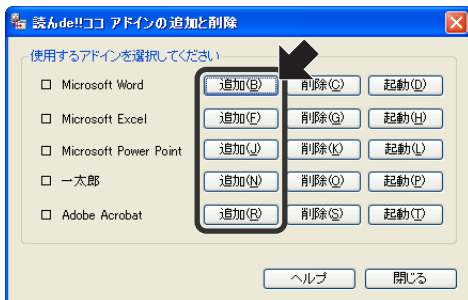
Windows Vistaの場合には、「管理者として実行」にて起動し、設定を行ってください。

☞ 参照 [P.11「4.Windows Vistaでのご利用上の注意」](#)

- 1 [スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[アプリケーション]－[アドインの追加と削除]を選択します。


[読んde!!ココ アドインの追加と削除] ダイアログが表示されます。

- 2 OCR機能を組み込むアプリケーションの<追加>ボタンをクリックします。



画面6-1 : [読んde!!ココ アドインの追加と削除] ダイアログ

- すでにOCR機能が組み込まれているアプリケーションは左側の□が■になっています。
- ＜起動＞ボタンをクリックするとそのアプリケーションを起動します。

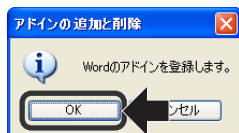
 **参照** ＜削除＞ボタンの動作についてはP.155「6.3『読んde!!ココ』アプリケーションから削除する」をご覧ください。

E アプリケーションにOCR機能を組み込みます。

●「Microsoft Word」を選択した場合

以下のメッセージが表示されます。

- ①＜OK＞ボタンをクリックします。



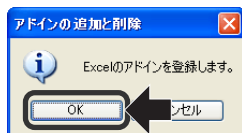
画面6-2: Wordへのアドイン確認メッセージ

WordへOCR機能を組み込みます。

●「Microsoft Excel」を選択した場合

以下のメッセージが表示されます。

- ①＜OK＞ボタンをクリックします。



画面6-3: Excelへのアドイン確認メッセージ

ExcelへOCR機能を組み込みます。

●「Microsoft PowerPoint」を選択した場合

以下のメッセージが表示されます。

- ①＜OK＞ボタンをクリックします。



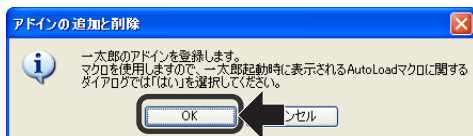
画面6-4: PowerPointへのアドイン確認メッセージ

PowerPointへOCR機能を組み込みます。

●「一太郎」を選択した場合

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。



画面6-5: 一太郎へのアドイン確認メッセージ

一太郎が自動的に起動され、AutoLoadマクロに関する確認メッセージが表示されます。

②<はい>をクリックします。

一太郎へのOCR機能の組み込みが終了します。



ポイント

AutoLoadマクロに関する確認メッセージで<いいえ>を選択すると、アドインがインストールされず、インストーラが作業を継続できません。もし、<いいえ>を選択して停止してしまった時には、アプリケーションを閉じるとインストーラが作業を続行します。その際、アドインは正しく登録されていないので、アドインをご利用になる場合は、再度インストールしてください。

●「Adobe Acrobat」を選択した場合



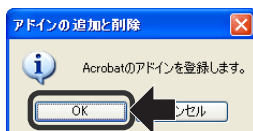
注意

Windows2000/XPの場合には、管理者権限があるユーザーにて実行してください。

Windows Vistaの場合には、「管理者として実行」にて起動し、設定を行ってください。

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。

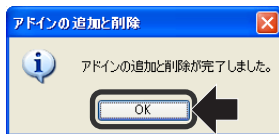


画面6-6: Acrobatへのアドイン確認メッセージ

AcrobatへOCR機能を組み込みます。

組み込みが終了すると、「アドイン完了のメッセージ」が表示されます。

- 4** 「アドインの追加と削除完了のメッセージ」の<OK>ボタンをクリックします。



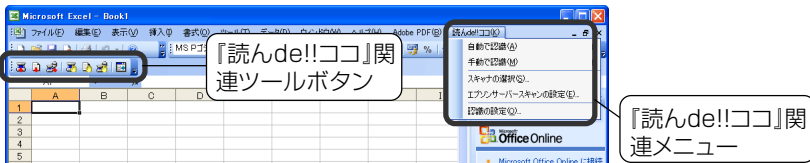
画面6-7: アドイン完了のメッセージ

- 5** [読んde!!ココ アドインの追加と削除]ダイアログの<閉じる>ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

6.2 アプリケーションから認識を実行する

Excelから認識を実行する

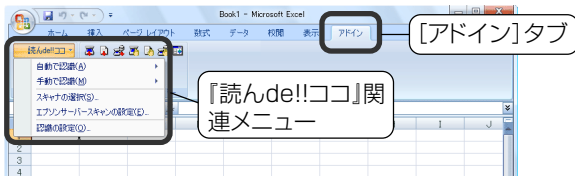
Microsoft Excelへ『読んde!!ココ』のOCR機能を組み込むと、Excelのメニューの最後に「読んde!!ココ(K)」メニューとツールバーが追加されます。



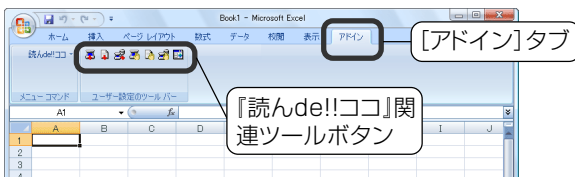
画面6-8:『読んde!!ココ』が組み込まれたExcelの画面

ポイント

- Excel2007では、下図のように[アドイン]タブをクリックして表示される画面に『読んde!!ココ』関連のメニューとツールボタンが追加されます。



画面6-9:『読んde!!ココ』関連メニューが組み込まれたExcel 2007の画面



画面6-10:『読んde!!ココ』関連ツールボタンが組み込まれたExcel 2007の画面

- 『読んde!!ココ』のOCR機能を組み込んだWord 2007、PowerPoint 2007でも同様の配置となります。

注意

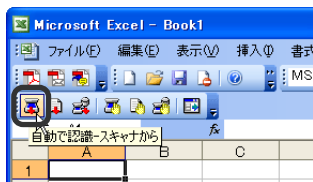
- カーソル位置や原点に挿入する場合、すでにセルに入力されているデータは上書きされます。
- 使用しているxlsファイルによっては、挿入する位置のセルにアドインからデータを挿入できない場合があります。その場合は、データの無いところに挿入するか、セルの罫線の設定を消去してから再度挿入してください。
- ロックされているセルや箇所には挿入できません。

●自動で認識するには

画像データの取り込み、自動領域抽出による認識枠の設定、認識処理の実行、Excelへの転送までの処理を自動で行います。


- 1 <自動で認識－スキャナから>／<自動で認識－ファイルから>／<自動で認識－エプソンサーバースキャンから>ボタンをクリックします。


MENU : [読んde!!ココ(K)]－[自動で認識(A)]－[スキャナから(S)]／[ファイルから(F)]／[エプソンサーバースキャンから(E)]



画面6-11 : <自動で認識－スキャナから>ボタンを選ぶ

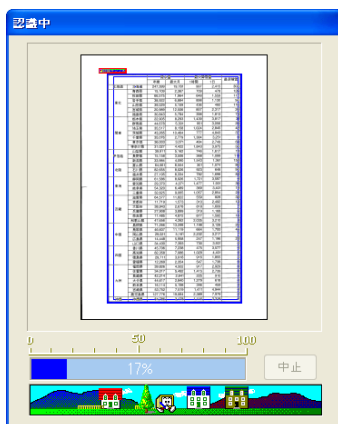
- スキャナからデータを取り込む場合は、[スキャナから(S)]、画像ファイルまたはPDFファイルを読み込む場合は、[ファイルから(F)]、エプソンサーバースキャンによってサーバーに取り込まれた画像ファイルを読み込む場合は、[エプソンサーバースキャンから(E)]を選択します。
- 「スキャナから」を選択した場合は、[AI SmartScanパネル]ダイアログが表示され、「ファイルから」を選択した場合は、[ファイルを開く]ダイアログが表示されます。また、「エプソンサーバースキャンから」を選択した場合は、[エプソンサーバースキャン]ダイアログが表示されます。

 **参照** スキャナからの画像の取り込みについて詳しくは、P.48「3.2 原稿を取り込む－スキャナから原稿を取り込む」／P.53「3.2 原稿を取り込む－ファイルから読み込む」をご覧ください。

 **参照** 「エプソンサーバースキャン」からの画像の読み込みについて詳しくは、第2部 応用編マニュアルのP.104「5.4 エプソンスキャナサーバーから取り込む－エプソンサーバースキャンから読み込む」をご覧ください。

2 画像データを取り込みます。

画像が読み込まれると、それ以降の処理は認識する際の設定内容に従って、すべて自動で処理が行われます。



画面6-12: [自動で認識] ダイアログ

認識が終了すると、結果がExcelのウィンドウ上に表示されます。

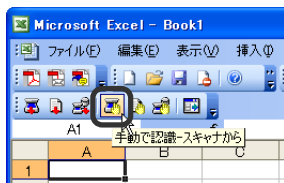
認識サンプル		降水量		最大降雪量		最深積雪
		年間	最大月	1時間	1日	
4	北海道	247399	19781	997	2415	304
5	東北	15109	2367	709	478	126
6	秋田県	66575	1964	648	1559	117
7	岩手県	38922	6884	898	1130	94
8	山形県	39029	5109	436	492	116
9	宮城県	20689	12506	857	2317	26
10	福島県	30843	5784	398	1813	73
11	関東	22905	8293	1439	3817	31
12	群馬県	44678	5301	851	3056	20
13	埼玉県	35517	8158	1024	2845	42
14	茨城県	43265	10464	777	4,833	37
15	千葉県	35076	2779	1384	3251	0
16	東京都	36003	3071	484	2749	63
17	甲信越	31027	4422	1843	3975	34
18	山梨県	39911	5162	746	1617	19
19	長野県	15158	3506	366	1089	111
20	新潟県	33984	4090	1543	1361	158

画面6-13: 認識実行後のExcel画面

●手動で認識するには

- 1 <手動で認識－スキャナから>/<手動で認識－ファイルから>/<手動で認識－エブソンサーバースキャンから>ボタンをクリックします。

MENU : [読ん de !! ココ(K)]－[手動で認識(M)]－[スキャナから(S)]/[ファイルから(F)]/[エブソンサーバースキャンから(E)]



画面6-14: <手動で認識－スキャナから>ボタンを選ぶ

『読ん de !! ココ』が起動します。


- スキャナからデータを取り込む場合は、[スキャナから(S)]、画像ファイルまたはPDFファイルを読み込む場合は、[ファイルから(F)]、エブソンサーバースキャンによってサーバーに取り込まれた画像ファイルを読み込む場合は、[エブソンサーバースキャンから(E)]を選択します。
- 「スキャナから」を選択した場合は、[AI SmartScanパネル] ダイアログが表示され、「ファイルから」を選択した場合は、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。また、「エブソンサーバースキャンから」を選択した場合は、[エブソンサーバースキャン] ダイアログが表示されます。

- 2 『読ん de !! ココ』上で必要な認識処理を行い、<Excelへ>ボタンをクリックします。



画面6-15: 手動で認識-読ん de !! ココ画面

画像データの取り込みから、認識、データ修正、転送までを『読ん de !! ココ』上で手動で行います。

 **参照** 『読ん de !! ココ』の操作については、P.47「第3章 読ん de !! ココを使ってみよう」をご覧ください。

●スキャナを選択するには

[読んde!!ココ(K)]－[スキャナの選択(S)...]を選択します。

[スキャナの選択] ダイアログが表示されます。必要に応じて、使用するスキャナを選択します。

☞参照 P.48「3.2 原稿を取り込む－スキャナから原稿を取り込む－スキャナを選択する」

●エプソンサーバースキャンの設定をするには

[読んde!!ココ(K)]－[エプソンサーバースキャンの設定(E)...]を選択します。

[エプソンサーバースキャンの設定] ダイアログが表示されます。

必要に応じて、ユーザスキャンディレクトリを選択します。

☞参照 第2部 応用編マニュアル P.103「5.4 エプソンスキャナサーバーから取り込む－エプソンサーバースキャンの設定をするには」

●認識の設定をするには

1 <認識の設定>ボタンをクリックします。

MENU : [読んde!!ココ(K)]－[認識の設定(O)...]

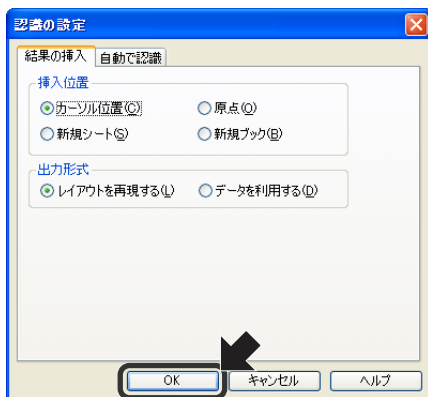


画面6-16: <認識の設定>ボタンを選ぶ

[認識の設定] ダイアログが表示されます。

[認識の設定] ダイアログは、2つのタブに分かれていて結果の貼り付けに関する設定と自動での認識に関する設定を行います。

- 2** 認識の設定を指定して、＜OK＞ボタンをクリックします。



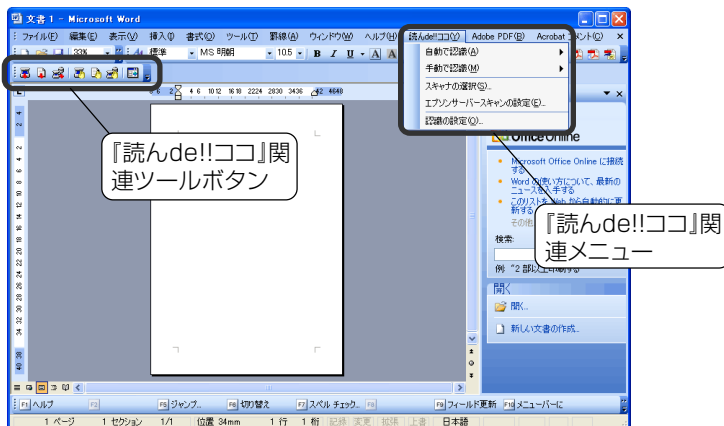
画面6-17: [認識の設定－結果の挿入] ダイアログ

ダイアログ内の項目の詳細は＜ヘルプ＞ボタンをクリックして、表示されるヘルプで確認してください。

Wordから認識を実行する

Microsoft Wordへ『読んde!!ココ』のOCR機能を組み込むと、Wordのメニューの最後に「読んde!!ココ(Y)」メニューとツールバーが追加されます。

☞参照 自動で認識、手動で認識、スキャナを選択、認識の設定については、Excelの場合と同じです。P.138「Excelから認識を実行する」をご覧ください。



画面6-18:『読んde!!ココ』が組み込まれたWordの画面

注意

- 挿入形式が段組みの場合に、挿入先原稿のサイズが認識する原稿の幅を満たしていないとき段組みにならないことがあります。
- 保護されている文書には挿入できません。

●認識の設定をするには

1 <認識の設定>ボタンをクリックします。

MENU: [読んde!!ココ(Y)] – [認識の設定(O)...]

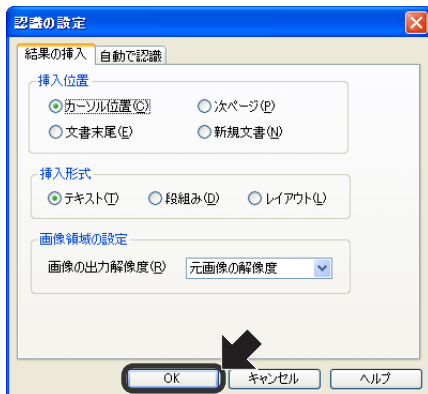


画面6-19: <認識の設定>ボタンを選ぶ

[認識の設定] ダイアログが表示されます。

[認識の設定] ダイアログは、2つのタブに分かれていて結果の貼り付けに関する設定と自動での認識に関する設定を行います。

2 認識の設定を指定して、＜OK＞ボタンをクリックします。




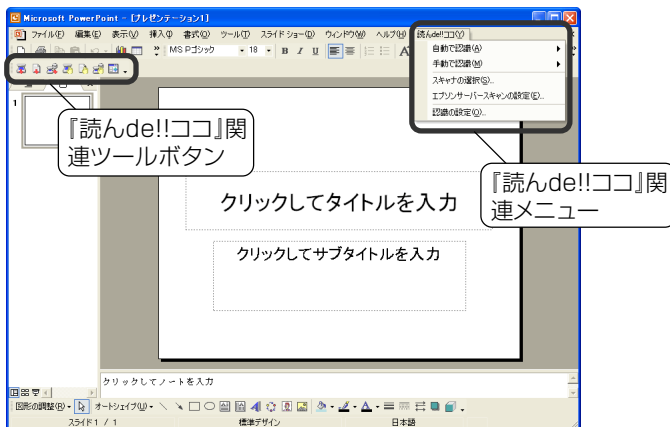
画面6-20: [認識の設定－結果の挿入] ダイアログ

ダイアログ内の項目の詳細は＜ヘルプ＞ボタンをクリックして、表示されるヘルプで確認してください。

PowerPointから認識を実行する

Microsoft PowerPointへ『読んde!!ココ』のOCR機能を組み込むと、PowerPointのメニューの最後に「読んde!!ココ(Y)」メニューとツールバーが追加されます。

 **参照** 自動で認識、スキャナを選択については、Excelの場合と同じです。
P.138「Excelから認識を実行する」をご覧ください。

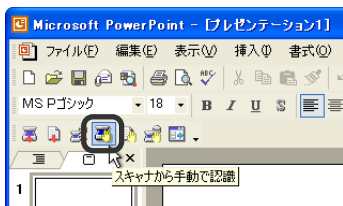


画面6-21: 『読んde!!ココ』が組み込まれたPowerPointの画面

●手動で認識するには

- 1** <スキャナから手動で認識>/<ファイルから手動で認識>/<エプソンサーバーから手動で認識>ボタンをクリックします。

MENU : [読んde!!ココ(Y)] – [手動で認識(M)] – [スキャナから(S)]/[ファイルから(F)]/[エプソンサーバーから(E)]



画面6-22: <スキャナから手動で認識>ボタンを選ぶ

『読んde!!ココ』が起動します。

- スキャナからデータを取り込む場合は、[スキャナから(S)]、画像ファイルまたはPDFファイルを読み込む場合は、[ファイルから(F)]、エプソンサーバースキャンによってサーバーに取り込まれた画像ファイルを読み込む場合は、[エプソンサーバーから(E)]を選択します。
- 「スキャナから」を選択した場合は、[AI SmartScanパネル] ダイアログが表示され、「ファイルから」を選択した場合は、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。また、「エプソンサーバーから」を選択した場合は、[エプソンサーバーからスキャン] ダイアログが表示されます。

- 2** 基本操作ツールバーの<認識領域の抽出>ボタンをクリックし、表示されるメニューより[スライド分割(S)]を選択します。

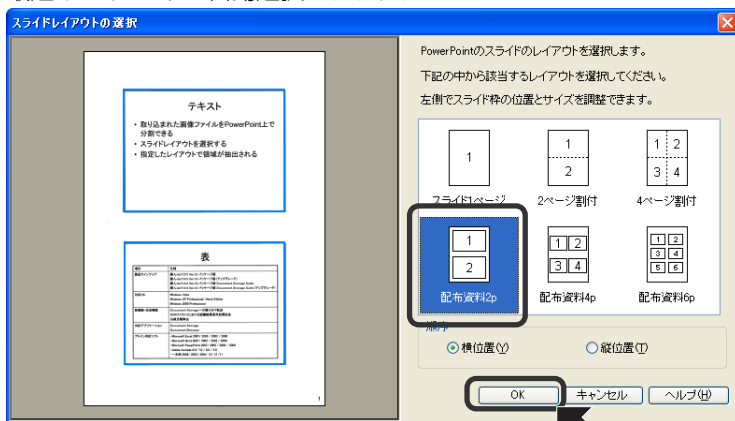
MENU : [認識(R)] – [スライド分割(S)]



画面6-23: <スライド分割>ボタンを選ぶ

[スライドレイアウトの選択] ダイアログが表示されます。

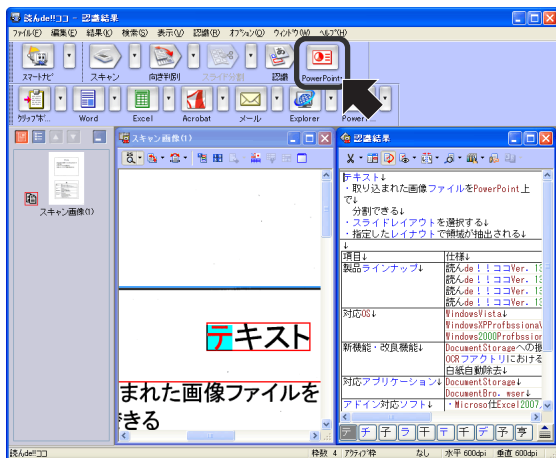
- 3** スライドレイアウトを選択して、＜OK＞ボタンをクリックします。
最適なレイアウトが自動選択されます。



画面6-24: [スライドレイアウトの選択] ダイアログ

ダイアログ内の項目の詳細は＜ヘルプ (H)＞ボタンをクリックして、表示されるヘルプで確認してください。

- 4** 『読んde!!ココ』上で必要な認識処理を行い、＜PowerPoint＞ボタンをクリックします。



画面6-25: 手動で認識-読んde!!ココ画面

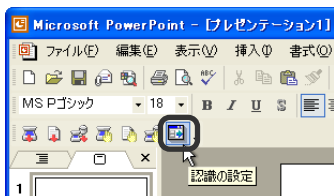
画像データの取り込みから、認識、データ修正、転送までを『読んde!!ココ』上で手動で行います。

参照 『読んde!!ココ』の操作については、P.47「第3章 読んde!!ココを使ってみよう」をご覧ください。

●認識の設定をするには

- 1 <認識の設定>ボタンをクリックします。

MENU : [読んde!!ココ(Y)] – [認識の設定(O)...]

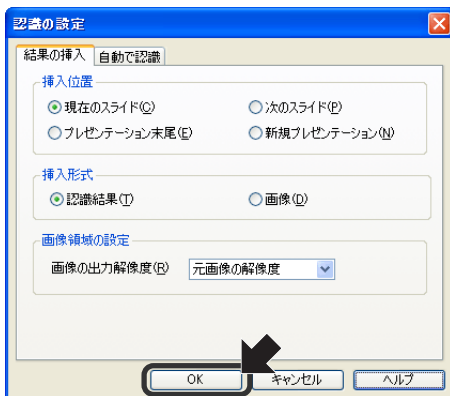


画面6-26: <認識の設定>ボタンを選ぶ

[認識の設定] ダイアログが表示されます。

[認識の設定] ダイアログは、2つのタブに分かれていて結果の貼り付けに関する設定と自動での認識に関する設定を行います。

- 2 認識の設定を指定して、<OK>ボタンをクリックします。

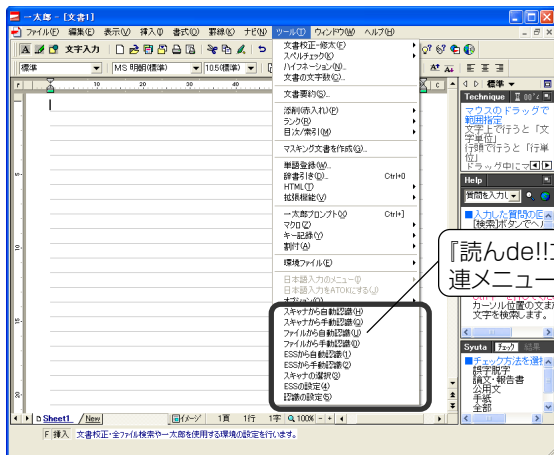


画面6-27: [認識の設定 – 結果の挿入] ダイアログ

ダイアログ内の項目の詳細は<ヘルプ>ボタンをクリックして、表示されるヘルプで確認してください。

一太郎から認識を実行する

一太郎へ『読んde!!ココ』のOCR機能を組み込むと、一太郎の[ツール(T)]メニューに『読んde!!ココ』のコマンドが追加されます。コマンド構成がExcelやWordとは異なりますが、使用方法はまったく同じです。



画面6-28:『読んde!!ココ』が組み込まれた一太郎の画面

- スキャナから自動認識 → スキャナからデータを取り込み、自動で認識処理後、一太郎へ結果を転送する
- スキャナから手動認識 → 『読んde!!ココ』を起動し、スキャナからデータを取り込み、認識処理後、一太郎へ転送するまでをすべて手動で行う
- ファイルから自動認識 → ファイルからデータを取り込み、自動で認識処理後、一太郎へ結果を転送する
- ファイルから手動認識 → 『読んde!!ココ』を起動し、ファイルからデータを取り込み、認識処理後、一太郎へ転送するまでをすべて手動で行う
- ESSから自動認識 → 「エプソンサーブスキャン」によってサーバーに取り込まれた画像ファイルを取り込み、自動で認識処理後、一太郎へ結果を転送する
- ESSから手動認識 → 『読んde!!ココ』を起動し、「エプソンサーブスキャン」によってサーバーに取り込まれた画像ファイルを取り込み、認識処理後、一太郎へ転送するまでをすべて手動で行う

**注意**

レイアウト枠内にキャレットがある場合には、以下の条件では認識結果を挿入できません。


- 挿入形式がレイアウトのとき
- 挿入形式によらず、挿入位置が次ページか文末のとき

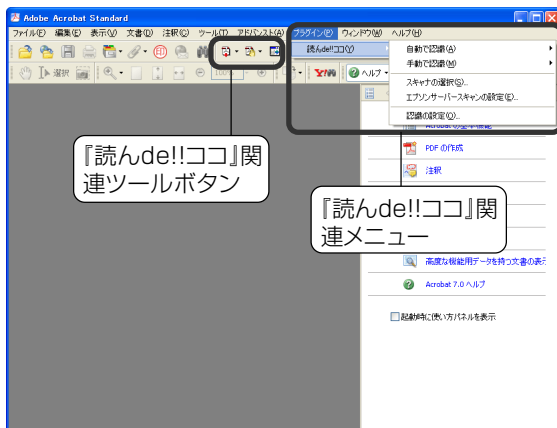
●認識の設定をするには

一太郎の[認識の設定]ダイアログの項目は、Wordの[認識の設定]ダイアログとまったく同じになります。ダイアログ内の項目の詳細は<ヘルプ>ボタンをクリックして、表示されるヘルプで確認してください。

Acrobatから認識を実行する

Acrobatへ『読んde!!ココ』のOCR機能を組み込むと、Acrobatの[プラグイン(P)]メニューに『読んde!!ココ』のコマンドが追加されます。

 **参照** コマンド構成は、PDFからの認識が追加されていることを除いて、ExcelやWordの場合と同じです。共通のコマンドの使用法は、[P.138「Excelから認識を実行する」](#)をご覧ください。



画面6-29:『読んde!!ココ』が組み込まれたAcrobatの画面



注意

- PDFから自動／手動で認識する場合、元のPDFにセキュリティがかかっていると、読み込めないことがあります。
- PDFから手動で認識する場合は、1ページずつの認識になります。
- 認識の設定の「タグを付ける」は、スキャナから／ファイルからでのみ有効です。PDFからの認識では、自動／手動ともにタグは付きません。
- PDFから認識する場合、元のPDFが文字データであっても一旦画像に変換されるので、結果が異なる場合があります。

●PDFから自動で認識するには

1 認識させたいPDFファイルをAcrobatで開きます。

2 <自動で認識－PDFから>ボタンをクリックします。

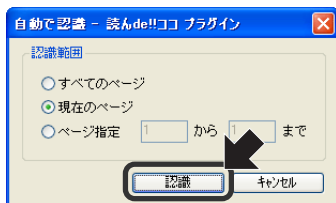
MENU : [プラグイン(P)]－[読んde!!ココ(Y)]－[自動で認識(A)]－[PDFから(P)...]



画面6-30: <自動で認識－PDFから>ボタンを選択

認識範囲を指定するダイアログボックスが表示されます。

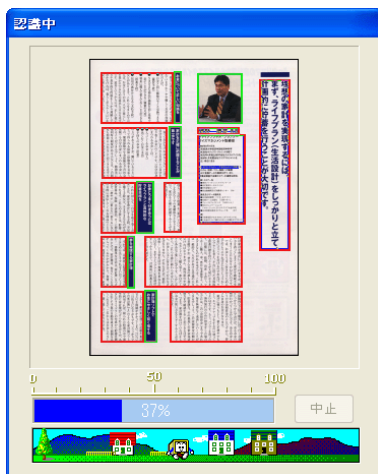
3 認識範囲を指定し、<認識>ボタンをクリックします。



画面6-31: [自動で認識－読んde!!ココ プラグイン]ダイアログ

<認識>ボタンがクリックされると、[自動で認識]ダイアログを表示して、[認識の設定－自動で認識]ダイアログで設定された処理に従って認識処理が実行されます。

6.2 アプリケーションから認識を実行する

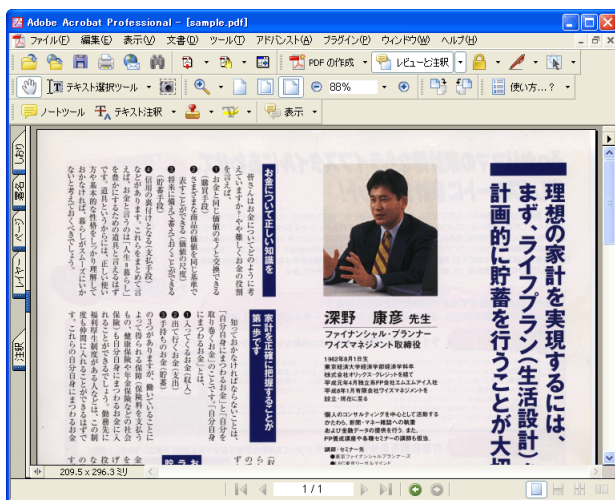


画面6-32: [自動で認識] ダイアログ

認識処理が終了すると、認識処理を行ったページに、指定された形式で認識結果が表示されます。

ただし挿入形式に「透明テキスト」を指定した場合には、出力結果は認識する前のPDFファイルと見た目では変わりありません。

Acrobatのテキスト選択ツールでテキスト画像をドラッグすると、テキストが選択されるため、認識結果が透明テキストで画像の上に配置されていることが分かります。



画面6-33: 認識結果後のPDFファイル

●PDFから手動で認識するには

- 1** <手動で認識－PDFから>ボタンをクリックします。

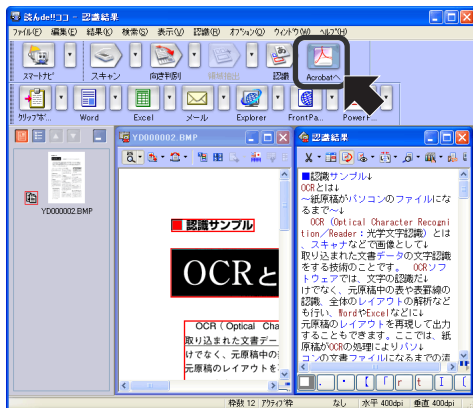
MENU : [プラグイン(P)]－[読んde!!ココ(Y)]－[手動で認識(M)]－[PDFから(P)...]



画面6-34: <手動で認識－PDFから>ボタンを選ぶ

『読んde!!ココ』が起動し、PDFファイルの現在のページが画像として読み込まれます。

- 2** 『読んde!!ココ』上で必要な認識処理を行い、<Acrobatへ>ボタンをクリックします。



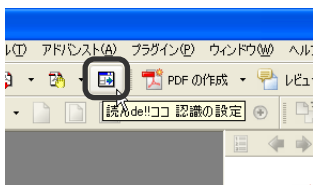
画面6-35: 手動で認識-読んde!!ココ画面

画像データの取り込みから、認識、データ修正、転送までを『読んde!!ココ』上で手動で行います。『読んde!!ココ』の操作については、P.47「第3章 読んde!!ココを使ってみよう」をご覧ください。

●認識の設定をするには

- 1 <認識の設定>ボタンをクリックします。

MENU : [プラグイン(P)] – [読んde!!ココ(Y)] – [認識の設定(O)...]

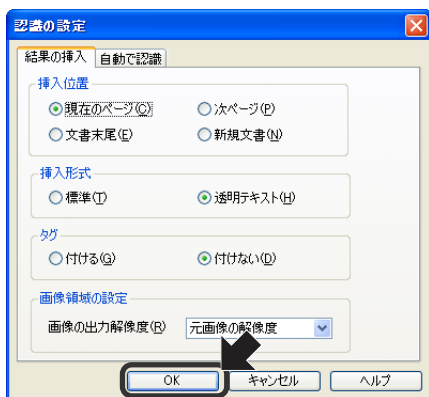


画面6-36: <認識の設定>ボタンを選ぶ

[認識の設定] ダイアログが表示されます。

[認識の設定] ダイアログは、2つのタブに分かれていて結果の貼り付けに関する設定と自動での認識に関する設定を行います。

- 2 認識の設定を指定して、<OK>ボタンをクリックします。



画面6-37: [認識の設定－結果の挿入] ダイアログ

ダイアログ内の項目の詳細は<ヘルプ>ボタンをクリックして、表示されるヘルプで確認してください。

6.3 『読ん de !! ココ』をアプリケーションから削除する



注意

WORD、EXCEL、PowerPoint、一太郎

アドインを利用するユーザーごとに「アドインの追加と削除」を実行してください。

Acrobat

削除すると、全ユーザーが利用できなくなります。

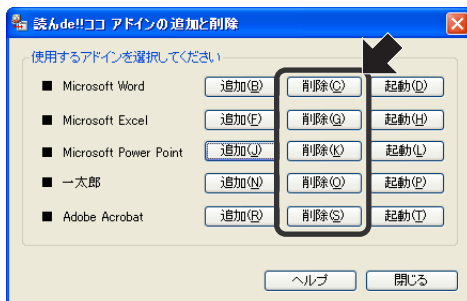
Windows2000/XPの場合には、管理者権限があるユーザーにて実行してください。

Windows Vistaの場合には、「管理者として実行」にて起動し、設定を行ってください。



参照 [P.111「4.Windows Vistaでのご利用上の注意」](#)

- 1 [スタート]－[すべてのプログラム]－[読ん de !! ココ]－[アプリケーション]－[アドインの追加と削除]を選択します。
[読ん de !! ココ アドインの追加と削除] ダイアログが表示されます。
- 2 OCR機能を削除したいアプリケーションの<削除>ボタンをクリックします。



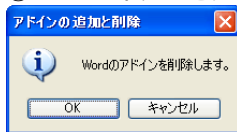
画面6-38: 『読ん de !! ココ アドインの追加と削除』ダイアログ

アプリケーションからOCR機能を削除します。

●「Microsoft Word」の場合

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。



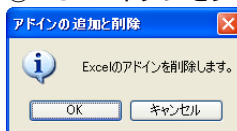
画面6-39: Wordのアドイン削除確認メッセージ

WordからOCR機能が削除されます。

●「Microsoft Excel」の場合

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。



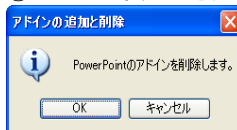
画面6-40: Excelのアドイン削除確認メッセージ

ExcelからOCR機能が削除されます。

●「Microsoft PowerPoint」の場合

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。



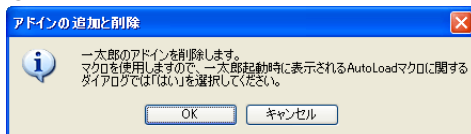
画面6-41: PowerPointのアドイン削除確認メッセージ

PowerPointからOCR機能が削除されます。

●「一太郎」の場合

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。



画面6-42: 一太郎のアドイン削除確認メッセージ

一太郎が自動的に起動され、AutoLoadマクロに関する確認メッセージが表示されます。

②「はい」をクリックします。

一太郎からOCR機能が削除されます。



ポイント

AutoLoadマクロに関する確認メッセージで<いいえ>を選択すると、アドインがアンインストールされず、アンインストーラが作業を継続できません。もし、<いいえ>を選択して停止してしまった時には、アプリケーションを閉じるとインストーラが作業を続行します。その際、アドインは正しく削除されていないので、インストールしてアンインストールするか、手動でアンインストールする必要があります。

●「Adobe Acrobat」の場合

以下のメッセージが表示されます。

①<OK>ボタンをクリックします。

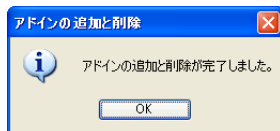


画面6-43: Acrobatのアドイン削除確認メッセージ

AcrobatからOCR機能が削除されます。

OCR機能の削除が完了すると、「アドインの追加と削除完了のメッセージ」が表示されます。

4 <OK>ボタンをクリックします。



画面6-44: アドインの追加と削除完了メッセージ

5 「読んde!!ココ アドインの追加と削除」ダイアログの<閉じる>ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



他のアプリケーションとの連携

『読んde!!ココ』を、『Document Browser』や『Document Storage』と連携させることでワークフローの効率化を図ることができます。

7.1 Document Browserへの登録

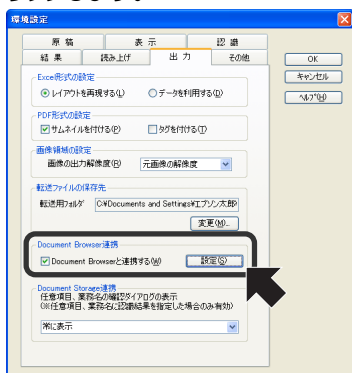
エブソン製のドキュメント管理ツール『Document Browser』のキャビネットに『読んde!!ココ』に取り込んだ画像ファイル、および認識結果を転送し、登録できます。

この機能を利用するには、『Document Browser』をお使いのネットワークサーバーへ導入し、利用可能なキャビネットが登録されている必要があります。

Document Browser連携の設定をするには

まず、『Document Browser』へ連携するためのサーバーの設定と登録するキャビネットを取得します。

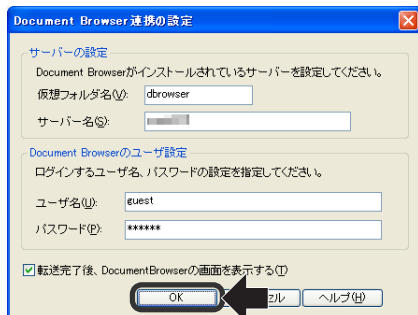
- 1 [オプション(O)]－[環境設定(E)...]を選択します。
[環境設定] ダイアログが表示されます。
- 2 [出力]タブを選択します。
- 3 [Document Browserと連携する(W)]をチェックし、<設定(S)>ボタンをクリックします。



画面7-1：[環境設定－出力] ダイアログ

[Document Browser連携の設定]ダイアログが表示されます。

- 4** サーバーおよびアカウント情報を設定し、＜OK＞ボタンをクリックします。



画面7-2: [Document Browser連携の設定] ダイアログ

設定情報については、サーバーの管理者にお尋ねください。

ダイアログの詳細は、＜ヘルプ(H)＞ボタンをクリックしてヘルプで確認してください。

＜OK＞ボタンをクリックすると、[環境設定-出力] ダイアログに戻ります。

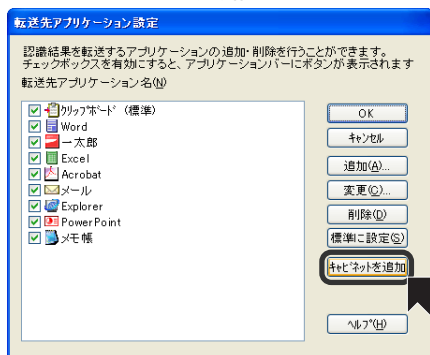
- 5** [環境設定-出力]ダイアログの＜OK＞ボタンをクリックします。

『Document Browser』との連携の準備が整いました。

キャビネットへの転送設定をするには

『Document Browser』のキャビネットは、必要に応じてアプリケーションバーに複数登録できます。あらかじめ異なる転送設定をもったキャビネットボタンをアプリケーションバーに登録しておくことで、簡単に転送するキャビネットを切り替えられます。

- 1** [オプション(O)]－[転送先アプリケーション設定(C)]コマンドを選択します。
[転送先アプリケーション設定] ダイアログが表示されます。
- 2** <キャビネットを追加>ボタンをクリックします。

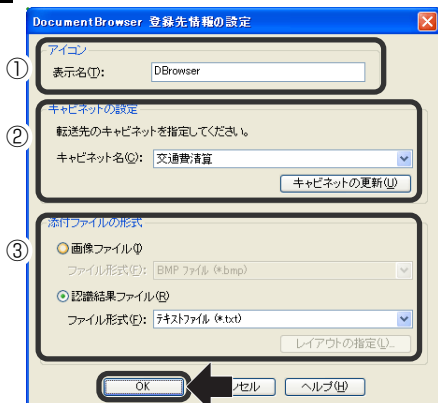


画面7-3: [転送先アプリケーション設定] ダイアログ

注意

<キャビネットを追加>ボタンは、『Document Browser』の設定が正常に行われている場合のみ表示されます。

[DocumentBrowser 登録先情報の設定] ダイアログが表示されます。

3 以下の手順で設定をして<OK>ボタンをクリックします。

画面7-4: [DocumentBrowser 登録先情報の設定] ダイアログ

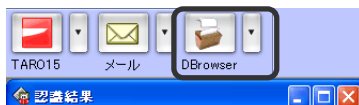
- ① アプリケーションバーに登録するボタンに表示する表示名を入力します。
- ② 登録先のキャビネット名を一覧から選択します。
 <キャビネットの更新(U)>ボタンをクリックすると、『Document Browser』に公開されているキャビネット名を再取得し、[キャビネット名(C)]のリストを更新します。
- ③ 登録する添付ファイルの形式を[画像ファイル(I)]または[認識結果ファイル(R)]から選択し、それぞれの一覧から選択しておきます。

ダイアログの詳細は、<ヘルプ(H)>ボタンをクリックしてヘルプで確認してください。

<OK>ボタンをクリックすると、転送先アプリケーションの一覧に追加されます。

4 アプリケーションバーに登録するときは、このボタン名にチェックを付けて、<OK>ボタンをクリックします。

登録先のキャビネットに対応したボタンがアプリケーションバーに追加されます。

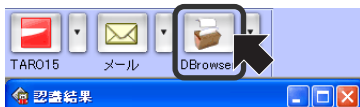


画面7-5: 『Document Browser』への転送ボタンを登録

キャビネットに登録するには

『Document Browser』のキャビネットに画像ファイルあるいは認識結果を転送します。

- 1 『Document Browser』への転送設定を登録したアプリケーションバーのボタンをクリックします。



画面7-6:『Document Browser』への転送設定を登録したボタンをクリック

認識結果／画像が指定のキャビネットに転送されます。

- 2 必要に応じて、添付ファイル以外の項目も設定しく保存＞ボタンをクリックして登録します。



画面7-7:『Document Browser』キャビネットの登録

転送後の操作や『Document Browser』画面は、キャビネットの構成や転送設定により異なります。なお『Document Browser』の操作方法是、『Document Browser』のマニュアルを参照してください。

7.2 Document Storageへの登録

エブソン製のドキュメント管理ツール『Document Storage』のFileBoxに『読んde!!ココ』に取り込んだ画像ファイル、および認識結果を転送し、登録できます。

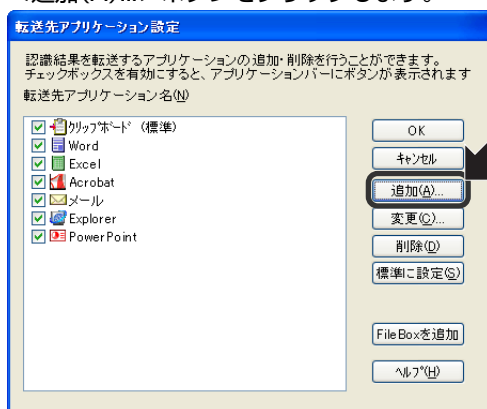
この機能を利用するには、『Document Storage』がお使いのコンピュータにインストールされており、利用可能なFileBoxが登録されている必要があります。

登録先を毎回指定して転送するには

『読んde!!ココ』から、『Document Storage』にデータ転送する際、『Document Storage』の登録先を毎回指定して登録する方法を説明します。

まず『読んde!!ココ』に『Document Storage』をアプリケーション登録する必要があります。この作業は最初に1度だけ行います。登録が終わっているときは、次項の「認識結果の転送」に進んでください。

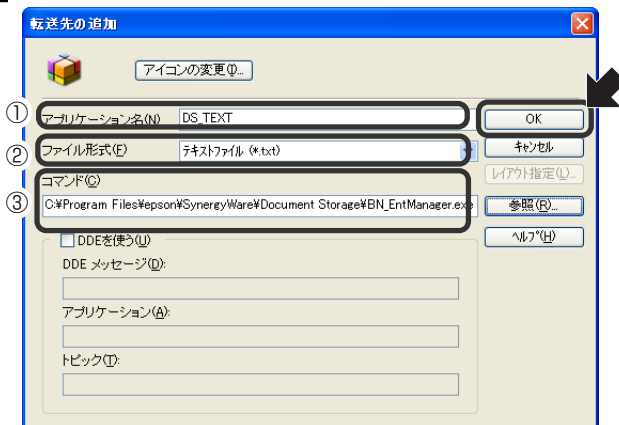
- 1 [オプション(O)]－[転送先アプリケーション設定(C)]コマンドを選択します。
[転送先アプリケーション設定]ダイアログが表示されます。
- 2 <追加(A)...>ボタンをクリックします。



画面7-8: [転送先アプリケーション設定] ダイアログ

[転送先の追加] ダイアログが表示されます。

- 3** 以下の手順で設定をして<OK>ボタンをクリックします。

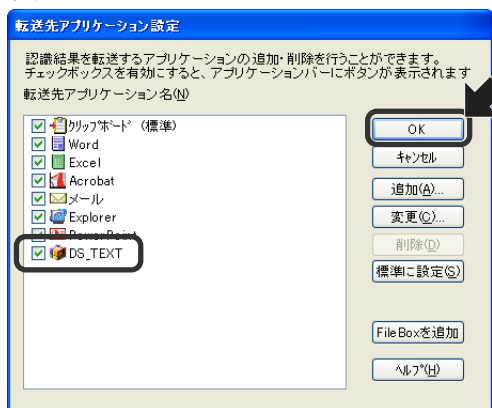


画面7-9: [転送先の追加] ダイアログ

- ① [アプリケーション名(N)] を任意に入力します。この名前は、登録後に転送ボタンの下に表示されます。
- ② [ファイル形式(F)] を一覧から選択します。
- ③ [コマンド(C)] には、[参照(R)...] ボタンをクリックし、『Document Storage』のインストールフォルダにあるBN_EntManager.exeを指定します。

[転送先アプリケーション設定] ダイアログに戻ると、設定が追加されています。

- 4** 追加されたアプリケーション名にチェックし、<OK>ボタンをクリックします。



画面7-10: [転送先アプリケーション設定] ダイアログ

アプリケーションバーにボタンが登録されます。



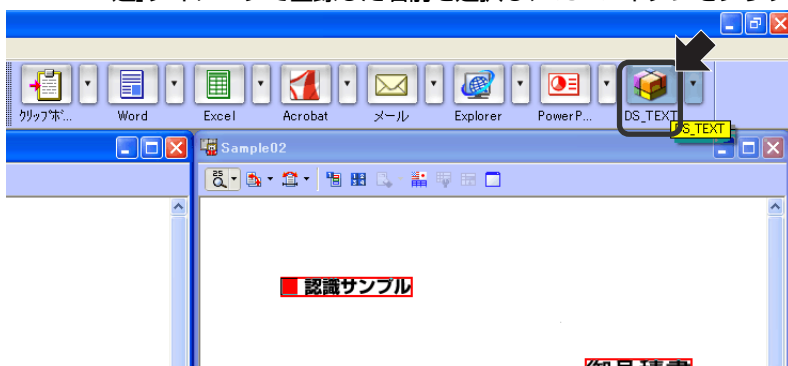
画面7-11: アプリケーションバーにボタンが登録された

ここまでで『読んde!!ココ』へのアプリケーション登録が完了しました。
つづいて、認識結果を転送するには次のようにします。

●認識結果の転送

- 1 読み込んだ画像または、画像と認識結果の両方が表示されている状態で、登録した名前のボタンをクリックします。

MENU [ファイル(F)] – [認識結果を転送(C)...]で表示される[認識結果の転送]ダイアログで登録した名前を選択し、<OK>ボタンをクリック



画面7-12: 『Document Storage』へ転送を開始

[Offirio SynergyWare - Document Storage データ登録] ダイアログが表示されます。

- 2** 各項目を設定して、＜OK＞ボタンをクリックします。

画面7-13: [Offirio SynergyWare - Document Storage データ登録] ダイアログ

『Document Storage』にデータが転送され、登録元ファイルを削除するか確認メッセージが表示されます。

- 3** 削除してよいときは＜はい(Y)>を、残しておくときは＜いいえ(N)>ボタンをクリックします。

画面7-14: 確認メッセージ

- 4** メッセージの＜OK＞ボタンをクリックし、メッセージを閉じます。

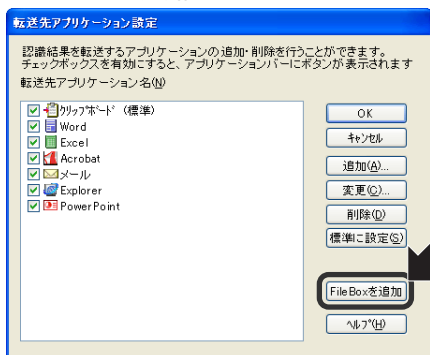
画面7-15: 転送完了メッセージ

登録先をあらかじめ設定するには

『Document Storage』への転送設定は、分類するFileBoxごとにアプリケーションバーに複数登録できます。あらかじめ異なる転送設定をもったボタンをアプリケーションバーに登録しておき、FileBoxを切り替えて転送することもできます。また認識結果を転送する場合には、指定した認識枠の認識結果文字列を使って転送先を振り分けさせることもできます。

1 [オプション(O)]－[転送先アプリケーション設定(C)]コマンドを選択します。
[転送先アプリケーション設定] ダイアログが表示されます。

2 <FileBoxを追加> ボタンをクリックします。



画面 7-16: [転送先アプリケーション設定] ダイアログ

注意

- <FileBoxを追加> ボタンは『Document Storage』が正常にインストールされている場合のみ表示されます。
- 認識結果による振り分けは、Document Storage 1.2以降が必要です。

[Document Storage 登録先情報の設定] ダイアログが表示されます。

3 以下の手順で設定をして<OK>ボタンをクリックします。

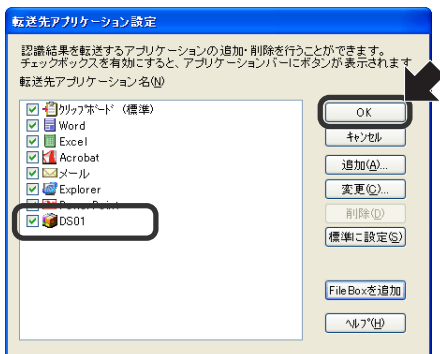
画面7-17: [Document Storage 登録先情報の設定] ダイアログ

- ① アプリケーションバーに登録するボタンに表示する表示名を入力します。
- ② 登録先として、サーバ／ローカルのいずれかを選択します。
- ③ 業務情報を選択します。[任意項目 (M)]、[業務名 (T)]、[コメント (K)] は認識結果の一部を使って自動で振り分けて入力させることもできます。
- ④ 必要に応じてセキュリティの設定をします。
- ⑤ 登録する添付ファイルの形式を [画像ファイル (G)] または [認識結果ファイル (R)] から選択し、それぞれの一覧から選択しておきます。なお、③で [任意項目 (M)]、[業務名 (T)] のいずれかに、指定した認識枠の認識結果を選択している場合や [コメント (K)] に認識結果を使用するを選択している場合には [画像ファイル (G)] は選べません。

ダイアログの詳細は、<ヘルプ (H)> ボタンをクリックしてヘルプで確認してください。

<OK> ボタンをクリックすると、[転送先アプリケーション設定] ダイアログの一覧に登録した表示名で追加されます。

4 チェックを付けて、＜OK＞ボタンをクリックします。



画面7-18:『Document Storage』ボタンを追加

＜OK＞ボタンをクリックすると、登録先のFileBoxに対応したボタンがアプリケーションバーに追加されます。



画面7-19: Document Storageへの転送ボタンを登録

●FileBoxに登録するには

『Document Storage』のFileBoxに画像ファイルあるいは認識結果を転送します。

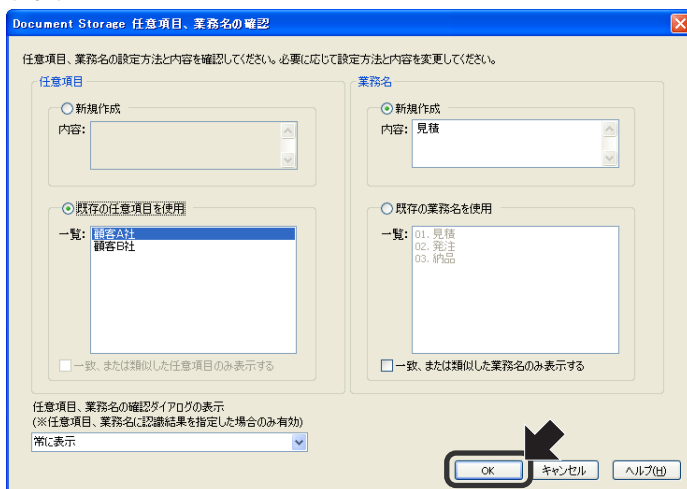
1 『Document Storage』への転送設定を登録したアプリケーションバーのボタンをクリックします。



画面7-20:『Document Storage』への転送を選択

指定した認識枠の認識結果文字列を使って登録先を振り分ける場合には、[Document Storage 任意項目、業務名の確認] ダイアログが表示されます。

- 2** 登録先を新規作成するか既存の一覧から選択して<OK>ボタンをクリックします。



画面7-21: [任意項目、業務名の確認] ダイアログ

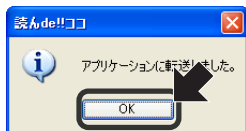


ポイント

画像を転送するときや、認識結果の転送先を固定しているとき、また[環境設定－出力]ダイアログの[Document Storage連携]の設定によっては、このダイアログが表示されません。ダイアログの詳細は、<ヘルプ(H)>ボタンをクリックしてヘルプで確認してください。

認識結果／画像がFileBoxに登録されます。

- 3** メッセージの<OK>ボタンをクリックし、メッセージを閉じます。



画面7-22: 転送完了メッセージ

8

アンインストール

『読んde!!ココ』を使わなくなった場合や、正常に動作しなくなった場合などは、アンインストールをします。

ここでは、Windows XPでのアンインストールの方法を説明します。



注意

『読んde!!ココ』のアンインストールは、管理者権限を持っているユーザーにて実行してください。

1 [スタート]－[コントロールパネル]を選択します。

2 [プログラムの追加と削除]をクリックします。



ポイント

Windows 2000の場合は、[スタート]－[設定]－[コントロールパネル]を選択し、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。Windows Vistaの場合は、[スタート]－[コントロールパネル]を選択し、[プログラムのアンインストール]をクリックします。

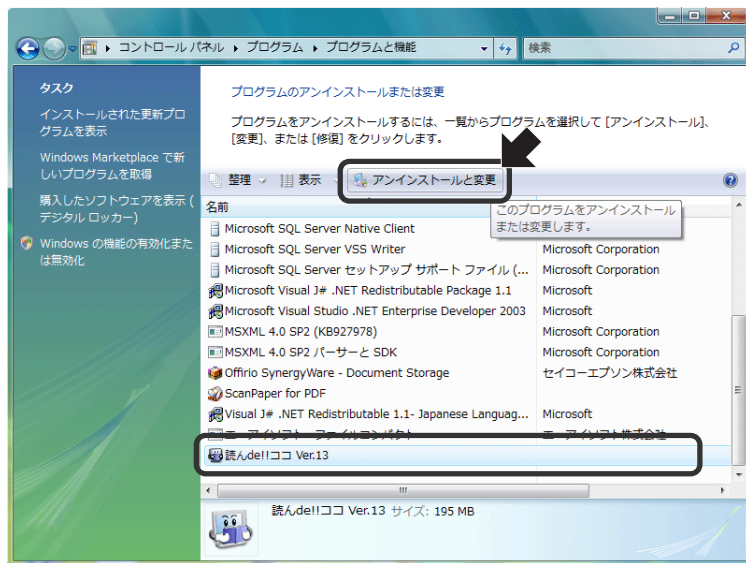
3 『読んde!!ココ Ver.13』を選択し、＜変更と削除＞ボタンをクリックします。



画面8-1: [プログラムの追加と削除] ダイアログ

ポイント

Windows Vistaの場合は、下図の[プログラムと機能]画面で『読ん de!! ココ Ver.13』を選択し、＜アンインストールと変更＞をクリックすると、[ユーザーアカウント制御]画面が表示されるので＜続行＞ボタンをクリックします。



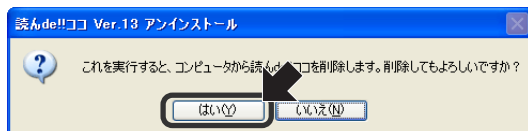
画面8-2: [プログラムと機能]画面



参照 P.11 「4. Windows Vistaでのご利用上の注意」

ボタンをクリックすると、アンインストールの確認メッセージが表示されます。

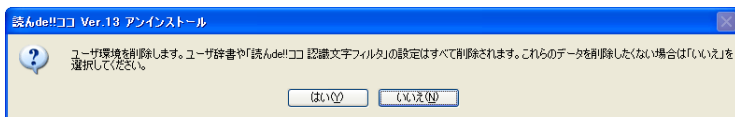
4 『読ん de!! ココ』を削除する場合は、＜はい＞ボタンをクリックします。



画面8-3: アンインストールの確認メッセージ

ユーザ辞書や認識文字フィルタのデータ削除の確認メッセージが表示されます。

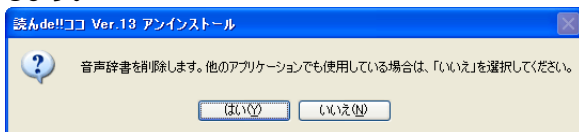
- 5** 辞書などのユーザデータを削除する場合は<はい>を、残す場合は<いいえ>ボタンをクリックします。



画面8-4: ユーザデータ削除の確認メッセージ

音声辞書をインストールしている場合は、音声辞書の削除確認を行うメッセージが表示されます。

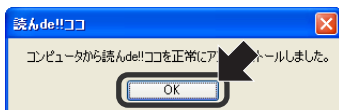
- 6** 音声辞書を削除する場合は<はい>を、残す場合は<いいえ>ボタンをクリックします。



画面8-5: 音声辞書の削除の確認メッセージ

いずれかのボタンをクリックすると、アンインストールが開始されます。ファイルの削除が終了すると、メッセージが表示されます。

- 7** <OK>ボタンをクリックします。



画面8-6: アンインストールの確認メッセージ

以上で、『読んde!!ココ』のアンインストール作業は終了です。

付 録

日本語／英語活字 OCR

読んde!!ココ

付録 A. ヒント集

付録 B. トラブルシューティング

付録A. ヒント集

認識について

Q.1 認識結果が悪い。

A 下記点を確認してください。

サンプル原稿でお試してください。サンプル画像は『読んde!!ココ』のインストール先(変更していない場合は、C:\Program Files¥Aisoft¥Yonde)のSampleフォルダに格納しています。

1. サンプル原稿で文字が化ける場合

- ① 『読んde!!ココ』が正常動作していない可能性があります。
『読んde!!ココ』のアンインストール、再インストールをお試してください。
アンインストールについては、[P.170](#)をご覧ください。
- ② 認識パラメータの設定で「飾り文字を認識する」にチェックが入っている場合は、チェックを外してください。
※白黒反転等の飾り文字でない場合で、「飾り文字を認識する」にチェックが入っていると認識できません。

2. サンプル原稿では問題が発生しない場合

- ① ご利用の原稿/画像が認識に不向きな原稿である可能性があります。
(詳しくは[P.79](#)よりご確認ください)
- ② 取り込んだ画像の状態を確認してください。
【画像の向きや傾きに問題がある場合】
[表示]－[回転]／[傾き補正]より修正をしてください。(詳しくは[P.56](#)、[P.58](#)をご覧ください)
【画像にノイズがある場合】(ノイズ=文字認識に影響を及ぼす汚れや余分な線など)
[編集]－[画像の編集]より[ノイズの除去]を実行してください。
(詳しくは、[P.83](#)をご覧ください)
- ③ 領域抽出が正しく行なわれていない可能性があります。
「自動領域抽出」を行っても正しく抽出されなかった場合は、原稿によって手動で認識枠を作成してください。(詳しくは、ヘルプをご覧ください)
- ④ 認識パラメータの設定に誤りがある可能性があります。
「モード」「スタイルの設定」が原稿にあった設定になっているか確認ください。
(詳しくは、[P.65](#)、[P.101](#)をご覧ください)

Q.2 候補文字に修正したい文字がないので登録したい。

A 誤りパターン辞書に文字の登録をしてください。

誤りパターン辞書については第2部 応用編マニュアルのP.39をご覧ください。

Q.3 文字が分割されて認識してしまう。

A 分割認識された文字を結合して、再認識させることができます。詳しくは、第2部 応用編マニュアルのP.71「文字を結合して再認識させるには」をご覧ください。

「文字の結合」でも回避できない場合は、手入力で修正してください。

Q.4 文字が結合されて認識してしまう。

A 2つの文字イメージが1つの文字として誤認識してしまった場合には、1文字として認識された文字を分割して、再認識させることができます。詳しくは、第2部 応用編マニュアルのP.71「文字を分離して再認識させるには」をご覧ください。

「文字の分離」でも回避できない場合は、手入力で修正してください。

Q.5 JIS第2水準の認識対象文字を知りたい。また、それ以外の文字を認識したい。

A 認識対象となるJIS第2水準の文字は、[P.8「基本仕様」](#)を参照してください。「読んde!!ココ 認識文字フィルタ」をご利用になることにより認識対象とする文字を追加することができます。

また、「読んde!!ココ 認識文字フィルタ」にて管理されている文字以外を認識する場合には、ユーザ辞書に登録してください。ユーザ辞書については第2部 応用編マニュアルP.26「2.1 ユーザ辞書を利用する」を参照してください。

出力について

Q.1 複数の認識結果をまとめて1つのファイルに保存したい。

A 下記の手順をお試しください。

- 1 『読んde!!ココ』を起動(スマートナビを利用している場合は、「ステップで認識」)
- 2 原稿(画像)を入力し、認識を実行します。
- 3 認識結果が表示されたら、左側の画像を確認しながら文字修正を行います。
- 4 修正完了後、認識結果を転送/保存せず、次の画像に対して同様の手順で認識実行します。必要回数繰り返し行います。

- ⑤ 『読んde!!ココ』の画面左の画像リスト(P.44画面構成参照)に、認識実行を行った画像が表示されます。
- ⑥ 画像リストから、**[Shift]**キーや**[Ctrl]**キーを押しながら、すべての画像を選択します。
- ⑦ すべての画像が選択された状態で、アプリケーションに転送する場合は、アプリケーションボタンをクリックし、保存する場合は、**[ファイル]**－**[認識結果を保存]**で保存をします。
ファイル形式をPDF形式[標準/透明テキスト]にした場合、"結果を追加して保存する"は有効になっていませんが、そのまま保存をしてください。

Q.2 認識結果を既存のファイルに追加して保存したい。

- A** **[ファイル]**－**[認識結果を保存]**でファイル保存をする際、「結果を追加して保存する」にチェックを入れた状態で保存をしてください。
一太郎形式、HTML(CSS)、PDF形式、Excel形式以外は保存できます。

Q.3 認識結果をPDF形式で出力する場合にファイルサイズを小さくする方法は？

- A** 『読んde!!ココ』で出力されるPDFファイルのファイルサイズは、スキャナからの取り込み時の解像度や、利用する画像/PDFによって変わります。
『読んde!!ココ』で出力されるPDFファイルのサイズは、画像の出力解像度を低く設定することでファイルサイズを小さくできます。
画像の出力解像度を変更するには、**[オプション]**－**[環境設定]**の**[出力]**タブを選択し、**[画像領域の設定]**で**[画像の出力解像度]**を小さい値に設定してください。
ただし、あまり低い解像度で出力すると、サイズは小さくなりますが、見た目の画像が粗くなるので、ご注意ください。(詳しくは第2部 応用編マニュアルのP.139をご覧ください)

転送関連

Q.1 Word/一太郎へ転送すると、テキスト枠が作成されてしまうので消したい。

- A** 転送するときのファイル形式を、**[txt]**または**[rtf(段組み)]**にします。ファイル形式を選択するには、アプリケーションバーのWord/一太郎ボタン右側の▼ボタンをクリックし、表示されるメニューからファイル形式を選択します。
ただし、元のデータのイメージどおりにはレイアウトが再現できない場合があります。より画像データのイメージに近くしたい場合は、**[rtf(レイアウト)]**を選択します。

Q.1 複数の原稿(画像)を連続して取り込み、認識結果を1つのファイルにまとめて保存したい。

A 「OCRファクトリー」の[結果]の設定で「保存方法」を「1つのファイルにまとめて保存」に設定します。

Q.2 複数のマルチTIF／PDFを入力原稿利用しているが、認識結果を入力原稿ファイル単位で保存したい。

A 出力形式にTXT、RTFを利用する場合には、認識結果のファイル名を、「認識画像ファイル名」で保存することにより入力原稿単位に保存することができます。

※出力形式に、XLS、PDF形式を選択している場合にはこの方法はご利用いただけません。Ver.12まで、「1原稿につき1ファイルで保存」がありましたが、Ver.13よりこの設定はサポート外になりました。

Q.3 ADF機能が利用できないスキャナで連続して取り込みたい。

A 「AI SmartScanパネル」を利用できるスキャナの場合は、間欠スキャンの設定が可能です。

「AI SmartScanパネル」の「取り込み方法」で「一定時間待って取り込む」を設定してください。

(詳しくは、AI SmartScanパネルのヘルプをご覧ください)

「AI SmartScanパネル」が利用できないスキャナの場合は、「OCRファクトリー」の最後のステップで「繰返し」にし、スキャナドライバの画面にある<スキャン>ボタンをクリックしてください。

Q.4 旧バージョンの連続処理情報ファイルを使いたい。

A 下記の手順にてお試しください。

① 「OCRファクトリーの設定ダイアログ」のタイトルバーにあるアイコンをクリックします。

② 「旧バージョン設定ファイルの読み込み」を選択します。

③ <参照>ボタンから旧バージョンで作成した設定ファイルを選択して<開く>ボタンをクリックします。

④ 「タイトル」に、タイトル一覧に表示するタイトルを入力し、<OK>ボタンをクリックします。

Q.5 『OCRファクトリー』の設定ファイルのバックアップ方法は？

A 下記の手順をお試しください。

＜設定ファイルバックアップ方法＞

- 1** ユーザ環境のTEMPLATEフォルダ内のファイルをすべて任意のフォルダにバックアップをとってください。

例) C:¥Documents and Settings¥ユーザ名¥Application Data¥Aisoft¥Yonde¥TEMPLATE

Windows Vistaの場合は、C:¥Users¥ユーザ名

¥AppData¥Roaming¥Aisoft¥Yonde¥TEMPLATE

＜設定ファイルの戻し方＞

- 1** 『読んde!!ココ』再インストール後に『読んde!!ココ』を起動して、ユーザ環境(フォルダ)再作成後、『読んde!!ココ』を終了します。

- 2** **1** で保存した設定ファイル(.Yda)を新たに作成したユーザ環境のTEMPLATEフォルダに上書きコピーしてください。

Q.6 『OCRファクトリー』のはじめに選択した設定を変更せずに実行した場合、画像の保存や認識結果のファイルはどこに保存されるのか？

A マイドキュメントに保存します。設定を変更した場合は、設定した場所に保存されます。

アドイン機能関連

Q.1 Acrobatで複数のPDFを指定して認識したい。

A できません。

ひとつのPDFの複数ページは可能です。

画像ファイルかスキャナからの認識のみ複数ページに対応しています。

Q.2 Acrobatのアドインで自動実行すると、認識結果の保存先がわからない。

A PDFファイルの中に標準もしくは透明テキスト形式で保存されます。Acrobatに戻った画面上に表示されているPDFファイルが認識結果となります。

その他

Q.1 「転送結果」フォルダに保存されているファイルを削除したい。

A エクスプローラやマイコンピュータを起動し、転送結果が保存されているフォルダ([オプション]－[環境設定]の[出力]タブ内にある「転送ファイルの保存先」にて確認してください)を開き、不要なファイルを削除してください。

Q.2 縦書きの原稿なので、認識結果も縦書きで表示させたい。

A [オプション]－[環境設定]の「結果」タブで、認識結果ウィンドウの書式を「縦書き」に設定してください。

Q.3 [作業フォルダ]と[転送ファイルの保存先]を一緒にしたい。

A 一緒にはできません。違うフォルダを指定してください。

Q.4 画像リストの登録できる画像の枚数は？

A 『読んde!!ココ』の画像リストに登録できる枚数は、500枚までとなります。ただし大量の画像を登録した上で連続処理を行った場合、OSや出力形式によっては処理が中断される場合があります。

Q.5 OSアップグレード時の注意点は？

A 『読んde!!ココ』がインストールされているPCにて、Windows Vistaへのアップグレードを行った場合、一部設定の再設定が必要になります。

以下の設定は再度設定を行ってください。

- OCRファクトリーでの認識結果の保存先
- 作業フォルダおよび転送フォルダを変更している場合の場所
- 標準以外のユーザ認識辞書を利用している場合の辞書の場所
- Document Storageと組み合わせて利用している場合の転送設定

※ Document StorageはVistaへのアップグレードをサポートしていないためデータベースの再構築が必要になりますが、その場合『読んde!!ココ』にて設定したFileBoxなどの情報が無効になります。

ここに含まれていない情報に関しては、エーアイソフト製品総合サイトで提供されているQ&Aをご覧ください。Q&Aを表示するには、『読んde!!ココ』のメニューから[ヘルプ(H)]－[Web Q&A(W)]を選択するか、『スマートナビ』を起動し、画面右下のウェブサイト欄から<WebQ&A>ボタンをクリックします。

付録B. トラブルシューティング

インストール関連

Q.1 アップグレード版をインストールしようとしたが、旧バージョンのCD-ROMもしくはダウンロード版を紛失してしまってインストールができない。

A P.31をご確認ください。

Q.2 製品のインストール中「シリアル番号」、「ライセンスキー」を入力したいが、どこに記載されているかわかりません。

A パッケージ製品の場合、「ご愛用者登録カード」の裏面上部に記載されています。

また、ダウンロード製品の場合は、ご購入の際に販売サイトから「シリアル番号」、「ライセンスキー」が通知されます。ご確認ください。

Q.3 インストールの際「シリアル番号」と「ライセンスキー」を入力したが、「正しく入力してください」と表示されました。

A シリアル番号とライセンスキーが違っている可能性があります。「ご愛用者登録カード」の裏面上部に記載されている「シリアル番号」と「ライセンスキー」を再度確認してください。「シリアル番号」は数字のみ、「ライセンスキー」は0、1、9を除く数字とアルファベットの組み合わせで構成されています。

Q.4 パソコンをフォーマットする場合、再度インストールする時に「シリアル番号」、「ライセンスキー」の入力は必要ですか？

A 必要です。

万一の場合に備えて「ご愛用者登録カードお客様控え」または、ダウンロード製品購入時に販売サイトから受け取ったメールは大切に保管してください。また、本書『サポートサービス総合案内』にある『お客様ご利用欄』では、必要な情報を書き込むことができます。ぜひご利用ください。

Q.5 複数台のパソコンにインストールして使用できますか？

A 「ソフトウェア使用許諾契約書」の「使用条件」をご確認ください。使用条件を超える台数でご利用になる場合は、製品の追加購入が必要です。

Q.1 EPSON SMART PANELから起動ができない。

- A** エプソン製スキャナに添付されている『読んde!!ココ』につきましては、エプソン製スキャナ専用のOCRソフトになりますので、エプソン社のスキャナ操作パネル上からのOCR(読んde!!ココ)の呼び出しに対応しております。『読んde!!ココVer.13』につきましてはエプソン専用ではないために、エプソン社のスキャナ操作パネルからの呼び出しには対応しておりません。
- ショートカット等で『読んde!!ココVer.13』を起動して、OCR作業を行ってください。

画像データの取り込み関連

Q.1 「スキャナでエラーが発生しました」と表示され、取り込みができない。

- A** 下記点を確認してください。
- 1** スキャナの電源が入っていないか、正しく接続されていない、または異なったスキャナが選択されている可能性があります。
スキャナの電源、接続についてはスキャナの取扱説明書を参照して確認してください。
 - 2** ご使用のスキャナドライバ(TWAIN)が選択されているか確認してください。
現在選択されているスキャナは[ファイル(F)]－[スキャナの選択(S)...]コマンドで確認できます。
 - 3** 以下の①または②のどちらかの方法で、他のアプリケーションからスキャナの取り込みができるか確認してください。
 - ① イメージングでスキャナのドライバがTWAINドライバに選択されていることを確認し、取り込みができるかどうか確認します。
 - ② スキャナ付属のソフトで取り込みができるかどうか確認します。

※上記の点を確認しても同じ現象の場合は、TWAINドライバが正常にインストールできていない可能性が高いので、スキャナメーカーにご確認の上、TWAINドライバの再インストールをしてください。
 - 4** スキャナメーカーより最新のTWAINドライバを入手してください。

Q.2 スキャナが動かない。

- A** 異なったスキャナが選択されているか、スキャナのドライバが正しくインストールされていない可能性があります。[スキャナの選択]ダイアログで、使用するスキャナが選択されているか、確認してください。スキャナのドライバのインストールについては、スキャナ付属の取扱説明書で確認してください。

Q.3 WIAドライバから取り込みができない。

- A** TWAINドライバからの取り込み、もしくは、画像からの取り込みを行ってください。WIAおよび[WIA]で始まるスキャナが表示されている場合には両方のスキャナを試してください。
動作確認済スキャナについては、パッケージおよび弊社サイト「OCR World」にて確認してください。

Q.4 ワンタッチ認識で連続処理中に、スキャナのエラーが発生する。

- A** 『読んde!!ココ』のメニューから[ファイル(F)]-[スキャナから読み込む(R)]を選択し、以下の設定で取り込んでください。
モード : 白黒
解像度 : 400dpi
原稿種別: ワープ原稿

Q.5 スキャナからの取り込みで「読み込み形式が違いため読み込めません」と表示され、取り込みができない。

- A** 『読んde!!ココ』で取り込める画像データの形式ではない可能性があります。『読んde!!ココ』では、モノクロ(2値)、16階調、256階調、フルカラー(24bit)の形式の画像データしか取り込めないため、設定を確認してください。

Q.6 「ファイル形式が違いため読み込めません」と表示され、画像データが開けない。

- A** 『読んde!!ココ』で読み込める画像ファイルの形式ではありません。読み込める画像ファイルの形式は、BMP、TIFF(非圧縮・MH圧縮・PackBits圧縮、G4圧縮、JPEG圧縮)、PDF、PCX、JPEG、PNG、EasyFaxファイルです。

Q.7 取り込み時に「解像度の値が正しくありません」と表示される。

- A** 設定された解像度の値が50～2400dpiの範囲外である可能性があります。解像度を水平・垂直ともに50～2400dpiの範囲内で指定してください。

Q.8 『エプソンサーバースキャン』で「入力された内容が正しくありません。サーバーに接続することができません」と表示される。

A 『エプソンサーバースキャン』の設定内容が正しくありません。コピーサーバーの取扱説明書を参照するか、またはネットワーク管理者におたずねください。

Q.9 ScanComposerでスキャンする際に、JPEGかつ複数ページの設定でスキャンすると、スキャンデータの一覧にスキャンされたデータが表示されない。

A ScanComposerでスキャンする際に、複数ページの設定でスキャンするには、PDFもしくはTIFF形式で保存するようにしてください。(JPEGかつ複数ページの設定の場合、ひとつのZIPファイルにスキャンされたデータがまとめられます。ただし、読んで!!ココでは読み込めない形式であるため、一覧に表示されません。)

認識について

Q.1 設定した認識枠が、意図せずに位置や大きさが変わってしまう。

A 「認識領域のずれを補正する」の機能が働いている可能性があります。[環境設定－認識]タブにある「認識領域のずれを補正する」のチェックを外して状況に変化がないか確認してください。

Q.2 英文を認識させたが、単語間にスペースが入らない。または、認識結果に漢字/カナが混ざってしまう。

A 「認識パラメータの設定」を確認ください。モードは「英語」に設定してください。作成された枠ごとに「認識パラメータの設定」を確認ください。
詳しくは、[P.101](#)をご覧ください。

Q.3 日英文字混在の画像を認識すると記号が半角になる。

A 認識パラメータの設定で、モード「日英混在」に設定して認識を実行すると、日本文の文字は全角で表示されますが、「。」「」「・」など全角の記号は半角に変換されている場合があります。

詳しくは、第2部 応用編マニュアルのP.134をご覧ください。上記の記号にチェックが付いていれば必ずしてください。

Q.4 表原稿の認識ができない。レイアウトが再現できない。

A 罫線抽出が正しくできていない可能性があります。

罫線がない、または点線の下線付き文字の原稿では罫線抽出が正しくできない場合があります。「自動罫線抽出」を行っても正しく罫線が抽出できない場合は、[編集] - [表罫線の編集] より手動で表罫線を設定してください。

(詳しくは、[P.108](#)をご覧ください)

Q.5 ルビの認識ができない。

A ルビの認識は、ルビの状態(サイズや位置)によって正しく認識できない場合があります。下記点を確認ください。

- ① 本文とルビの文字サイズが同じくらいの大きさである場合
- ② 本文の先頭文字とルビの先頭文字が一緒の場合
- ③ 『読んde!!ココ』がルビとして判断できない場合は、手動で修正を行ってください。

Q.6 点線の下線付き文字が認識できない。

A 下線種は実線のみ対応となります。

Q.7 数式が認識できない。

A 数式の認識はできません。

Q.8 表、罫線を含む原稿で、認識精度が不安定になってしまう。

A スキャナに原稿を設置する際の微妙な傾きや、ズレ、画像の編集状況によって結果に影響する場合があります。

下記点を注意して再度取り込んでみてください。

- ① 取り込む時の解像度を400dpiで取り込んでから認識実行します。
- ② 罫線抽出を実行しているかどうか確認してください。
罫線抽出が正常にできていない場合は、表罫線抽出にてきちんと罫線が抽出されているか確認してください。
- ③ セル単位にてパラメータの設定を行ってから認識を実行してください。
原稿依存で発生する場合は、認識後修正などを行ってください。

Q.9 スキャナで取り込んだ原稿の認識率が極端に悪くなる。

A 画像の取り込み設定が原稿に合っていない可能性があります。また、スキャナドライバとして、WIAドライバとTWAINドライバの両方がインストールされている場合は、TWAINドライバを選択することで改善されることがあります。解像度は、400dpiに設定してスキャンしてください。

Q.10 認識枠内を勝手に段組判定されてしまう。認識枠内には、段組がないにもかかわらず、段組の判断をしてしまい、文字の並び順がおかしくなってしまう。

A 認識パラメータの設定で[段組み]の設定を[なし(N)]に設定してください。

Q.11 カラー原稿を取り込んだが、認識結果の画像が白黒になってしまう。

A 下記点を確認ください。

① 「画像編集」機能を利用した場合は白黒画像に変換されます。

(詳しくは、[P.60](#)、[P.88](#)をご覧ください)

白黒変換した画像を元に戻すことはできませんのでご注意ください。

② 「ワンタッチ認識」を利用している場合、モードが白黒に固定されています。

カラーで出力はできません。

※カラー原稿を取り込み、画像部分をカラーで出力する場合は『読んde!! ココ』本体もしくは「OCRファクトリー」をご利用ください。

Q.12 JISコード以外の文字が認識できない。

A 『読んde!! ココ』ではJISコード以外の文字は認識できません。また認識結果ウィンドウでも表示できません。

認識結果の転送関連

Q.1 「アプリケーションを起動することができません」と表示される。

A 転送先として指定されたアプリケーションの情報を取得できなかった可能性があります。指定したアプリケーションを起動してからもう一度同じ操作をしてください。

Q.2 アプリケーションバーのアイコンが「？」になってしまった。

A 転送先アプリケーションのバージョンアップをされた場合など、転送先アプリケーションの実行ファイルの場所が変更されている可能性があります。

下記の手順をお試しください。

あらかじめ、転送先アプリケーションの実行ファイルがある場所を確認しておいてください。

① [オプション]－[転送先アプリケーション設定]で[転送先アプリケーション設定]ダイアログを表示します。

② 「？」になってしまっているアプリケーション名を選択し、＜変更＞ボタンをクリックします。

- ③ [転送先の変更]ダイアログで、コマンド部分に実行ファイルへのパスを<参照>ボタンでアプリケーションの実行ファイルを指定します。
- ④ [転送先の変更]ダイアログと[転送先アプリケーション設定]ダイアログを<OK>ボタンをクリックして閉じます。

Q.3 複数ファイルを1つにまとめてExcelに転送したとき、2つ目のファイルの出力結果のレイアウトが保持されない。

- A** 2つ目のファイルの出力結果は1つ目に合わせて出力されます。
レイアウトが異なる出力結果は、個別にファイル保存するか、Excelのシートを変更しながら転送してください。

Q.4 Excelに画像を転送した際、セルが統合されたり細かく分割されてしまい、見づらい結果になってしまった。

- A** Excelに転送するファイル形式がxls形式になっているためです。xls形式で転送した場合、ページ全体のレイアウトを調整するため、表そのもののセルより細かく分割されたり複雑に統合されます。
データが必要な場合は、csv形式で転送してください。ファイル形式を選択するには、アプリケーションバーのExcelボタン右側の▼ボタンをクリックし、表示されるメニューからファイル形式を選択します。

Q.5 連続してePwareに結果を転送すると一部のページが登録されない。

- A** ePwareを起動した状態で転送をお試しください。またePwareがファイルを登録中に読んde!!ココからePwareへの転送処理を行うと、登録処理が正常に行われない場合があります。

PDF出力

Q.1 行単位で修正した認識結果をPDF出力すると修正した行が表示されない。検索されない。

- A** 『読んde!!ココ』では文字の修正を行うと、基本的に文字の位置(画像上の座標)情報がなくなってしまいます。そのため、認識結果として出力する際にPDFの場合には座標情報がないため、消えてしまいます。特に行全体を削除してしまった場合には、行の位置情報もなくなるため、座標情報がなくなり、再現できなくなります。完全に行を削除してから修正するのではなく、必要な文字のみ修正するようにしてください。

Q.2 認識結果をPDF形式で出力したが文字検索ができない。

- A** 『読んde!!ココ』で出力したPDFに対して他社製検索ソフトで検索をかけても目的の文字がヒットしない場合があります。文字の位置情報の解釈が異なる場合があります。Acrobat Reader等で確認してください。

辞書関連

Q.1 認識辞書を登録する時に「文字イメージを作成することができません」と表示される。

- A** 登録しようとしている文字イメージが枠外にある可能性があります。枠内に文字イメージが正しく収まるよう、赤い枠を指定してください。

Q.2 誤りパターン辞書に登録する時に「同じ文字からなるパターンは登録できません」と表示される。

- A** パターンの元の文字と追加文字に同じ文字が指定されている可能性があります。パターンの元の文字と追加文字を異なる文字に変えてから追加処理を行ってください。

Q.3 誤りパターン辞書に登録する時に「このパターンはすでに登録されています」と表示される。

- A** このパターンはすでに指定された辞書に登録されている可能性があります。同じパターンを登録することはできません。

Q.4 誤りパターン辞書に登録する時に「これ以上この文字に対するパターンは登録できません」と表示される。

- A** 同一の文字に登録できるパターン数は最大9パターンまでとなります。現在指定されている元の文字にはすでに9パターンが登録されている可能性があります。

対処方法としては次の2つあります。

- 1 現在の辞書からすでに登録されているパターンを削除して別のパターンを追加してください。
- 2 誤りパターン辞書を新規に作成してその辞書にパターンを追加し、文書に応じて辞書を切り替えて使用してください。

Q.5 単語辞書に登録する時に「単語にスペースが含まれています」と表示される。

- A** 文字の間に空白が入る単語は登録できません。文字との間の空白を除去してから追加処理を行ってください。

Q.6 単語辞書に登録する時に「単語に全角文字以外が含まれています」と表示される。

A 登録できる単語は全角文字のみ単語となります。すべて全角文字に変更してから追加処理を行ってください。

Q.7 英単語の未知語を登録しようとしたら、全角文字しかできないと表示される。

A 『読んde!!ココ』のユーザー辞書への登録はすべて「全角」で登録をしてください。英単語についても同様となります。

ただし『読んde!!ココ』のユーザー辞書については、「日本語モード」でのみ有効となります。

「英語モード」で認識を実行した場合は、ユーザー辞書に登録した英単語は結果に反映されません。

Q.8 単語辞書に登録する時に「記号で始まる単語は登録できません」と表示される。

A 単語辞書に登録できる単語はアルファベット、数字、ひらがな、カタカナ、漢字で始まる全角の名詞に限られます。アルファベット、数字、ひらがな、カタカナ、漢字で始まる全角の名詞に変更してから登録処理を行ってください。

Q.9 単語辞書に登録する時に「この単語はすでに登録されています」と表示される。

A 登録しようとしている単語はすでに指定された辞書に登録されています。同じ単語を登録することはできません。

Q.10 「辞書テキストファイルのフォーマットではありません」と表示される。

A 指定された辞書テキストファイルのフォーマットではない可能性があります。指定されたフォーマットで保存されたファイルを選択してください。

Q.11 「これ以上 辞書への追加内容 を追加することはできません」と表示される。

A 1つの辞書に対しての登録限度数を超えている可能性があります。辞書への追加は、そのとき追加を行おうとしている辞書の種類によって、「文字イメージ」「パターン」「単語」のいずれかが表示されます。各辞書への最大登録数は次のとおりです。

- 認識辞書への文字イメージ : 最大3000 文字
- 誤りパターン辞書へのパターン : 最大3000 パターン
- 単語辞書への単語 : 最大3000 単語

対処方法としては次の2つが考えられます。

- ① 現在の辞書からすでに登録されている内容を削除して別の内容を追加登録してください。
- ② 辞書を新規作成して追加登録を行い、文書に応じて辞書を切り替えて使用してください。

Q.12 ユーザ辞書の作成・切り替えで「ユーザ辞書種類ではないため選択できません」と表示される。

- A** 選択できるのは、[ユーザ辞書の設定]の[選択]ページであらかじめ選択してあった辞書と同一の種類の辞書ファイルとなります。辞書種類には、「認識辞書」「誤りパターン辞書」「単語辞書」のいずれかが表示されます。他の種類の辞書を選択したい場合には、改めて[ユーザ辞書の設定]の[選択]ページでその辞書を選択しなおしてください。

Q.13 ユーザ辞書の削除をすると「ユーザ辞書種類ではないため削除できません」と表示される。

- A** 削除できるのは、[ユーザ辞書の設定]の[選択]ページであらかじめ選択してあった辞書と同一の種類の辞書ファイルとなります。辞書種類には、「認識辞書」「誤りパターン辞書」「単語辞書」のいずれかが表示されます。他の種類の辞書を削除したい場合には、改めて[ユーザ辞書の設定]の[選択]ページでその辞書を選択し直してください。

限定文字列の設定関連

Q.1 「同じ名前は登録できません」と表示される。

- A** すでに使われている限定文字列名を登録された可能性があります。別の名前で登録してください。

Q.2 「ファイルがありません」と表示される。

- A** 指定したファイルが存在しない可能性があります。存在しているファイルを指定してください。

Q.3 「空のファイルです」と表示される。

- A** 指定したファイルの中身がない可能性があります。限定文字列の書かれているファイルを指定してください。

Q.4 「限定文字列ファイルとして利用できません」と表示される。

- A** 指定したファイルは限定文字列として利用できないファイルである可能性があります。利用できるのは1行が全角128文字まで(半角256文字)のテキストファイルとなります。限定文字列として利用可能な1データ1行のテキストファイルを指定してください。

アドイン機能関連

Q.1 「アドインの追加と削除」から実行してもアプリケーションの組み込みができない。

- A** 手動で組み込みを行ってください。
手動での組み込み方法は、下記をご覧ください。

■ Microsoft Excelに組み込むには

- ① 『読んde!!ココ』のシステムディスクがセットされていることを確認します。
- ② 『読んde!!ココ』のシステムディスク(CD-ROM)の「Addin」フォルダに入っている「Yndaddin.xla」を『読んde!!ココ』をインストールしたフォルダにコピーします。
- ③ Excelを起動します。
- ④ Excelの[ツール(T)]－[アドイン(I)...]を選択します。
[アドイン]ダイアログが表示されます。
- ⑤ <参照>ボタンをクリックします。
[ファイルの参照]ダイアログが表示されます。
- ⑥ 手順②でコピーした「Yndaddin.xla」を選択して<OK>ボタンをクリックします。
[アドイン]ダイアログで、「読んde!!ココ アドイン」がチェックされた状態になります。
- ⑦ <OK>ボタンをクリックします。
以上の操作で、ExcelにOCR機能が組み込まれます。

■ Microsoft Wordに組み込むには

- ① 『読んde!!ココ』のシステムディスクがセットされていることを確認します。
- ② 『読んde!!ココ』のシステムディスク(CD-ROM)の「Addin」フォルダに入っている「Yndaddin.dot」をWordのアドイン用のフォルダにコピーします。

Wordのアドイン用のフォルダは次のようになります。

●Word 2003／2002／2000の場合

Windows XP／2000をご使用のとき

ドキュメントや設定を保存するフォルダ(一般的にはC:¥Document and Setting)の下の{ユーザー名}の下の「¥Application Data¥Microsoft¥Word¥STARTUP」になります。

Windows Vistaをご使用のとき

ドキュメントや設定を保存するフォルダ(一般的にはC:¥Users)の下の{ユーザー名}の下の

「¥AppData¥Microsoft¥Word¥STARTUP」になります。

以上の操作で、WordにOCR機能が組み込まれます。

■一太郎に組み込むには

- ①『読んde!!ココ』のシステムディスクがセットされていることを確認します。
- ②『読んde!!ココ』のシステムディスク(CD-ROM)の「Addin」フォルダに入っている「Yndaddin.itd」をダブルクリックして一太郎を起動します。
「参照専用フォルダのファイルです。読み込みを続けますか?」という確認メッセージが表示されます。
- ③<継続>ボタンをクリックします。
「AutoLoadマクロを実行します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。
- ④<はい>をクリックします。
アドインが一太郎に組み込まれて一太郎が終了します。
以上の操作で、一太郎にOCR機能が組み込まれます。

■Adobe Acrobatに組み込むには

- ①『読んde!!ココ』のシステムディスクがセットされていることを確認します。
- ②『読んde!!ココ』のシステムディスク(CD-ROM)の「Addin」フォルダに入っている「Yndplugin.api」をAcrobatをインストールしたフォルダ(C:¥Program Files¥Adobe¥ Acrobat 6.0 など)の中の「Acrobat¥plug-ins」フォルダにコピーします。
以上の操作で、AcrobatにOCR機能が組み込まれます。

Q.2 「アドインの追加と削除」から実行してもアプリケーションが組み込みの解除ができない。

- A** 手動で組み込み解除を行ってください。
手動での組み込み解除方法は、下記をご覧ください。

■ ExcelからOCR機能を削除するには

- ① Excelを起動します。
- ② Excelの[ツール(T)]－[アドイン(I)...]を選択します。
[アドイン]ダイアログが表示されます。
- ③ 「読んde!!ココ アドイン」のチェックを外します。
- ④ <OK>ボタンをクリックします。
以上の操作で、ExcelからOCR機能は削除されます。

■ WordからOCR機能を削除するには

- ① Wordを起動します。
- ② Wordの[ツール(T)]－[テンプレートとアドイン(I)...]を選択します。
[テンプレートとアドイン]ダイアログが表示されます。
- ③ 「Yndaddin.dot」のチェックを外します。
- ④ Wordを終了します。
- ⑤ OSの検索機能を利用して、「Yndaddin.dot」ファイルを検索します。
- ⑥ 見つかった「Yndaddin.dot」ファイルを削除します。
以上の操作で、WordからOCR機能は削除されます。

■ 一太郎からOCR機能を削除するには

- ① 『読んde!!ココ』のシステムディスクがセットされていることを確認します。
- ② 『読んde!!ココ』のシステムディスク(CD-ROM)の「Addin」フォルダに入っている「Uninst.jtd」をダブルクリックして一太郎を起動します。
「参照専用フォルダのファイルです。読み込みを続けますか？」という確認メッセージが表示されます。
- ③ <継続>ボタンをクリックします。
「AutoLoadマクロを実行します。よろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。
- ④ <はい>をクリックします。
アドインが一太郎から削除されて一太郎が終了します。
以上の操作で、一太郎からOCR機能は削除されます。

■ AcrobatからOCR機能を削除するには

- ① Acrobatをインストールしたフォルダの中の「Acrobat¥plug-ins」フォルダをエクスプローラで開きます。
- ② 「Yndplugin.api」ファイルを選択し、削除します。
以上の操作で、AcrobatからOCR機能は削除されます。

Q.3 アンインストールした後も、アプリケーションにアドインしたメニューやツールバーが残ってしまう。

- A** アプリケーションごとに、以下の方法で削除することができます。

■ Microsoft ExcelおよびMicrosoft Wordの場合

- ① ExcelまたはWordを起動します
- ② [ツール]－[ユーザー設定]を選択し、[ユーザー設定]ダイアログを表示させます。
- ③ メインウィンドウにある[読んde!!ココ]メニューをドラッグしてウィンドウの外に持っていき、×印が出ているところでドロップします。
これでメニューが削除されます。
- ④ [ユーザー設定]ダイアログの[ツールバー]ページからツールバーの一覧から[読んde!!ココ]を選択し、＜削除＞ボタンをクリックします。
これでツールバーが削除されます。
- ⑤ ＜閉じる＞ボタンをクリックし、[ユーザー設定]ダイアログを閉じます。

■ 一太郎の場合

- ① 一太郎を起動します
- ② [ツール]－[割付]－[メニュー]を選択し、[メニューの割付]ダイアログを表示させます。
- ③ [割付先メニュー]の[ツール]の左にある+をクリックします。
これで[ツール]メニュー以下のコマンドが表示されます。

- ④ 次の6つのコマンドを1つずつ選択し、＜削除＞ボタンをクリックします。
- －スキャナから自動認識
 - －スキャナから手動認識
 - －ファイルから自動認識
 - －ファイルから手動認識
 - －ESSから自動認識
 - －ESSから手動認識
 - －スキャナの選択
 - －ESSの設定
 - －認識の設定
- これでメニューが削除されます。
- ⑤ [メニューの割付]ダイアログで＜OK＞ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。
- ⑥ [ツール]－[マクロ]－[実行・編集]を選択し、[マクロ実行・編集]ダイアログを表示させます。
- ⑦ [システムマクロ]ページを表示します。
- ⑧ 上記④の手順で削除したメニューと同じ名前の6つのマクロを1つずつ選択し、一覧の下にある＜削除＞ボタンをクリックします。
これでマクロが削除されます。
- ⑨ ＜終了＞ボタンをクリックし、[マクロ実行・編集]ダイアログを閉じます。

Q.4 表内原稿でセル単位の設定をモードを「英語」にしてAdobe Acrobatに転送すると、空白の文字が入ってしまう。

- A** セル単位の設定で、モードが英語の場合に空白が入ります。
セル単位の設定でモードを日本語にして、対象文字種の欄で個別指定文字種を設定してください。

Q.5 PDFから認識した場合、タグが見つからない。

- A** 仕様によりできません。

Q.6 『読んde!!ココ』をアップグレードをしたらアドインが正常に動作しなくなった。

- A** 以下の手順に従って、アドインの更新を行ってください。

- ① [スタート]－[すべてのプログラム]－[読んde!!ココ]－[アプリケーション]－[アドインの追加と削除]を選択します。
[読んde!!ココ アドインの追加と削除]ダイアログが表示されます。

- ② ご利用のアプリケーションの<追加>ボタンをクリックして、アドインの再追加を行ってください。

Q.7 WordやExcelの動きがおかしくなってしまう。

- A** AcrobatがWordなどに組み込んでいるアドインが一時的にクリップボードを使っていて、バッティングが生じています。クリップOCRの監視を停止してください。

監視を停止してもおかしい場合は、常駐を解除してください。

Q.8 Acrobat 6.0のアドインから認識を実行し、透明テキスト付きPDFを作成した時、テキストの選択ができない。

- A** テキストの選択ができない場合は、Acrobat上でPDFファイルを保存してください。保存を行うと、テキストが選択できるようになります。

Q.9 Acrobat 5.0で作成したPDFをAcrobat 6.0上のアドインで認識したら、Acrobat 5.0で使用したスタンプのデザインが変わってしまった。

- A** Acrobatの仕様によるものです。『読んde!!ココ』では対応できません。

Q.10 アドイン機能の実行時にウィンドウが前面に出ない。

- A** タスクバーの『読んde!!ココ』を選択するか、**[Alt]+[Tab]**キーにより『読んde!!ココ』のアイコンを選択してください。

『OCRファクトリー』関連

Q.1 [タイトル一覧]を削除してしまい、元に戻したい。

- A** 『OCRファクトリー』の初期状態の[タイトル一覧]の設定は、削除してしまうと復元できません。『読んde!!ココ』を再インストールしてください。

! 注意

OCRファクトリーで大量の文書を連続して処理するとアプリケーションやOSが不安定になることがあります。500枚以上の文書を処理する場合には複数回に分けてください。

『スキャナde!!コピー』関連

Q.1 「現在選択中のスキャナでは、スキャナde!!コピーの画面で取り込みの設定を行うことができません。「スタート」で表示されるスキャナの設定画面をご利用ください。」と表示される。

A 『スキャナde!!コピー』でAISmartScanパネルに対応していないスキャナが選択されている場合に表示されます。

AISmartScanパネルに対応していないスキャナを使用する場合、『スキャナde!!コピー』の画面では取り込みの設定は行うことができません。

使用しているスキャナの取り込み設定画面で設定を行ってください。

動作確認済スキャナについては、パッケージおよび弊社サイト「OCR World」にて確認してください。

Q.2 スキャナde!!コピー機能を利用しようとすると、一瞬ダイアログが現れ、準備中のメッセージが出るが、そのまま終了してしまい、『読んde!!ココ』に戻ってしまう。

A 下記点を確認してください。

1 プリンタドライバの再インストールをしてください。または最新版に更新してください。

2 『スキャナde!!コピー』で、エラーメッセージもなく閉じてしまうという状況は、用紙の種類がひとつもない、用紙が選択されていないというようなことが考えられます。

一度、[コントロールパネル]から使用するプリンタのプロパティの詳細を開いて、用紙の確認をしてください。

Q.3 濃度のない原稿／白い紙をコピーした場合、印刷ができない。

A 下記点を確認してください。

スキャナのドライバによって濃度のない原稿を取り込めません。

プリンタのドライバによっては、濃度のない原稿は印刷されないことがあります。スキャナの取り込み濃度を濃くして実行してください。

Q.1 「サーバーに接続できません」と表示される。

- A** リモートde!!スキャンの設定で指定しているIPアドレス先にリモートde!!スキャンサーバーの情報が取得できていない可能性があります。リモートde!!スキャンサーバーが起動しているか、ネットワークが接続されているかを確認して、正しいIPアドレスを設定し直してください。

Q.2 「サーバーから応答がありません」と表示される。

- A** ネットワークがビジー状態か、『リモートde!!スキャンサーバー』が何らかの理由で応答しません。ネットワークと『リモートde!!スキャンサーバー』の状態を確認してください。

Q.3 「スキャナが選択されていません」と表示される。

- A** 『リモートde!!スキャンサーバー』側で利用できるスキャナが選択されていない可能性があります。『リモートde!!スキャンサーバー』でスキャナを選択してください。

Q.4 「他の人が利用しています」と表示される。

- A** 他の人が『リモートde!!スキャン』を利用している可能性があります。他の人が使い終わるまでお待ちください。

Q.5 「サーバーから切断されました」と表示される。

- A** 『リモートde!!スキャンサーバー』との接続が切れている可能性があります。『リモートde!!スキャンサーバー』が動作しているか確認し、起動している場合にはネットワークが接続されているか確認してください。

Q.6 「スキャナが動作中です」と表示される。

- A** スキャナが動作中のため、『リモートde!!スキャン』が利用できない状況である可能性があります。スキャナの動作が終了するまでお待ちください。

Q.7 「リモートde!!スキャンの設定をしてください」と表示される。

- A** 『リモートde!!スキャン』の設定がされていない可能性があります。『リモートde!!スキャン』の設定をしてください。

Q.8 スキャナが接続されているコンピュータで『リモートde!!スキャンサーバー』プログラムが動作中に、他のアプリケーションがTWAINを介してスキャナを利用したら、『リモートde!!スキャン』プログラムに問題が発生した。

A TWAINドライバの多くは、このような同時使用を考慮されていません。他のアプリケーションでスキャナを利用する場合は、『リモートde!!スキャンサーバープログラム』を終了してください。

その他

Q.1 「読み上げエンジンまたは音声辞書がインストールされていません」と表示される。

A 下記点を確認してください。

1 Windows上で、wav形式ファイルの音が鳴るかどうかを確認してください。wav形式ファイルの音が鳴らないようであれば、音が鳴る設定にしてください。

2 wav形式ファイルの音が鳴る場合は、『読んde!!ココ』のアンインストール／再インストール後、音声辞書をインストールする設定でインストールをしてください。

なお、再インストールについては、「アップグレード版」の場合は、旧バージョンのCD-ROMを用意し、インストールの途中で旧バージョンのCD-ROMを要求されたら、画面のメッセージに従って入れ替えをしてください。

3 コンピュータの管理者権限にて、音声辞書単体の再インストールをしてください。

手順は下記を参照してください。

① 『読んde!!ココ』のシステムディスク内のSPEECHフォルダを開きます。

② 同フォルダ内のlhttseng.exeを起動して音声辞書をインストールします。

③ 同フォルダ内のlhttsjpj.exeを起動して音声辞書をインストールします。

④ 同フォルダ内のtv_enua.exeを起動して音声辞書をインストールします。

<音声辞書>

L&H TTS3000 British English

L&H TTS3000 Japanese

Lernout & Hauspie TruVoice American English TTS English

ここに含まれていない情報に関しては、エーアイソフト製品総合サイトで提供されているQ&Aをご覧ください。Q&Aを表示するには、『読んde!!ココ』のメニューから[ヘルプ(H)]－[Web Q&A(W)]を選択するか、『スマートナビ』を起動し、画面右下のウェブサイト欄から<WebQ&A>ボタンをクリックします。

索引

A

Acrobatから認識を実行する 150

B

BMPファイル 53

C

CSVファイル 70

SYLKファイル 70

D

Document Browser連携

 キャビネットに登録 161

 キャビネットへの転送設定 159

 連携設定 158

Document Storage連携

 FileBoxに登録 168

 登録先をあらかじめ設定 166

 登録先を毎回指定 162

E

EasyFaxファイル 53

Excelから認識を実行する 138

F

FAXデータの注意点 81

H

HTMLファイル 70

J

JPEGファイル 53

M

Microsoft Excel形式ファイル 70

Microsoft PowerPoint形式ファイル 70

Microsoft Word形式ファイル 70

O

OCRに適さない原稿 79

OCRファクトリー 117, 40

 起動 117

 旧バージョンの設定ファイル 128

 終了 119

 設定 121

P

PCXファイル 53

PDFファイル 53, 70

PNGファイル 53

PowerPointから認識を実行する 145

S

ScanSnap 49

T

TIFFファイル 53

TWAIN 49

W

WIA 49

Windows Vistaでの注意事項 11

Wordから認識を実行する 144

ア行

アクティブ枠 96

アップグレード対象製品 15

アップグレード版のインストール ... 16

アップグレード用キー 31

アドイン

 アプリケーションから削除する 155

 アプリケーションに組み込む 134

アドイン機能 133

アドインの追加と削除 41

アプリケーションバー 43

誤り文字列の検索	68
誤り文字列の検出	68
一太郎から認識を実行する	149
一太郎形式ファイル	70

力行

改行の挿入単位	105
解像度を変更する	81
かすれ領域抽出	94
画像の傾きを補正する	58
画像の入力	
ファイルから読み込む	53
画像の向きを変更する	56
画像編集	
一部分／全アンドウ	93
移動	89
矩形	93
消しゴム	90
コピー	92
直線	93
トリミング	91
ノイズ除去	89
貼り付け	92
範囲指定	88
反転	92
画像編集モード	45
画像編集モードの起動	60
画像を編集する	56, 83
カラーメモ除去	86
機能別の特長	38
区切り文字	105
原稿を取り込む	50
限定文字列ファイル	113

サ行

自動アップデート	33
自動実行	129
使用例	131
動作設定	129

自動領域抽出	62
シリアル番号	14
スキャナを選択する	48
スペースの挿入	105
スマートナビ	38
スライド枠を指定する	64
セルタイプを指定する	113
セル単位にパラメータを設定する	112

タ行

対象文字種	104
段組み	103
つぶれ／かすれ強化エンジン	106
手書きの書き込みを除去	86
テキストファイル	70
動作環境	7
トラブルシューティング	174, 180

ナ行

認識エンジンの設定	106
認識結果ウィンドウ内の表示	67
認識結果の保存	
保存できるファイルの形式	70
認識結果を転送する	73
認識結果を編集する	68
認識結果を保存する	70
認識処理を実行する	66
認識パラメータの設定ダイアログ	101
認識パラメータを設定する	65
認識領域を指定する	
自動で認識枠を指定する(自動領域抽出)	62
手動で認識枠を指定	63
スライド枠を指定する	64
認識枠	
アクティブにする	96
サイズ変更	97
スライド枠の消去	99
枠情報の保存	99
枠情報を読み込む	100

枠の移動	97
枠の順序変更	98
枠の消去	97
ノイズ除去	83

ハ行

半角への変換	105
反転／網掛け認識エンジン	106
非アクティブ枠	96
表罫線の設定	
罫線を削除する	110
自動判別	111
縦罫線／横罫線を引く	109
表罫線抽出	107
表領域全体にかかる罫線を引く	110
複数のセルをまたぐ罫線を引く	109
表の認識	107
ファイルから読み込む	53

マ行

右クリックメニュー	46
モード	103

ヤ行

ユーザ環境	14
汚れを除去	83
読み込める画像ファイルの形式	53
読んde!!ココ	
OS環境	7
アンインストール	170
インストール	15
画面構成	43
画面紹介	39
起動	42
基本仕様	8
終了	75
操作の流れ	47
ハードウェア	7

読んde!!ココの画面

アプリケーションバー	43
画像ツールバー	44
画像編集ツールボックス	45
画像リスト	44
基本操作ツールバー	43
結果ツールバー	44
作業領域	43
ステータスバー	43
メニューバー	46

ラ行

ライセンスキー	14
ライトファイル	70

ワ行

枠種別	103
-----------	-----

サポートサービス 総合案内

弊社では、お客様が製品を快適にご利用いただけるように、さまざまなサポートサービスメニューを用意しております。

Index.

ユーザー登録のお願い	S-2
製品付属のサービス	S-3
インターネット上のサービス	S-3
製品ユーザー登録済みの方へのサービス	
～個人の方（数字のみの ID もしくは i2u から始まる ID をお持ちの方）～	S-4
～C から始まる法人 ID をお持ちの方～	S-5
「エーアイソフト製品 ライセンス プログラム」ご検討のお客様へ	S-6
エーアイソフト製品に関するお問い合わせ先	S-7
個人情報保護方針	S-7
お客様ご利用欄	S-8

■ ユーザー登録のお願い ■

弊社では製品ユーザー登録をされた方へのサービスを用意しています(S-4ページをご覧ください)。



まずは、製品ユーザー登録をしてください

■製品ユーザー登録は、エーアイソフト製品を購入された都度、必要です

※体験版はユーザー登録できません。

※「エーアイソフト製品ライセンスプログラム」を利用して製品をご購入(エンタープライズ／アカデミック共通)された場合は、すでにユーザー登録が完了しているため、登録の必要はありません。ご登録内容は「ライセンス証書」で確認してください。法人IDは「C」から始まる数字とアルファベットで構成されます。

■製品ユーザー登録は、以下のどちらかで行えます

<<インターネットで登録>>

1. シリアル番号をご用意ください。

パッケージ版：ご愛用者登録カード

ダウンロード版：シリアル番号が記載されたメール（ダウンロードサイトから送信）

2. [オンラインユーザー登録] 画面を開き、必要事項を入力し送信してください。

※インストールの最後に[Webユーザー登録]の案内ページが表示されます。

※[スタート]－[すべてのプログラム]－[ご利用の製品名]－[Webユーザー登録]いつでも登録ができます。

3. 登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレスに製品ユーザー登録完了のお知らせが送信されます。

<<インターネット以外で登録(パッケージ版のみ)>>

※お電話での登録は、受け付けておりません。

1. 製品付属の「ご愛用者登録カード」に必要事項を記入し、切手を貼って郵送してください。

2. 登録が完了すると、ご記入されたメールアドレスに(メールアドレスがない場合は郵送で)製品ユーザー登録完了のお知らせをお送りします。

■登録後のご注意

お客様ID(「i2u#####」(#には数字が入ります))は、忘れることのないようにS-8「お客様ご利用欄」の「お客様ID」に記入してください。また、パスワードをお忘れになる方が増えています。パスワードはお忘れにならないようにご注意ください。パスワードは、インターネットで登録した場合のみ発行されます。

■ 製品付属のサービス ■

ご購入された製品に付属しているサービスです。

■製品ユーザーズマニュアル（本書）

『困ったときには(トラブルシューティング)』には、製品をお使いの上で困った時の対処方法などを掲載しております。



製品の操作方法是、まずマニュアルでご確認ください

■ヘルプ

製品の画面上にある[ヘルプ]ボタンを押すと、現在開いている画面の説明や操作方法が確認できます。

■ インターネット上のサービス ■

エーアイソフト製品総合サイトで提供しているサービスです。

エーアイソフト製品総合サイト：<http://ai2you.com/>

■マイページ（サービスのご利用には、ログインが必要です）

「ユーザー登録製品一覧／サポート権購入」「注文商品履歴一覧」「登録情報確認変更」「メール配信設定変更」「パスワード変更」「ID統合」「退会」手続きができます。

※Cから始まる法人IDをお持ちの方は、ご利用になれません。

■ショップ ai2you（サービスのご利用には、ログインが必要です）

通常商品のほか、バージョンアップやアップグレード品の購入ができます。

ご登録の製品により、対象製品が異なります。

各種の優待販売のご案内は、電子メールでお知らせします。

※Cから始まる法人IDをお持ちの方は、ご利用になれません。

■製品サポートサービス

弊社が提供するサポートサービスの一覧です。

「エーアイソフト製品一覧(PDFファイル)」「最新OS対応状況」「アップデート一覧」があります。「製品登録済の方へのサービス」や「製品付属のハードの保証期間について」も、こちらで確認できます。

■ Q&A 一覧

よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。キーワードまたは一覧表からQ&Aを検索できます。

■ 製品ユーザー登録済みの方へのサービス ■

～個人の方(数字のみのIDもしくはi2uから始まるIDをお持ちの方)～

製品ユーザー登録をされた方へ実施しているサービスです。

■個別サポートサービス

製品付属のサービスやインターネット上のサービスで解決できない場合は、「個別サポートサービス(サポートセンターへのお問い合わせ)」をご利用ください。

「個別サポートサービス」には、製品導入時に利用できる「導入サポートサービス」(無料)と、導入後も継続してサポートを希望される場合に利用できる「継続サポートサービス」(有料)があります。

詳しくは、「導入サポートサービス・継続サポートサービスご利用規定」と、ホームページ上の記載を確認してください。

◆「導入サポートサービス・継続サポートサービスご利用規定」について◆

弊社では、個別サポートサービスの内容・期間について規定した「導入サポートサービス・継続サポートサービスご利用規定」を制定しており、本規定に基づいて製品に関するサポートサービスを提供いたします。

「導入サポートサービス・継続サポートサービスご利用規定」は、製品のインストール時に『使用許諾契約』画面と共に表示され、お客様がこれに同意されることで、製品をご利用できるようになっております。(インストール後は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[ご利用の製品名]－[ドキュメント]－[サポートサービスご利用規定]で確認できます。)

最新のサポートサービス情報は、ホームページで確認してください。

<http://ai2you.com/> の「製品サポートサービス」

■バージョンアップを含む各種優待販売

登録済の製品を最新のバージョンに「バージョンアップ」できるサービスを提供いたします。「バージョンアップ」とは、旧バージョンの製品登録があるお客様を対象とした期間限定のサービスです。

■ 製品ユーザー登録済みの方へのサービス ■

～Cから始まる法人IDをお持ちの方～

法人ユーザーの方へ実施しているサービスです。

■個別サポートサービス

個別サポートサービス(サポートセンターへの問い合わせ)」のご利用にあたっては、「年間保守サポートサービス」のお申し込みが必要です。詳しくは、ホームページ上の記載を確認してください。

サポートセンターへのお問い合わせには、
保守サポートサービス加入が必要です。

◆「保守サポートサービスご利用規定」について◆

弊社では、「エーアイソフト製品 ライセンス プログラム」をご利用のお客様に対する個別サポートサービスの内容・期間について規定した「保守サポートサービスご利用規定」を制定しており、本規定に基づいて製品に関するサポートサービスを提供いたします。

「保守サポートサービスご利用規定」は、ライセンス製品インストール時に『使用許諾契約』画面と共に表示され、お客様がこれに同意されることで、製品をご利用できるようになっております。(インストール後は、[スタート]－[すべてのプログラム]－[ご利用の製品名]－[ドキュメント]－[サポートサービスご利用規定]で確認できます。)

最新のサポートサービス情報は、ホームページで確認してください。

<http://ai2you.com/license/>

年間保守サポートサービスは、ライセンス購入と同時のお申し込みをお薦めします。別途お申し込みされる場合は、改めて「購入申請書」をご提出ください。

■バージョンアップを含む各種優待販売

登録済の製品を最新のバージョンに「バージョンアップ」できるサービスを提供いたします。「バージョンアップ」とは、旧バージョンの製品登録があるお客様を対象とした期間限定のサービスです。

新規購入同様、バージョンアップにもボリュームディスカウントが適用されるので、非常にお得です。

■ 「エーアイソフト製品 ライセンス プログラム」ご検討のお客様へ ■

弊社では、企業・官公庁・学校・教育委員会様向けに、大量導入を支援するライセンス購入制度をご用意しております。複数購入をご検討の際にご利用ください。詳しくはホームページ上の記載を確認してください。

<http://ai2you.com/license/>

■ ライセンスプログラムの種類

「エーアイソフト製品ライセンス プログラム」では、次の2つのプログラムを用意しております。

※ライセンスプログラムをご用意していない製品もあります。実施製品については、ホームページでご確認ください。

◆ エンタープライズライセンス

法人企業・官公庁・各種団体向けライセンスプログラムです。

◆ アカデミックライセンス

学校・教育委員会様向けライセンスプログラムです。

■ ライセンスプログラムのメリット

- ライセンス購入数によるボリュームディスカウントが適用されます。
追加ライセンス購入時は、初回購入分と合わせたボリュームディスカウントが適用されます。
- 必要最低限のライセンスマスターディスクやマニュアルを購入することで、保管スペースやコストを削減できます。
- 法人IDによりライセンスが一括管理できます。
初回購入時、ユーザー登録と同時に法人IDを発行します。追加ライセンスやバージョンアップの管理も一元化できます。

※パッケージ版、ダウンロード版に対して追加ライセンスの購入はできません。

■ 提供するサポートサービスについて

「製品ユーザー登録済みの方へのサービス～Cから始まる法人IDをお持ちの方～」(S-5ページ)をご覧ください。



エーアイソフト製品に関するお問い合わせ先



エプソン販売株式会社 エーアイソフト製品総合窓口

電話

03-3376-7440

月曜日～土曜日（祝日、当社指定休業日を除く）

10:00～12:00、13:00～17:00

メール

ホームページ上の問い合わせ専用フォームをお使いください。

<http://ai2you.com/qaform/>

365日、24時間受付

弊社からの回答は、月曜～金曜（祝日、当社指定休業日を除く）に順次行います。

◆ お問い合わせの前に・・・

- 製品に関するお問い合わせは、『導入サポートサービス・継続サポートサービスご利用規定』に基づいて提供します。まずは、『導入サポートサービス・継続サポートサービスご利用規定』をご確認ください。
- お電話の場合は、パソコンを前にしてご連絡いただくと案内がスムーズに行えます。また、メモ用紙をご用意ください。
- 問題が発生している場合は、発生させる手順、発生したときの画面の状態、エラーメッセージなどが確認できる状態でご連絡ください。



個人情報保護方針



お客様に関する個人情報の取扱いと保護に関する弊社の方針は、ホームページでご確認ください。

<http://ai2you.com/> の「個人情報の取り扱いについて」



お客様ご利用欄



このページは、お客様自身が製品情報等のメモとしてご利用ください。ダウンロード製品をお使いの方は、印刷してご利用ください。

■購入情報

万一の場合に備えて、購入店名と購入日を控えておきましょう。

特にダウンロード製品をご購入された場合は、購入元サイトが分からなくなってしまうと、プログラムを紛失したときに再インストールができなくなってしまう。(再ダウンロードは、購入元サイトからのみ可能です。)

購入店名	
購入日	

■お客様 ID 記入欄

お客様IDは、ユーザー登録時に弊社より発行されるお客様固有のID番号です。

お問い合わせやバージョンアップの際に必要なになりますので、忘れずに控えておきましょう。

お客様ID	
-------	--

■シリアル No. / ライセンスキー記入欄

製品のインストール時には、必ずシリアルNo.とライセンスキーの入力が必要です。忘れずに控えておきましょう。

パッケージ版をお買い求めの場合は、この欄には「ご愛用者登録カード お客様控え」を貼付してください。

シリアルNo.	
ライセンスキー	

■パスワード

セキュリティ上お客様IDとは別に保管してください。お忘れの場合は、ホームページで検索できます。

<http://ai2you.com/> の「パスワードをお忘れの時」

読ん de!! ココ Ver.13 ユーザーズマニュアル(体験版)

2007年2月 第1版 第1刷

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1
西新宿三井ビル24F

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5